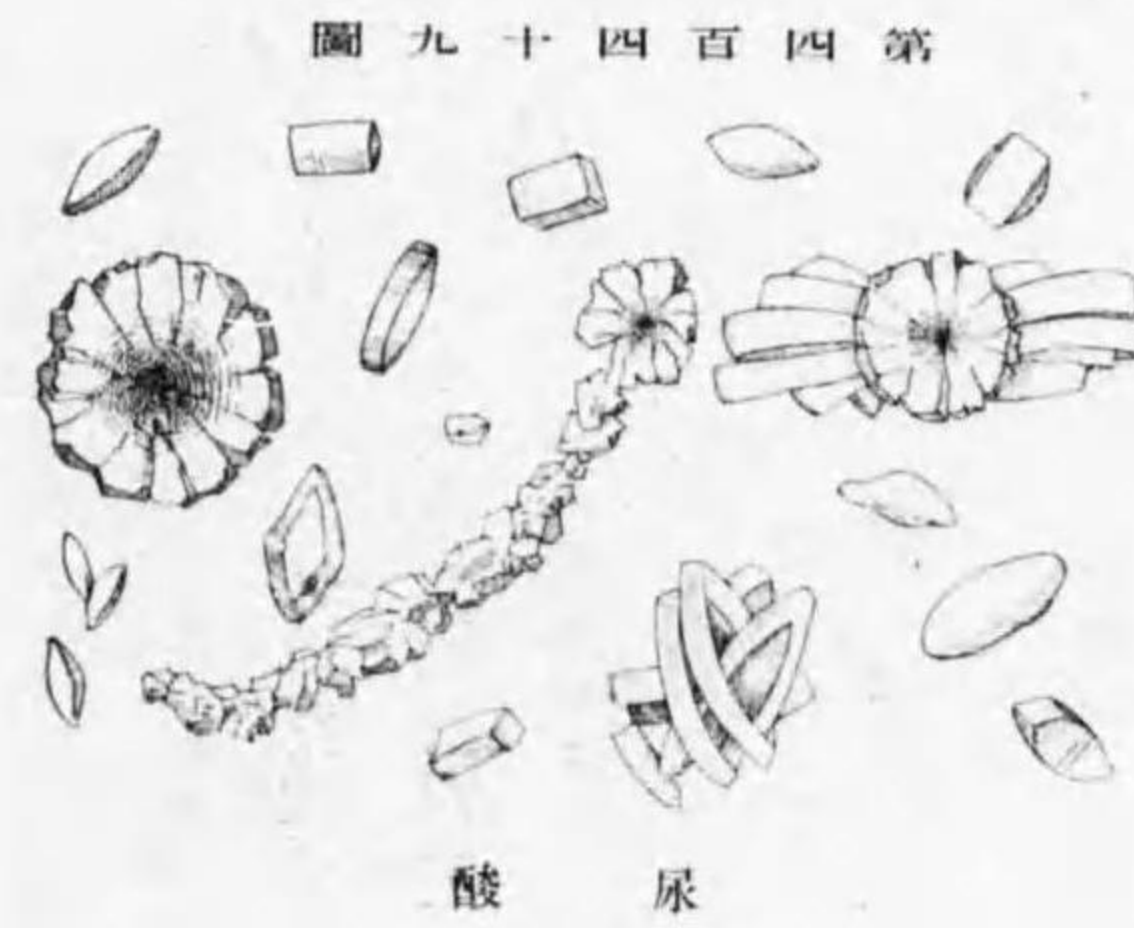
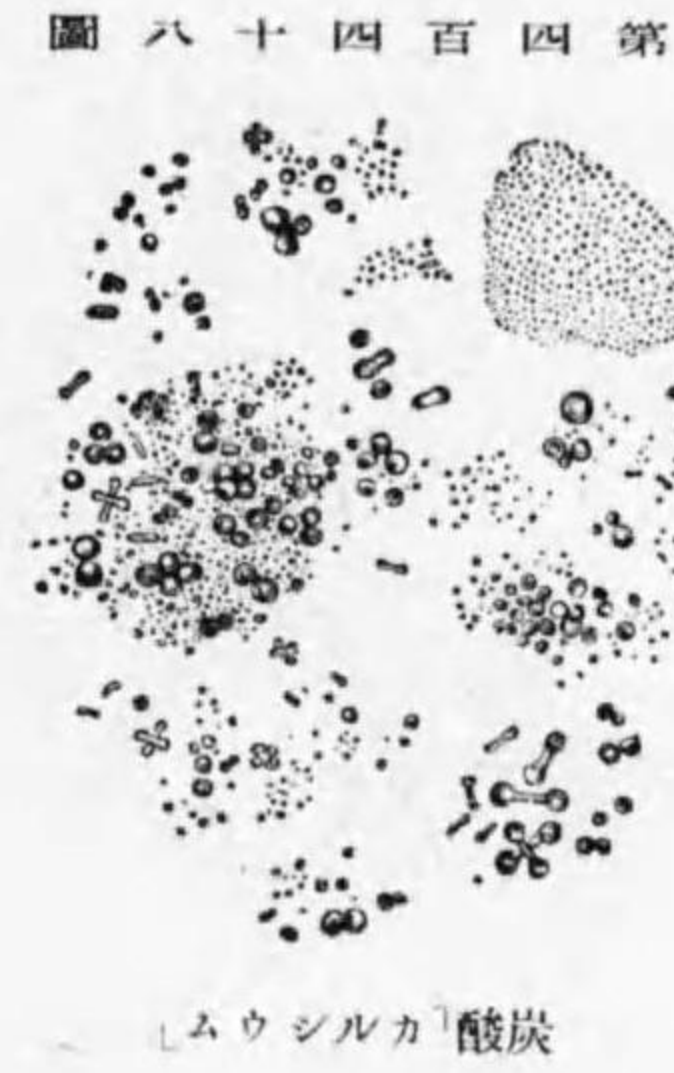
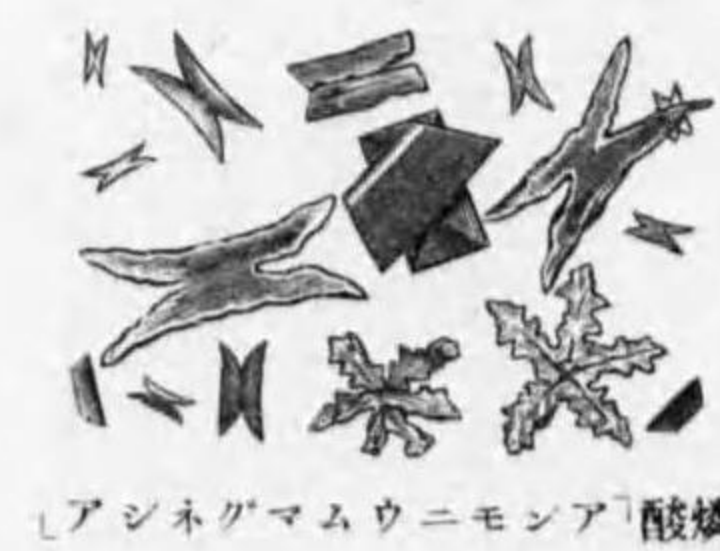
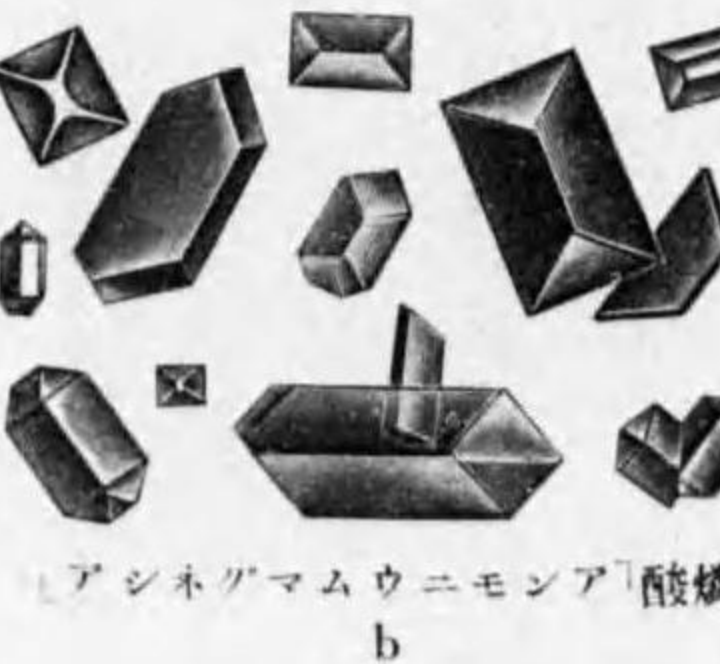
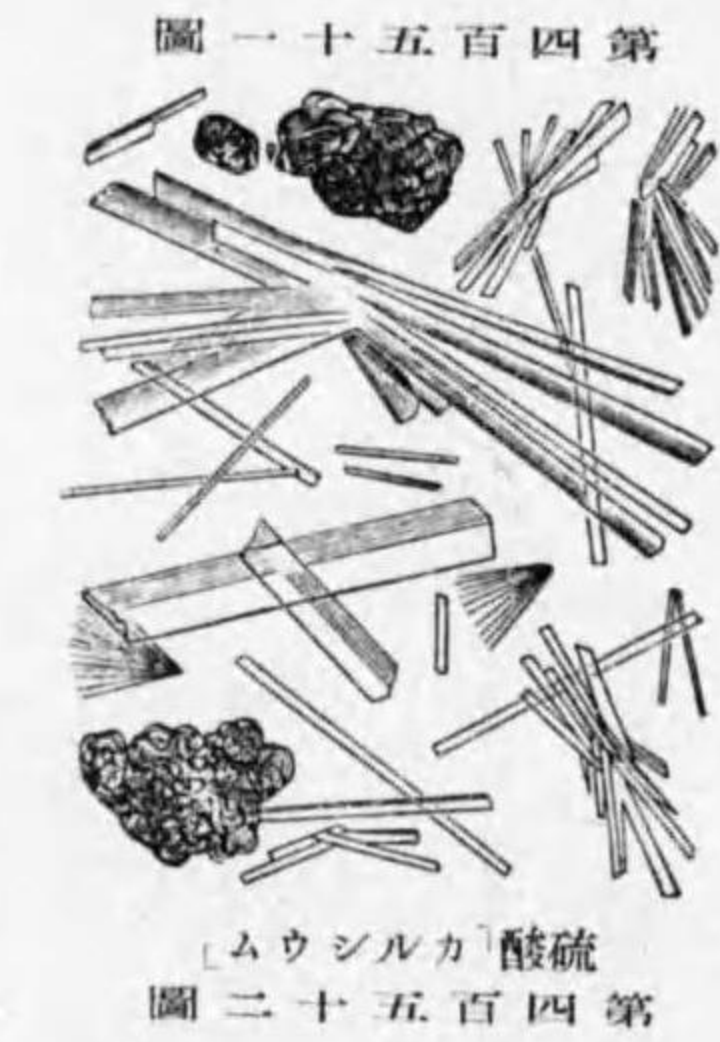


結晶性沈渣				無渣沈性		沈渣反應	
「チロヂン」	「チヌチン」	「ヒリルビン」 「ヘマトイチン」	馬尿酸	尿酸 「カルシウ」 「ム」 「ム」	尿酸 「カルシウ」 「ム」 「ム」	尿酸 「カルシウ」 「ム」 「ム」	尿酸 「カルシウ」 「ム」 「ム」
稀	稀	稀	稀	稀	稀	稀	稀
第四百十一圖	第四百十二圖	第四百十四圖	第四百四十四圖	第四百五十一圖	第四百五十九圖	第四百四十九圖	第四百四十九圖
		「インヂゴ」	「ム」 「ム」 「ム」	「ム」 「ム」 「ム」	「ム」 「ム」 「ム」	「ム」 「ム」 「ム」	「ム」 「ム」 「ム」
		極メテ稀	球狀「ピスケット」形	楔形菊花狀ニ密集ス	大ナル無色ノ光輝アル結晶ニシテ楕蓋形	暗黄色球狀又ハ金米糖形	無色ノ稍大ナル顆粒狀
			第四百四十八圖	第四百四十五圖	第四百五十三圖	第四百五十二圖	第四百四十八圖
			第四百四十八圖	第四百四十八圖	第四百四十八圖	第四百四十八圖	第四百四十七圖

尿ノ反應酸性又ハ「アルカリ」性ニヨリテ生ズル沈渣ノ區別



a. 炭酸「カルシウム」 b. 硫酸「カルシウム」  
c. 中性磷酸「カルシウム」 d. 磷酸「マグネシウム」



(形無)類土「リカルア」酸磷



結石ガ尿酸「アンモニウム」ヲ含ム時ハ「アルカリ」ヲ加ヘテ熱スル際「アンモニア」ヲ發ス。其ノ他ノ磷酸「アルカリ」ハ燃燒ノ際極メテ僅ノ灰分  $K_2O, Na_2O$  ヲ殘シ、之ハ水ニ溶ケ「アルカリ」性反應ヲ示スヲ以テ區別シ得。

殆ド燃燒スルコトナク灼熱スルモ多量ノ殘渣ノ存在スル場合ハ主トシテ磷酸鹽、磷酸鹽及ビ碳酸鹽ナリ。今、結石ノ一部ニ稀薄ナル鹽酸ヲ加ヘテ冷却後濾過スレバ沈澱ハ有機物及ビ尿酸ニシテ、無機鹽ハ溶解ス。濾液ニ「アンモニウム」ヲ過剰ニ加ヘ、磷酸土類、磷酸「アンモニウム」及ビ磷酸鹽ヲ再ビ沈澱セシムル時ハ、溶液中ニハ碳酸「カルシウム」及ビ尿酸「マグネシウム」ガ殘留ス。故ニ若シ全ク沈澱ヲ生ゼザル場合ハ結石ハ碳酸鹽ニシテ、之ハ既ニ鹽酸ヲ加ヘタル際ニ炭酸瓦斯ヲ發生シテ尿酸結石ナルコトヲ示スモノナリ。

次ニ「アンモニウム」ニ依テ生ジタル沈澱ガ醋酸ニ溶解セザレバ「尿酸」「カルシウム」ニシテ（顯微鏡的検査ニテ明カナリ）、若シ之ニ反シ醋酸ニ溶ケル場合ニハ「尿酸」結石ナラズ。

次ニ「モリブデン」酸「アンモニウム」ニ硝酸ヲ加ヘテ之ヲ熱シタル後ニ前述ノ醋酸ニ溶ケタル試験溶液ヲ加フル時磷酸ガ存在セバ、暫クニシテ「モリブデン」酸「アンモニウム」ノ黃色ノ沈澱ヲ生ズ。而シテ醋酸ニ溶ケタル試験液ニ「尿酸」「アンモニウム」ヲ加ヘテ白色微細ナル「尿酸」「カルシウム」ノ沈澱ヲ生ズル時ハ「カルシウム」ノ存在明カナリ。

更ニ「尿酸」「アンモニウム」ヲ多量ニ加ヘテ長ク放置シ「カルシウム」ヲ完全ニ沈澱セシメタル後濾過シ濾液ニ多量ノ「アンモニウム」ヲ加ヘテ之ヲ熱スルカ或ハ長ク放置スル時、「マグネシウム」ガ存在スレバ磷酸

尿ノ結石

「アンモニウム」「マグネシア」ノ白色沈澱ヲ生ズ。  
「アンモニア」ノ存在ヲ證明スルニハ結石ニ鹽酸ヲ加ヘテ沈澱セルモノニ「アルカリ」ヲ加ヘテ熱スルカ、或ハ直接結石ニ「アルカリ」ヲ加ヘテ熱シ、臭氣アル「アンモニア」ヲ發生セシメテ行フ。  
次ノ表ハ主ナル尿結石ノ性質ヲ示セルモノナルモ、尿結石ニハ單獨ナラズシテ混在シタルモノ、例ヘバ尿酸及ビ尿酸鹽ガ磷酸鹽ヲ核トシテ發生シ、或ハ尿酸鹽及ビ尿酸鹽ガ交互ニ層ヲナスコトアリ。

大表面サ 硬度	色	頻度	X線ニ對 スル透射	化學的性 其他
普通豆大ナルモ更ニ大ナルモノアリ 平滑又ハ粗雜、非 常ニ硬シ	灰黃色乃至赤褐色	極メテ屢ク見ラル	透明	大ナル結石ハ中心 性ニ屢ク色ヲ異ニ セル層ヲ成ス。殆 ド完全ニ燃燒シ 「ムレキシッド」反 應ヲ示ス
軟ニシテ土 塊ノ如シ	淡黃色	稀ニ多シ	透明	「ムレキシッド」反 應ヲ示ス
小ニシテ麻實大ノモ シテ表面平滑大ノモ シテ鶏卵大ノモノハ 苜蓿ノ突起アリ、非 常ニ硬シ	小ナルモノハ灰色乃 至褐色、大ナルモノ ハ暗褐色乃至黑色	屢ク	不透明	燃燒セズ、醋酸ヲ加 ヘテ熱スルカ鹽酸ニ ニ溶解ス
大サ一様ナラズ、非常ニ大 ナルモノアリ、砂ノ如ク粗 ク壞レ易シ	灰白色又ハ淡黃色	屢ク	稍透明	多ク層ヲ成サズ、顆粒狀ニ シテ且燃燒セズ、酸ニ依テ シテ反シテ溶解ス。即チ硝酸 溶液ニ「モリブデン」酸「アン モニウム」ヲ加ヘテ熱スル 時ハ黃色ノ沈澱ヲ生ズ
大サ定マラズ、白 墨樣ニシテ硬シ	白色	稀		植物性食餌ヲ攝ル モノニ屢ク見ラル ニ依テ炭酸瓦斯ヲ 發生シ殆ド完全ニ 溶解ス
多クハ小平滑又ハ 粗雜、硬シ	白色又ハ稍ク黃色 ヲ帶ブ	極メテ稀		切斷面ハ結晶樣ニ シテ燃燒セズ鹽酸 及ビ「アンモニウム」 酸ニ依テモ溶解ス

稀ニ「コレステリン」結石ヲ生ズ。「コレステリン」結石ハ「チヌタン」結石ニ似タルモノナルモ、「エーテ  
ル」ニ溶ケ、之ヲ蒸發スル時ハ肉眼ニテモ明カナル眞珠樣ノ光澤アル「コレステリン」ヲ析出ス。

尿ノ顯微鏡的検査及ビ尿沈渣

# 腎臟疾患

## 第一章 總論

### 第一項 腎臟

腎臟ハ第十一胸椎ノ下端ヨリ第三腰椎ニ至ル間ニ位スル長サ一〇乃至一二種ノ臟器ニシテ、右ノ腎臟ハ左ヨリ稍々低シ。腎臟ハ其ノ上部三分ノ一ハ横隔膜ノ下ニ隠レ、胸壁トノ間ニ左ハ脾臟右ハ肝臟ヲ夾ム。腎臟ノ前面ハ大腸ニ依テ覆ハレ、外縁ハ脊柱ヨリ九乃至一〇椎離レ、下端ハ腸骨楯トノ間ニ掌大ノ間隔ヲ隔ツ(第四百五十五圖)。

腎臟ハ大體細尿管ト絲絨體トヨリ成リ絲絨體ハ毛細血管ヲ包ミ、細尿管ハ腎盂ニ開ク。

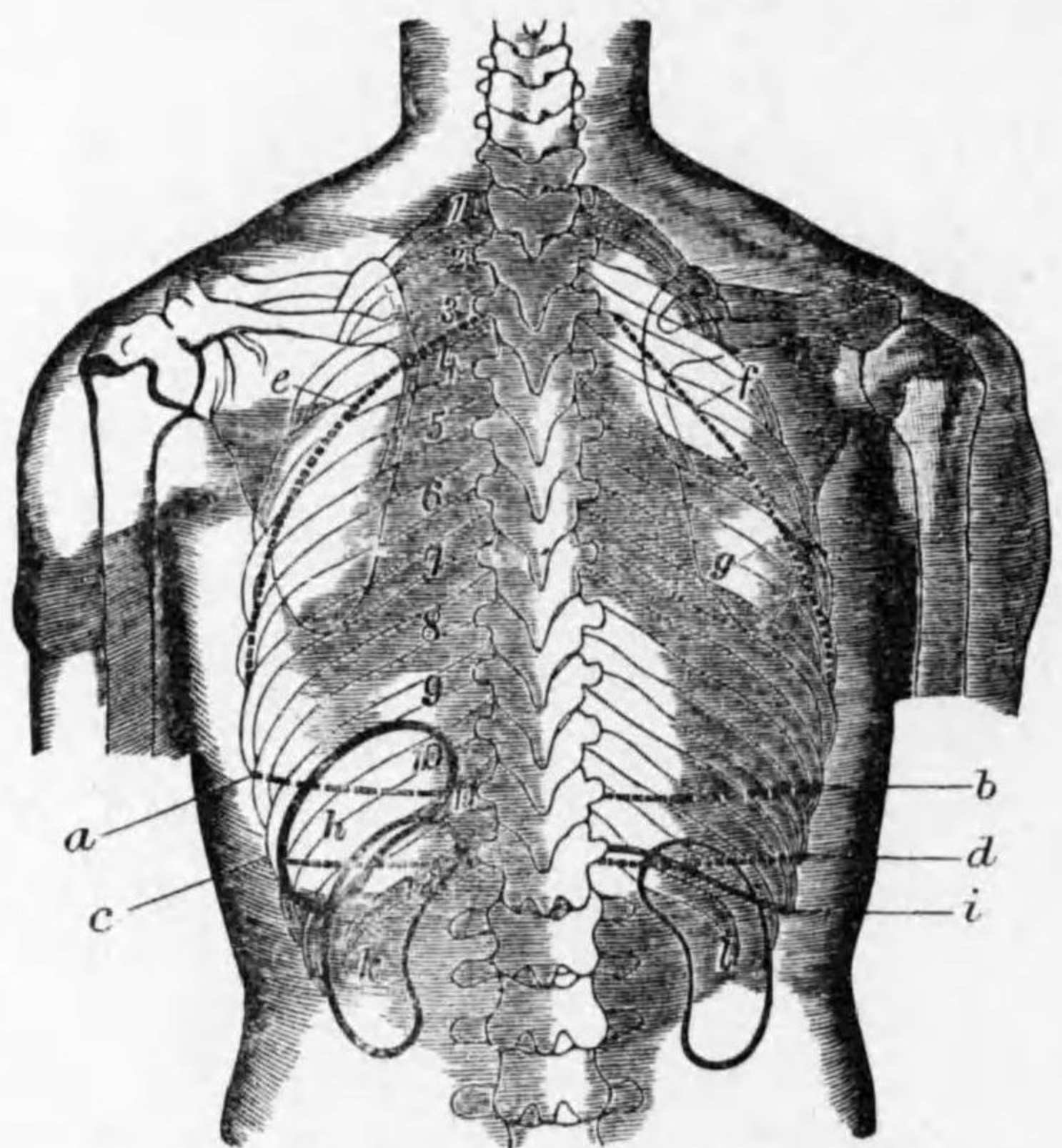
### 第二項 腎臟ノ視診

腎臟ガ腫瘍又ハ膿瘍ノ爲メニ肥大セル場合、左右ノ腰部ヲ後方ヨリ比較シ見ル時ハ外觀上稍々異レル像ヲ呈シ、殊ニ化膿性ノ腎臟周圍炎ノ際ハ腰部ニ發赤又ハ浮腫ヲ見ルコトアリ。

### 第三項 腎臟ノ觸診

腎臟ヲ觸診スルニハ先ヅ患者ヲ仰臥セシメ、脚ヲ曲ゲテ腹壁ノ緊張ヲ去ラシメ、兩手ヲ以テ兩腎ヲ指間ニ挾ム様ニナシ深呼吸ヲ爲サシム。或ハ檢者ハ檢側ニ位置ヲ占メ、即チ右側ノ腎臟ヲ檢査スル場合、檢者ハ患者ノ右側ニ於テ左手ヲ以テ後方ヨリ腰部ヲ壓迫シ、其ノ拇指ハ肋弓ノ下ヨリ前方ニ壓迫ス。次ニ右手ノ指ヲ上方ニ向ケ臍ノ側部ヨリ腹壁ヲ通シテ腎臟ヲ觸診ス。殊ニ深呼吸ヲナサシメ腎臟ガ下方ニ下レル際ニ右手ヲ以テ腎臟ヲ外方ヨリ壓迫

第四百五十五圖  
腎臟ノ位置



a, b. 肺下線 c, d. 肋膜下界 e, f. 葉間截痕  
g. 上下右葉間截痕ノ境界 h. 脾臟 i. 肝臟ノ下線 k. 左腎 l. 右腎

スル時ハ、左手ノ拇指ト中指トノ間ニ腎臟ヲ掴ムコトヲ得。細長ニ發達セル健康者ニ於テハ大概兩腎ヲ觸診シ得ルモノナリ。

游走腎ノ際ニハ容易ニ之ヲ觸知スルコトヲ得ベク、殊ニ起立位又ハ半起立位ニ於テ腎臟ヲ腹壁近ク移動セシメテ觸診スルコトモ必要ナリ。又ハ側臥位ヲ以テ腸管ヲ下方ニ逃レシメタル後、上方ノ腎臟ヲ觸診スル方都合良キ場合アリ。尙腎臟ノ肥大セル場合ニハ、手ヲ以テ腰部ニ輕ク突撃ヲ加へ、腹壁上ニ載セタル他方ノ手ニ腎臟ヲ衝突セシメテ之ヲ知ル方法ヲ推奨スルモノアリ。

通例腎臟肥大ナキ場合ニハ觸診ニ際シ僅ニ腎臟ノ下端ヲ觸ル、ノミニシテ呼吸ノ移動モ僅少ナルモ、游走腎又ハ移動腎ノ場合ニハ特有ナル蠶豆形ノ腎臟ヲ觸ル、コトヲ得。腎臟腫瘍ノ際ニハ其ノ形、表面ノ性質、固サ、大サヲ注意シ、更ニ壓痛ヲモ調べザルベカラズ。腎臟水腫ノ際ニハ波動ヲ觸ル、コトアリ。

#### 第四項 腎臟ノ打診

腎臟濁音ハ肋骨ト脊柱竝ニ腸骨嵎トノ間ニ存在シ、側方ハ鼓音ヲ呈スル腸管ニ接ス。然レドモ腸管ノ空氣ノ含量少キカ或ハ脂肪及ビ筋肉ノ發育可良ナルモノニアリテハ腎臟ノ打診ハ困難ナリ。臨牀上ニテハ腎臟肥大ノ際ニ於テノミニ明ニ之ヲ知ルコトヲ得ルモノトス。肝臟及ビ脾臟ノ腫瘍ハ腸管ノ前ニ存在シ、腎臟ノ腫瘍ハ其ノ後ニ存在スルガ故ニ、直腸ヨリ空氣ヲ送入シテ検査スル時ハ之等ノ腫瘍ヲ鑑別スルコトヲ得ベシ。

#### 第五項 腎臟ノレントゲン検査

レントゲン検査ハ特ニ腎臟結石ノ診斷上大切ナルモ又造影劑ヲ用ヒテ腎盂ノ形狀ヲ見ル事アリ。

### 第二章 腎臟ノ機能試験

#### 第一項 腎臟ノ機能

腎臟ハ尿ノ分泌ヲ司ル處ニシテ此處ニ疾病ヲ起ス時ハ一方尿ノ變化ヲ來スト共ニ他方血液竝ニ循環器ノ障礙ヲ來シ、浮腫、尿毒症、網膜炎等ノ隨伴症狀ヲ呈スルモノナリ。從テ腎臟ノ機能ヲ検査スルコトハ臨牀上重要ナルコトニシテ、治療上ノミナラズ、豫後判定ノ上ニモ必要ナルモノトス。

尿ノ分泌ハ腎臟ノ上皮細胞ノ固有ナル作用ト認メラル。而シテ水ハ糸毬體ヨリ、鹽類及尿素ハ主トシテ細尿管ヨリ排泄セラレ、蛋白質及ビ糖分ハ通例其ノ排出ヲ抑制サル、モノナリ。尙、動物實驗ニ見ル如ク、腎臟ハ唯一ツニテモ其ノ機能ヲ充分ニ保持シ得ルモノナル以テ、腎臟内ニ於ケル一局部ノ變化ニテハ其ノ機能障礙ヲ確ムルコトヲ得ズ。即チ腎臟ノ機能ガ不充分ナルハ腎臟ガ瀰蔓性ニ侵サレタル時ナリ。又、尿成分ノ中ニテモ、或場合ニハ食鹽ノ排泄ガ侵サレ或時ハ含窒素物質ノ排泄ガ特ニ障礙サル、コトアリ、之レ腎臟ノ各部分ガ夫々相異ル作用ヲ有スルガ故ナリ。

#### 第二項 腎臟機能検査

- 一、身體固有物質ノ排泄ニ依ル腎機能検査

腎臟ノ機能試験

腎臓ノ機能試験

食鹽又ハ窒素ノ排泄ヲ検査スル場合ニハ特別ノ食餌ヲ與ヘザルベカラズ、例ヘバ牛乳一五〇珉、「パン」一五〇瓦、鶏卵三—四個、食鹽無キ「バター」六〇瓦、糖類（「モンダミン」）二〇瓦、茶又ハ「カカオ」二〇瓦、砂糖三〇瓦、果物（罐詰）二〇〇瓦ヲ與フル時ハ熱量凡ソ二四〇〇「カロリー」トナリ、食鹽四瓦、窒素一四瓦ニ當ル。斯ノ如キ食餌ヲ數日間與ヘテ尿成分ノ排泄ヲ一定ニスル必要アリ。

近時ヘディングル及ビシライエル氏ハ次ノ試験食ヲ用ヒテ検査セリ。

試験食第一

第一朝食（七時） 牛乳ト砂糖ヲ加ヘタル薄キ珈琲一杯（三五〇瓦）、黒「パン」一片（五〇瓦）

第二朝食（十時） 牛乳一杯、黒「パン」一片

晝食（十二時半） 肉汁一皿、「ピフテキ」一五〇、馬鈴薯一五〇、珈琲一杯、黒「パン」一片、牛乳及砂糖ヲ加ヘタル珈琲一杯（二五〇）

晝後食（四時） 牛乳ヲ加ヘタル薄キ珈琲一杯、黒「パン」一片

夕食（七時） 砂糖及ビ鶏卵一個ヲ加ヘテ煮タル粥四〇〇—六〇〇

液體ノ全量 一八〇〇珉

試験食第二

第一朝食 牛乳一杯、黒「パン」一片

第二朝食 牛乳一杯、黒「パン」一片

晝食 食鹽無キ粘液「スープ」一皿、粥五〇〇—六〇〇瓦

晝後食 牛乳一杯、「パン」一片

夕食 粥五〇〇—六〇〇、牛乳一杯

液體ノ全量 一八〇〇珉

腎臓ノ機能ヲ見ルニハ尿量、尿ノ色、蛋白、血液、尿ノ沈渣、比重等ヲ調べ、更ニ結氷點降下、電氣傳導力ノ検査ニ依ル尿成分ノ密度等ヲ調べ、次ニ腎臓ノ調節機能ヲ検査ス。

〔イ〕水試験及ビ乾燥食試験（濃縮試験）ニ依ル腎調節力ノ検査

一定ノ食餌ノ外ニ一五〇〇珉ノ水ヲ三十分—一時間ノ間ニ與ヘ、三十分毎ニ排泄スル尿ヲ検査スルニ健全ナル人ニアツテハ比重ハ一〇〇二—一〇〇一ニ降り四時間目迄ニ殆ンド其ノ大部分ヲ排泄スルモノナルモ、腎臓疾患ニ於テハ其ノ排泄遅レ或ハ不充分ニシテ比重高ク、四時間内外ニ僅カニ二〇〇—三〇〇珉ヲ排泄スルニ過ギザルモノアリ。次ニ乾燥食ヲ與フル時ハ之ト反對ニ一日ノ尿量ハ四〇〇—五〇〇珉トナリ、比重ハ一〇二五—一〇三〇トナル。簡單ニ此ノ兩試験ヲ一日ノ中ニ行フ爲メニ早朝水試験ヲ行ヘル後、終日乾燥食ノミヲ與ヘテ二時間毎ニ尿ヲ検査シ、大體ノ腎臓機能ヲ推知スル事ヲ得。例ヘバ健全ナル人ニ就テ一五〇〇珉ノ水ヲ朝八時ニ與ヘ乾燥食ヲ攝ル時尿ノ變化ハ次ノ如シ。

時間	七—八	八—九	九—一〇	一〇—一一	一一—一二	一二—一三	一三—一四	一四—一五	一五—一六	一六—一七	一七—一八
尿量	八〇	七四〇	三三〇	九三	五六	五八	三三	五四	五六	三六	三六
比重	一〇六〇	一〇〇四	一〇〇四	一〇〇九	一〇二〇	一〇二四	一〇二六	一〇三二	一〇三六	一〇三六	一〇三六

即チ四時間内ノ水ノ排泄ハ一二二〇（八一・三%）ニシテ、差引二八〇珉ノミガ殘留セルコト、ナル。

次ニ、糖竝ニ蛋白質ヲ多量ニ含マザル場合ニハ、簡單ナル計算ニ依テ排泄セラレル尿成分ノ分子數ヲ略々推定スルコトヲ得ルモノナリ。例ヘバ一日ニ一五〇〇珉ノ尿量ニテ比重一〇二〇ナリトセバ、 $1500 \times 20 = 3000$ 、尿量二〇〇〇ニシテ、比重一〇一五ナレバ、 $2000 \times 15 = 3000$ トス。即チ此ノ兩例ニ於テハ尿量ト比重トハ各々異ルモ一日ニ排泄サル、分子ノ數ハ略々一定セルモノニシテ、若シ此ノ分子ノ數ガ著シク減少スル時ハ之ヲ「ヒポステスリー」ト云ヒ、増加セル場合ヲ「ヒペルステスリー」、普通ノ場合ヲ「ノルモステスリー」ト云フ。而シテ腎臟疾患ノ際ハ此ノ分子數ノ著シキ減少ヲ見ルモノナリ。

一般ニ、水ノ排泄不十分ナル場合ハ腎臟以外ニ於テ水ガ排泄セララル、カ(下痢又ハ發汗)、或ハ浮腫ヲ生ズルニ依ル。然レドモ排泄完全ナリトテ必シモ腎臟ノ健全ヲ示スモノニハ非ズ。唯一般ニ濃縮機能ガ充分ナル時ハ腎臟機能障礙ハ存在セザルモノト見做サル、モノナリ。

此ノ水試験ニハ種々ノ變法行ハル。飲量モ一立ヲ用ヒテ一時間毎ニ検査スルモノアリ、又濃縮試験モ夕刻ヨリ初メテ三十六時間持續シ以テ水試験ニ於ケル不完全ナル水ノ排泄ノ影響ヲ除外スルコトヲ推奨スルモノアリ。尙、十二時間毎ニ比重ト分量トヲ計ルカ、或ハ單ニ三十六時間後ノ早朝ノ尿ヲ採リ其ノ比重ガ一〇二五以上ナレバ腎機能完全ナリトスル人モアリ。

〔ロ〕シライエル氏試験食ニ依ル腎臟機能検査

前述ノ水試験ニ依ル機能検査ハ極メテ粗雑ナルモノニシテ、生理的ト病的トノ境モ極メテ明瞭ナラズ。

シライエル氏ハ此ノ缺點ヲ除クタメニ特別ノ試験食ヲ用ヒテ検査セリ。而シテシライエル氏及ビヘディングエル氏ノ試験食第一ハ多少利尿作用アル物質ヲ含ムガ故ニ之ヲ刺激性試験食ト云ヒ、同試験食第二

ハ利尿作用少キヲ以テ保護性試験食ト稱ス。兩者トモ液體ノ分量ハ同様ニシテ、之レヲ比較スルコトヲ得。

先ヅ第一日ニ試験食第一ヲ與ヘ、第二日ニ試験食第二ヲ與フ。此ノ兩日ニ於ケル差異ハ腎臟疾患ニ於テハ著シキモノアリ、診斷上重要ナルモノトス。

〔ハ〕食鹽ニ依ル試験法

患者ニ數日間一定ノ食餌ヲ與ヘ、一日ニ排泄サ、ル食鹽ノ分量ヲ定メ、豫メ食鹽ノ排泄ヲシテ平衡ヲ保ツニ至ラシメタル後(通例二―五日)食鹽一〇瓦ヲ一回ニ與ヘ其ノ排泄ヲ一―二日ニ互ツテ検査ス。食鹽ノ排泄ガ障礙セラレタル場合ニハ其ノ原因ガ腎臟ニアリテ分泌作用ノ不完全ナル爲メカ、或ハ腎臟外ニアル鹽類新陳代謝障礙ニ依リ水分ガ組織中ニ蓄積スル爲メナリ。

シッテンヘルム氏及ビシレヒト氏ハ時間ノ空費ヲ避クル爲メ、水試験ニ於ケルト同様ニシテ水ノ代リニ一〇瓦ノ食鹽ヲ少量ノ水ト共ニ與ヘ、一時間又ハ二時間内ニ於ケル食鹽ノ排泄ヲ検査セリ。

臨牀的ニハ水試験及ビ食鹽試験ヲ合併シテ行フヲ便利トス。即チ朝一五〇〇珉ノ水ト一〇―一五瓦ノ食鹽トヲ同時ニ與ヘ、其ノ他ハ全ク食鹽ナキ乾燥食トナス時ハ、四時間ニ排泄サル、水ハ五〇―六〇%、食鹽ハ五〇―七〇%ニシテ、二十四時間後ニハ兩方トモ其ノ分量ハ與ヘタル以上ニ達ス。

〔ニ〕尿素ノ排泄ニ依ル試験法

窒素含量ノ一定ナル食餌ヲ與ヘテ一日ノ全尿ヨリ其ノ窒素含量ヲキエルダール氏法ニ依リ測定シ、窒素ノ排泄ガ平衡ヲ保テル時ハ、一日二〇瓦ノ尿素(九・三瓦ノ窒素ニ相當ス)ヲ牛乳ト共ニ與ヘ、排泄セラ

レタル窒素ガドノ位過剰トナツテ現ハル、カヲ測定ス。即チ、健全ナル人ニアツテハ第一日ニ於テ既ニ七—八瓦、第二日ニ於テ二—三瓦ノ窒素ノ過剰ヲ排泄ス。此ノ排泄ガ不充分ナルカ又ハ遅延スル時ハ腎臓ニ於ケル分泌障碍ヲ示スモノナリ。

尙窒素ノ代リニ尿素ノ定量法ヲ行フコトアリ。

〔ホ〕血中ニ於ケル殘餘窒素ノ測定

I ローナー及ビミハエリス氏ノ方法ヲ可トス。即チ血清五〇蚝ヲ一立ノ「メスチリンデル」ニ入レ蒸溜水六〇〇蚝ニ薄メ之ニ五〇蚝ノ鹽化鐵液(メルク製)ヲ振盪シツ、滴下シ、更ニ蒸溜水ヲ加ヘテ一立トナス。之ヲ濾過シ、濾液ヲ蒸發シテ一〇—二〇蚝トシ、キエルダール氏法ニ依テ窒素ヲ測定ス。

血液少量ナル時ハ次ニ記スフォーリン、ウー氏ノ法ヲ良トス。

II フォーリン、ウー氏殘餘窒素測定法

(試薬)

(1) 硫酸磷酸混合液(純濃硫酸〔Nヲ夾雜セザルモノ〕一〇〇蚝ト、磷酸〔 $H_3PO_4$ ノ八五%ヲ含有シ含利別狀ヲ呈ス〕三〇〇蚝ヲ混ジ、圓筒形ノ器ニ入レテ密閉シ一週間放置スレバ夾雜セル  $CaSO_4$ ハ沈降ス。此ノ上層ノ透明ナル部分ヲ採リ同容量ノ水及ビ十分ノ一量ノ六%  $CaSO_4$ ヲ添加ス。血液濾液五蚝ヲ酸化スルニハ此ノ一蚝ニテ充分ナリ。)

(2) ネスラー氏試薬(ス) 結晶七・五瓦ヲ五〇蚝ノ溫湯ニ溶解シ之ニ一〇〇瓦ノ  $H_2O$ 〔沃度第二水銀〕ヲ攪拌シツ、加ヘテ溶解ス。全量ヲ先ヅ約五〇〇蚝トシ〔必要アラバ濾過シ〕更ニ全量ヲ一立ニ稀釋ス〔以

上、基本液〕。一方ニ  $NaOH$  飽和溶液〔約五五  $mg/ml$ 〕ノ上層ノ透明ナル部分ヲ稀釋シテ一〇%〔濃度ハ成可ク滴定シテ定ムルヲ可トス〕ノ溶液ヲ調製シ、次ノ處方ニ從テ混合ス。處方 基本液一五〇蚝、一〇%  $NaOH$  七〇〇蚝、蒸溜水一五〇蚝〔全量一立〕。

(實施法)

血液ノ無蛋白濾液五・〇蚝ヲ乾燥セル硬質試験管(三五蚝ノ目盛アルモノ)ニ移シ、前記ノ酸混合液一蚝及ビ沸騰核(石英片)ヲ加ヘ、初メ小ナル火焰ヲ用ヒ沸騰シ始メタル時焰ヲ大トシテ強ク熱シ亞硫酸ノ白煙ヲ發生スル迄繼續ス(三—七分)。白煙著シクナリタル時試験管口ヲ小ナル時計皿ニテ覆フカ又ハ吸煙装置ヲ接續ス。次ニ焰ヲ再ビ小トナシ試験管ノ内容ガ僅ニ沸騰スル程度ノ加熱ヲ約二分間繼續ス。此ノ時期迄ニハ内容ハ殆ド無色透明トナルベキ筈ナルモ、若シ酸化終ラザレバ更ニ一—二分間加熱セザルベカラズ。斯クテ暫時放置セル後、先ヅ一五—二五蚝ノ水ヲ加ヘ全體ガ略々室溫トナルヲ待チテ三五蚝ノ割度迄之ヲ滿タス。此ノ際前以テ中和スルヲ要セズ、直チニ一五蚝ノ「ホルビベット」ニテネスラー氏試薬ヲ加ヘ試験管ニ「ゴム」栓ヲ施シテ内容ヲ混ズ。此ノ著色液ノ一部ヲ採リ(瀾濁アラバ遠心沈澱シテ)比色ヲ行フ。標準液ハ一〇〇蚝ノ「メスコールベン」ニ〇・三蚝ノ  $N$ ニ相當スル  $(NH_4)_2SO_4$  液ヲ採リ二蚝ノ酸混合液、約五〇蚝ノ水及ビ三〇蚝ノネスラー氏試薬ヲ加ヘ(被験液ト成可ク同時ニ添加ス)割度迄稀釋シタルモノヲ使用ス。

(計算法)

標準液ノ高サニ〇耗ニテ未知液  $x$  耗トスレバ



$\frac{20}{x} \times 30 =$  無蛋白濾液 100 珎ニ相當ナル血液十ノ殘餘窒素量 (RE)

正常ノ血清ニ於ケル殘餘窒素ハ一〇〇珎中二五—五〇珎ナルモ、腎臟疾患ニ於テハ一〇〇又ハ二〇〇珎以上ニ達スルコトアリ。

### III バング、須藤氏血液殘餘窒素微量定量法

(原理) 一〇〇珎内外ノ血液ヲ吸取紙ニ吸收セシメ燐「モリブデン」酸試薬ヲ加ヘテ蛋白ヲ凝固セシメ同時ニ非蛋白窒素ヲ浸出シ、此ノ浸出液ニキエルダール氏法ヲ適用シ「ヨードメトリー」ニテ窒素量ヲ知ル。

### (試薬)

(1) 燐「モリブデン」酸試薬(燐「モリブデン」酸曹達五瓦、結晶硫酸曹達五瓦、水約七〇珎ヲ蒸發皿ニ入レテ溶解シ一五%苛性曹達一・五—二珎ヲ加ヘ約一五分間煮沸シテ「アンモニア」ヲ驅逐シ冷後一立ノ量液「コルベン」又ハ有栓「メスチリンデル」ニ移シ、水ヲ以テ皿ヲ洗ヒテ加ヘ約五〇〇珎トナシ、次デ八珎ノ濃硫酸ヲ徐々ニ混和シ更ニ〇・二五瓦ノ葡萄糖ヲ添加シ水ヲ追加シテ一立トナシ、充分ニ混和ス。油壘ニ入レ帽ノ磨合セニハ「ワゼリン」ヲ塗付ス。

(2) 濃硫酸。(3) 一〇%硫酸銅。(4) 約百分ノ一定規硫酸。(5) 百分ノ一定規「チオ」硫酸曹達(十分ノ「チオ」硫酸曹達ヲ十倍ニ薄メテ作り、2ccm・100ccm 目盛り「ビウレット」付試薬壘ニ貯フ)。(6) 四%沃度酸加里液(著色壘ニ入ル)。(7) 一〇%沃度加里液。(8) 一%澱粉液。(9) 苛性曹達液(炭酸鹽ヲ含マザルモノ)。

吸取紙(Emil Tensen [「ヘンバーゲン」] 會社製 E, J, K 印又ハ英國製百斤ノ白色吸取紙ヲ幅二六珎ニ截斷シ攝氏五〇—六〇度ノ溫湯ヲ以テ浸出シ一〇分毎ニ水ヲ取換ヘ最終ノ洗滌水一〇珎ヲ試験管ニ取り之ニ數滴ノネスレル氏試薬ヲ加フルモ毫モ黃色ヲ呈セザルニ至ラシム。次デ通風佳良ナル室内ニ乾燥シ一六珎ニ切斷シ廣口壘ニ入レ、壘口ニ「ワゼリン」ヲ塗布シ外氣ヲ防遏シテ貯フ。

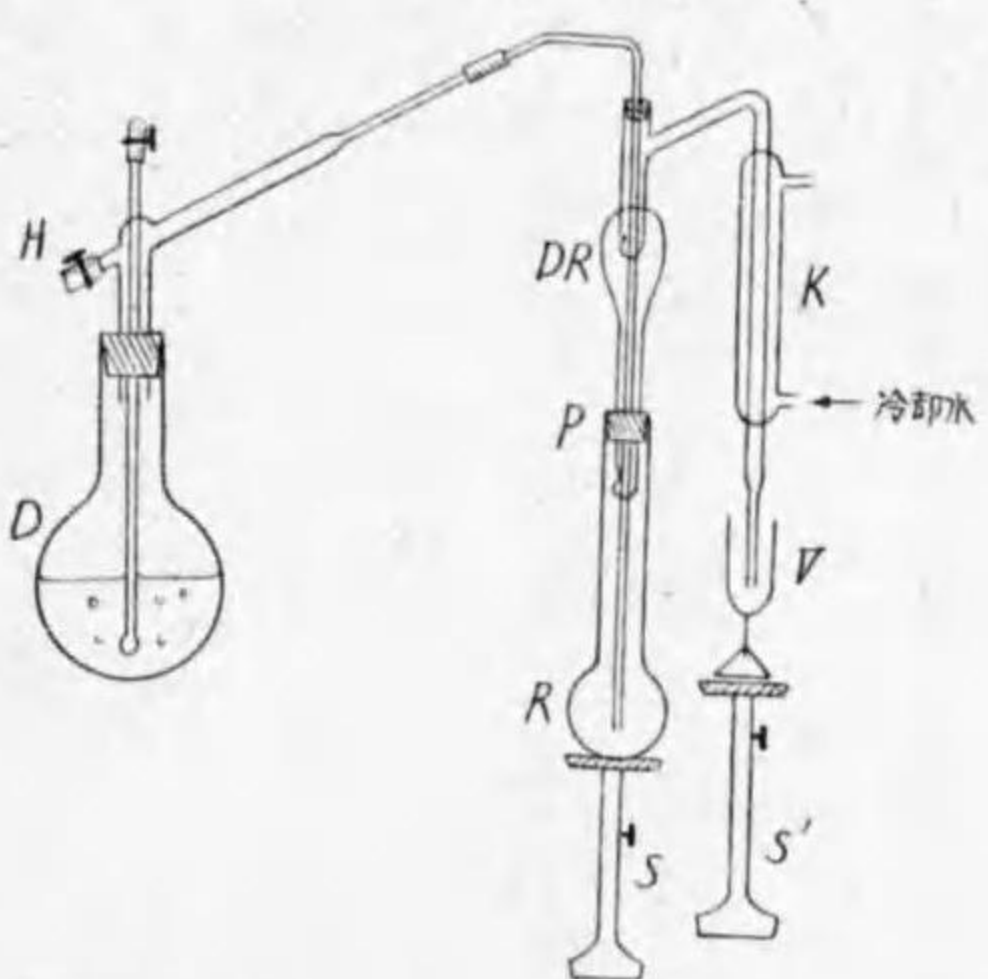
(器具) 一〇〇—八〇珎大ノキエルダール酸化「コルベン」竝ニ蒸氣蒸溜裝置ヲ要ス。須藤式微量窒素測定裝置ト稱シ市販セラル、モノヲ少シク改良シテ使用スルヲ便トス(第四百五十六圖參照)。

### (實施法)

耳朵又ハ指端ヲ穿刺シテ出血セシメ秤量セル吸取紙 16×26mm ニ吸收セシメ直ニ「ゼンマイ」秤ニテ秤量スルカ或ハ秤量壘ニ入レ化學天秤ニテ秤量ス。血液ノ量ハ八〇—一二〇珎ヲ適當トス。此ノ紙ヲ約五分間大氣中ニ放置シ幾分水分ヲ蒸發セシメ「コボシ」付試験管 18×70mm ニ入レ燐「モリブデン」酸試薬ヲ注ギテ紙ノ上縁上二—四珎ニ達セシメ、時々試験管ヲ其ノ長軸ニ沿ツテ靜カニ回轉シ、一時間後浸出液(蛋白凝固物ガ吸取紙ヨリ落下シ浸出液中ニ浮遊シ居ル時ハ充分洗滌シタル濾紙ヲ用ヒテ濾過ス)ヲキエルダール「コルベン」ニ移シ、數珎ノ水ヲ試験管ニ注ギ洗滌シテ「コルベン」中ニ加フ。盲管用トシテ血液ヲ吸收セシメザル吸取紙ニ就テ同様ニ處置シ二個ノ浸出液ヲ作ル。

「コルベン」ニ濃硫酸一珎、一〇%硫酸銅一滴ヲ注ギ焰火上ニ熱ス。水分ガ蒸發シ盡ヌ時ハ内容黒變シ盛ンニ SO<sub>2</sub> ノ白煙ヲ發生スルモヤガテ其ノ發生衰ヘ色薄クナルニ至ル、此ノ時火力ヲ加減シテ僅ニ沸騰スル程度ニ保ツコト約三〇分。内容ハ美麗ナル淡綠色トナル。放冷後水約一五珎ヲ以テ「コルベン」ノ頸部ヲ洗

第四百五十六圖 微量窒素蒸餾装置



D... 蒸氣ノ發生ヲ圓滑ナラシムルタ  
メ滑石粉又ハ一端ヲ封ジタル硝  
子毛細管ヲ加フルヲ普通トスル  
モ、圖ノ如クセバ其ノ必要ナシ  
V... 目盛り付尖杯  
S.S'... 上下壺  
K... 冷却管(長サ 18—20cm)

ヒ落ス。之ヲ冷水ニ漬ケルカ或ハ放置シテ  
冷却ス。次デ第四百五十六圖ノ如ク装置シ  
冷却管ニハ充分ニ水ヲ流シ、Dノ下ニ點火  
シテ沸騰セシメ一〇—三〇分間全装置ヲ蒸  
氣ヲ以テ洗滌ス。此ノ時一分間約三耗ノ溜  
出液ヲ得ル程度ニ火ヲ加減シ置ク。次ニH  
ヲ開キRヲ除ク。尖杯Vニ百分ノ一定規硫  
酸二耗又ハ一耗ヲ採リ臺上ニ載セ、冷却管

ノ下端ガ酸液中ニ浸ル如クス。前述ノ酸化「コルベン」ヲ斜ニ持チ苛性曹達三耗ヲ「ビベット」ヲ用ヒテ靜カ  
ニ管壁ニ沿ツテ注加シタル後、溜水ヲ以テ「ゴム」栓Pヲ潤シ之ニ密ニ嵌メル(曹達ハ硫酸ヲ中和シ尙強  
「アルカリ」性トナスニ必要ナルダケ充分ニ加フルヲ要ス)。次デHヲ閉ヂ、尖杯ノ液量ガ五耗トナルニ至  
ラバ臺ヲ下ゲテ冷却管ノ下端ヲ酸液中ヨリ引キ離シ、引續キ蒸溜シ液量一〇耗トナリシ時噴水壘ヲ用ヒ  
テ冷却管ノ下端ヲ洗滌シHヲ開キ尖杯ヲ臺ヨリ下ス。「コルベン」ヲ外シ、同様ニシテ蒸溜ヲ行フ。之ガ悉  
ク終了セバ蒸溜管DR及ビ冷却器Kノ先端ニモ保護外套ヲ嵌メ汚染ヲ防グ。  
尖杯ニ一〇%沃度加里一耗、四%沃度酸加里〇・二耗ヲ混和シ、時計皿ニテ覆ヒ、五分後「チオ」硫酸曹達  
ヲ滴下シ淡黄色トナラバ澱粉液數滴ヲ加ヘ青色ガ消失スル迄「チオ」硫酸曹達ヲ加フ。二分後青染スレバ  
更ニ追加ス。其後ハ青色變スルモ追加ヲ要セズ。

(計算法)

b... 定量ニ用ヒタル血液量 mg T... 被檢液ノ「チオ」硫酸曹達消費量 a... 官驗ノ「チオ」硫酸消費  
量 F... 約百分ノ一定規「チオ」硫酸曹達ノ力價

$$(a-T) \times F \times 14000 + b = \text{被檢液 } 100g \text{ 中ニ於ケル殘餘窒素量 } mg$$

〔ハ〕血中ノ「インヂカン」證明法

正常ノ血清中ニハ一〇〇耗中ニ最高「インヂカン」〇・一八耗ヲ含ム。尿毒症ニ於テハ二・七耗ニモ達ス。  
ハース氏ニ依レバ殘餘窒素ヨリモ「インヂカン」ノ方ガ早ク腎臓機能不全ヲ示スモノナリト云フ。  
血清一・五耗ニ同量ノ蒸溜水ヲ加ヘ更ニ蛋白ヲ沈澱セシムル爲メニ二〇%ノ三鹽化醋酸三耗ヲ加ヘテ濾  
過シ、濾液ニ五%ノ「アルコール」性「チモール」液七滴トオーベルマイエル氏試薬トヲ加ヘテ輕ク振盪シ  
二時間放置シタル後一耗ノ「クロロホルム」ヲ以テ振盪ス。若シ「クロロホルム」ガ青紫色ヲ呈スル時ハ  
「インヂカン」ノ増加ヲ示シ、尿毒症ノ徵候トサレ、之ニ反シ單ニ蓋微色ヲ呈スルナラバ輕度ノ殘餘窒素  
増加ヲ示スニ過ギズ。

血液中ノ「インヂカン」定量法

(原理) 「インヂカン」ハ「チモール」及ビ「オーベルマイエル」氏試薬ノ存在ニ於テ酸化セラレテ鹽酸性ナ  
Cymol-2-indolinigron (紫色)ヲ生ズ。

I ジョレス氏法

朝食前空腹時肘靜脈ヨリ採血シ血清ヲ分離ス。

血清(例へば一〇坵)ト同量ノ溜水ヲ混和ス(Jolly氏ハ水ヲ加ヘズ)。二〇%三鹽化醋酸ヲ血清ノ倍量(二〇坵)加ヘ、硝子棒ヲ以テ能ク混和シ、血清蛋白ヲ凝固沈澱セシム。皺襞濾紙ヲ用ヒ成可ク小ナル漏斗ニテ濾過ス(蛋白質ヲ除去ス)。水様透明ノ濾液六坵ヲ「ビベット」ヲ以テ一ノ試験管ニ入ル(此ノ濾液六坵ハ血清一・五坵ニ當ル)。

五%「チモール、アルコール」液一坵、オーベル、マイエル氏液(比重一・一九、純發煙鹽酸一〇〇〇坵中、過酸化鐵五瓦ヲ含ムモノニシテ、毎回新製ス)六坵ヲ加ヘ、振盪混和シテ二時間室温ニ靜置シタル後、「クロホルム」二坵ヲ加ヘ生ジタル色素ヲ抽出シ、之ヲ次ノ標準液ト比色ス。

標準液、メルク製純「インヂカン」〇・〇三二瓦ヲ溜水一〇〇坵ニ溶解シ之ヲ母液トス(六週間毎ニ新製スベシ)、此母液一坵ヲ更ニ溜水一〇〇坵ニテ稀釋ス(此ノ液一坵中〇・〇三二坵ノ「インヂカン」ヲ含有ス)。此ノ稀釋標準「インヂカン」液ヲ一列ノ同徑ノ試験管ニ夫々一、二、三、四、五、六坵宛入レ、其ノ各々ニ溜水ヲ加ヘテ、各試験管ノ内容ヲ總テ六坵トナス。

次ニ此ノ各管ニ五%「チモール、アルコール」液一坵、オーベルマイエル氏液六坵宛ヲ加ヘテ能ク振盪混和シ、二時間室温ニ靜置シタル後「クロホルム」二坵宛ヲ入レテ色素ヲ抽出ス。「クロホルム」以外ノ液ヲ去リテ各管ヲ熔封シ(之ハ暗所ニ貯フ。二―三週間毎ニ新製スルヲ要ス)前記被檢液ノ「クロホルム」層ト著色度ヲ比較ス。

通常前記六管ニテ間ニ合フモノナルモ、特ニ「インヂカン」量大ナル時ハ母液ヲ以テ比色計ニ掛クルモ可ナリ。

## Citratplasma

## II 上田氏法

(1)血清又ハ枸橼酸血漿(採血時、枸橼酸曹達約一白金耳位(約〇・五%ノ割)ヲ血液ニ混ジ、凝固ヲ防ギ直チニ遠心器ニ掛ケテ得タル血漿)ヲ水ニテ稀釋シ、二〇%三鹽化醋酸ニテ蛋白ヲ除去シ、其ノ濾液ヲ一列ノ試験管ニ夫々六、四、二、一、〇・六、〇・四、〇・二、〇・一……等遞減的ニ「ビベット」ヲ用ヒテ正確ニ各試験管ニ入レ、

(2)溜水ヲ加ヘテ各管ノ液量ヲ總テ六坵宛トス。

(3)五%「チモール、アルコール」液一坵宛及ビオーベルマイエル氏液六坵宛ヲ各管ニ加ヘ、能ク振盪混和シ、

(4)二時間半(化學反應徐々ニ起ルヲ以テ)室温ニ放置シタル後、各管ニ「クロロホルム」二坵宛ヲ加ヘ、靜カニ振リテ色素ヲ抽出シ、其ノ終末反應(著色セル試験管中使用血清量最小ノモノ)ヲ見定ム。

(5)ジョレス氏反應ノ敏度ハ「インヂカン」〇・〇三二坵迄證明シ得ルガ故ニ、此ノ終末反應管ノ可檢血清量中ニハ正ニ〇・〇三二坵ノ「インヂカン」ヲ含ムコト、ナルヲ以テ、之ヨリ血清一〇〇坵中ノ「インヂカン」含有量ヲ推算スルコトヲ得。

「ト」血中「クレアチニン」検査法

I フォーリン、ウー氏法

(試薬)

(1)一〇%「ウォルフラム」酸曹達(可及的純良ナル「ウォルフラム」酸曹達  $\text{Na}_2\text{W}_2\text{O}_7 \cdot 2\text{H}_2\text{O}$  ヲ一〇%ノ割合

ニ水ニ溶ス。溶液ガ若シ酸性ナラバ一〇耗ヲ採リ一%「フェノールフタレインアルコール」數滴ヲ加ヘ微紅色ヲ呈スル迄十分ノ一定規苛性曹達ヲ滴下ス。其ノ消費量ヨリ計算シテ殘餘ノ液ニ十分ノ一定規苛性曹達ヲ加ヘ中和シテ後使用ス。若シ「アルカリ」性ナル時ハ一〇耗ヲ採リ「フェノールフタレイン」數滴ヲ加ヘ十分ノ一定規鹽酸ヲ紅色ガ正ニ消ユル迄滴下ス。消費量ガ〇・四耗以下ナレバ其儘、以上ナレバ殘液ニ計算量ノ十分ノ一定規鹽酸ヲ加ヘ中和シテ後使用ス。

(2) 三分ノ二定規硫酸(濃硫酸一八・七耗ヲ水ニ溶シテ一立トナスカ、局方稀硫酸三〇六耗ニ水ヲ加ヘテ一立トナシ定規苛性曹達ニテ標定シ適當ニ水ヲ以テ薄メ其ノ一五耗ガ定規苛性曹達一〇耗ニテ中和サルル様ニス。硫酸ハ往々窒素化合物ヲ含ムヲ以テ注意ヲ要ス)。

(3) 「アルカリ」性「ピクリン」酸液(用ニ臨ミ「ピクリン」酸飽和液「一〇一〇頁參照」二五耗ニ一〇%苛性曹達五耗ヲ加フ)。

(4) 「クレアチニン」稀釋規準液(1 cm = 0.01 mg「クレアチニン」)(原液「クレアチニン」〇・一瓦又ハ「クレアチニン」鹽化亞鉛〇・一六〇三瓦ヲ十分ノ一定規鹽酸ニ溶シテ一〇〇耗トス。此ノ一〇耗ニ定規鹽酸一〇耗ヲ加ヘ水ヲ追加シテ一〇〇耗トス。著色壞ニ入レ「トルオール」數滴ヲ加ヘ貯フ)。

## (實施法)

## A 既存「クレアチニン」

一〇耗回線目盛り付試験管四本ヲ用意シ内一本ニ被檢液ヲ入レ他ノ三本ニハ「クレアチニン」規準液ヲ採ル。

Nr. 1+「クレアチニン」稀釋規準液 1.0 ccn+水 9 cm

Nr. 2+「クレアチニン」稀釋規準液 2.0 ccn+水 8 cm

Nr. 3+「クレアチニン」稀釋規準液 5.0 ccn+水 5 cm

Nr. 4+血液無蛋白濾液(1:10) 10.0 ccn

各々ニ「アルカリ」性「ピクリン」酸液五〇耗ヲ加ヘ靜カニ混和シ八一〇分後ニ「マ」ヲ最モ色調ノ近キ規準液ト比較ス。此ノ際「アルカリ」性「ピクリン」酸ヲ加ヘテヨリ一五分以内ニ比色ヲ完了セザルベカラズ。

## (計算法)

Nr. 1 ト比較ニタル時  $1 \times \frac{s}{d}$  「クレアチニン」 mg/dl

Nr. 2 ト比較ニタル時  $2 \times \frac{s}{d}$  「クレアチニン」 mg/dl

Nr. 3 ト比較ニタル時  $5 \times \frac{s}{d}$  「クレアチニン」 mg/dl

正常値ハ一—二 mg/dl ニシテ全血ト血漿トノ間ニ殆ド差ナシ。尿毒症ニ於テハ八 mg/dl 位ニ達スルコトアリ。腎臟疾患ニ依テ起レル尿毒症ニ於テハ血液殘餘窒素全體トシテ「クレアチニン」ノ增量セル場合、病症ノ豫後ヲ斷定スル補助トナル。尙著者ニ依リテハ正常値ヲ〇・七—二 mg/dl トナシ「三・五 mg/dl 迄ハ病的ニ非ズトナス者アリ。

## B 總「クレアチニン」

(器具) 「アウトクラーフ」

(實施法)

一〇 珉回線目盛り付試験管三本ヲ用意ス。Nr. 3 ニフオーリン、ウー氏血液無蛋白濾液五珉ヲ採リ(原血液一珉ヲ要ス。既存「クレアチニン」ヲモ同時ニ測定センニハ血液二・五—三珉ヲ要ス。尙尿毒症ノ如ク「クレアチン」ノ含量大ナル場合ニハ血液無蛋白濾液一—二珉ヲ採リ水ヲ加ヘテ五珉トナス) 定規鹽酸一珉ヲ加ヘ錫箔ニテ管口ヲ覆ヒ「アウトクラーフ」ニ入レ、攝氏一三〇度ニ二〇分間、或ハ一五五度ニ一〇分間熱シ、火ヲ去リ一〇〇度以下ニ冷ユルヲ俟ツテ取り出シ冷水ニ漬ケテ冷却シ水ヲ目盛り迄加フ。別ニNr. 1 及Nr. 2 ノ試験管ニ「クレアチニン」稀釋規準液二珉及五珉ヲ採リ水ヲ加ヘテ一〇珉トス。其ノ各々ニ同時ニ「アルカリ」性「ピクリン」酸液五・〇珉ヲ混和シ八—一〇分後ニ比色ス。

(計算法)

Nr. 1 ト較べタル時  $20 \times \frac{s}{p} \times \frac{1}{V}$  總「クレアチニン」量 mg/dl

Nr. 2 ト較べタル時  $50 \times \frac{s}{p} \times \frac{1}{V}$  總「クレアチニン」量 mg/dl

(V) ハ血液無蛋白濾液ノ使用量珉

正常値ハ全血二—六 mg/dl 血清一—三 mg/dl ナリ。

II ノイバウエル氏法

バイエル製ノ純「クレアチニン」ナル「イルン」ヲ一・五瓦内服セシムル時腎臓機能完全ナレバ其ノ大部分ハ直チニ尿中ニ排泄セラル。若シ此ノ排泄障碍サル、時ハ腎臓機能モ普通ナラズ。

(實施法)

先ヅ午前九時ニ排尿セシメ次ノ二十四時間内ニ於ケル尿ヲ六時間毎ニ調べテフオーリン氏ニ從ヒ比色計ニ依テ「クレアチニン」ヲ定量ス。試験ノ前日及ビ翌日モ此ノ方法ニ依テ「クレアチニン」ヲ定量シテ之ト比較ス。腎臓ノ機能健全ナル時ハ第一期(初メノ六時間)ニ於テ〇・八一—一・一ノ增量ヲ示シ(五五—七五%)、第二期ニ於テ〇・二—〇・四五瓦(八一—三〇%)、第一及ビ第二期ノ合計ハ一・〇五—一・三五瓦(七二—九〇%) ナリ。第三期ニハ殆ド前日ノ分量ト同ジ。若シ腎臓機能障碍アル場合ハ第一期ニハ餘リ增量セズシテ第三—第四期ニ増加スルモノナリ。

前日及ビ翌日ノ尿ハ必シモ六時間毎ニ集ムル要ナシ。食餌ハ特別ニ制限スル必要ナケレドモ餘リ異レルモノモ宜シカラズ。尿ハ可及的新鮮ナルウチニ測定セザルベカラズ。「アンモニア」性分解ヲ起シタルモノハ用フルコトヲ得ザルナリ。

正常腎ニ於ケル試験

尿量	前日			試驗日			翌日		
	3	9	9	3	9	9	3	9	9
「クレアチニン」(%)	一一九	一一二	一一九	七〇一	二二四	一一三	七〇二	七五五	一一九
「クレアチニン」(瓦)	一・二四	一・八一	一・二四	一・二七	三・三二	二・五二	〇・四二	〇・四六	〇・二六
「クレアチニン」(瓦)	〇・三一	〇・九六	〇・三一	〇・二七	〇・五二	〇・三一	〇・二九	〇・三五	〇・三三
「クレアチニン」(瓦)	〇・三一	〇・九六	〇・三一	—	—	—	—	—	—
每六時間ノ平均	—			前日ノ平均ヨリノ增量			—		

尿量	前日			試験日		
	3日	9日	3日	9日	3日	9日
「クレアチニン」(%)	二六五九	六四二	八三五	七五三	六五二	六七二
「クレアチニン」(瓦)	〇・八六	〇・八六	〇・四三	〇・四八	〇・五八	〇・四九
「クレアチニン」(瓦)	〇・八六	〇・五五	〇・三六	〇・三六	〇・三八	〇・三三
「クレアチニン」(瓦)	〇・二一	〇・三四	〇・一五	〇・一五	〇・一七	〇・一二
平均	前日ノ平均ヨリノ増量					
尿量	二六五九	六四二	八三五	七五三	六五二	六七二
「クレアチニン」(%)	〇・三二	〇・八六	〇・四三	〇・四八	〇・五八	〇・四九
「クレアチニン」(瓦)	〇・八六	〇・五五	〇・三六	〇・三六	〇・三八	〇・三三
「クレアチニン」(瓦)	〇・二一	〇・三四	〇・一五	〇・一五	〇・一七	〇・一二
平均	前日ノ平均ヨリノ増量					
尿量	二六五九	六四二	八三五	七五三	六五二	六七二
「クレアチニン」(%)	〇・三二	〇・八六	〇・四三	〇・四八	〇・五八	〇・四九
「クレアチニン」(瓦)	〇・八六	〇・五五	〇・三六	〇・三六	〇・三八	〇・三三
「クレアチニン」(瓦)	〇・二一	〇・三四	〇・一五	〇・一五	〇・一七	〇・一二
平均	前日ノ平均ヨリノ増量					
尿量	二六五九	六四二	八三五	七五三	六五二	六七二
「クレアチニン」(%)	〇・三二	〇・八六	〇・四三	〇・四八	〇・五八	〇・四九
「クレアチニン」(瓦)	〇・八六	〇・五五	〇・三六	〇・三六	〇・三八	〇・三三
「クレアチニン」(瓦)	〇・二一	〇・三四	〇・一五	〇・一五	〇・一七	〇・一二
平均	前日ノ平均ヨリノ増量					

體重ヲ計ルコトハ腎臓疾患殊ニ浮腫アルモノニハ大切ニシテ、又水試験、食鹽試験ノ際ニモ必要ナルコトナリ。水ノ停滯ハ體重ノ増加ニ依テ明カナルモ尙「レフラクトメーター」ニ依テ血清ノ蛋白量ヲ測定スルモ之ヲ知ルコトヲ得。血液ガ薄クナル程蛋白ノ含量モ少クナルモノナリ。

二、身體異物若クハ色素ニ依ル腎臓機能検査

〔イ〕沃度加里ノ排泄

〇・五瓦ノ沃度加里ヲ溶解シテ内服セシメ、之ガ排泄サレ終ル時間ヲ測定ス。

沃度ノ證明(モナコー氏法)

尿ヲ試験管ニ採リ少量ノ澱粉ヲ加ヘ之ニ硝酸ヲ重ヌル時其ノ境界ニ青色ヲ生ズ。

〇・五瓦ノ沃度加里ハ四〇—六〇時間ニ排泄サレ終ル。シライエル氏ニ依レバ沃度ノ排泄延長スルハ細尿管ノ疾患ヲ示スモノナリト云フ。

〔ロ〕乳糖ノ排泄

靜脈内注射用トシテ一〇%ノ乳糖溶液ヲ作り其ノ二〇坵ヲ肘靜脈ニ注射シ、毎時間尿ヲ採リ分光器ニ依テ其ノ分量ヲ計ル。尿ヲ清澄ニスル爲メ少量ノ血炭ヲ用ヒ、蛋白アレバ醋酸ヲ加ヘ熱シテ沈澱ヲ去ル。正常尿ハ平均〇・〇四七六ノ左旋光物質ヲ含ム。從テ乳糖ノ量少ケレバ其ノ區別困難ナルヲ以テ、常ニニランデル氏法ニ從テ其ノ存在ヲ比較スルヲ可トス。ニランデル氏法ハ〇・〇三—〇・〇四迄陽性ヲ示ス。乳糖ノ排泄ヲ知ルニハニランデル氏法ノミニテモ充分ナリ。

乳糖ハ健全ナル人ニ於テハ平均四時間、最長五時間以内ニ排泄セラレ。而シテ利尿著シキ場合ニハ稍々早クナルモ、乏尿又ハ高熱ノ際ハ影響ヲ受クルコトナシ。

シライエル氏ニ依レバ、腎臓ノ血管系統ニ變化アル際(糸毬體腎炎)ニハ其ノ排泄延長サル、モノニシテ、排泄ガ七時間以上ニモ達スル時ハ確實ニ障碍ノ存在ヲ断定シ得ベク、其ノ持續時間ノ長短ニ依ツテ腎臓炎ノ重サヲ知ルコトヲ得。

〔ハ〕「フェニールズルフォンフタレイン」試験法(ローンツリー、ヂェラーテイ氏法)

(試薬)

(1) 注射用「フェニールズルフォンフタレイン」液(色素六〇〇坵 = 2n-NaOH 〇・八四坵、〇・七五% NaCl 約五〇坵ヲ加ヘテ溶シ、一〇〇坵量液「コルベン」ニ移シ、2n-NaOH 〇・五坵ヲ追加シ〇・七五% NaClヲ加ヘテ總量ヲ一〇〇坵トス。硬質硝子製「アンブレ」ニ約一・五坵宛分注シ封入滅菌ス)。

(2) 比色用規準液(一立量液「コルベン」ニ(1)ノ一・〇坵「六坵ノ色素ヲ含ム」ヲ採リ一〇% NaOH 一〇坵ヲ加ヘ水ヲ加ヘテ一〇〇坵トナシ、硬質硝子製「アンブレ」ニ入レ熔封滅菌ス。普通ノ試薬罐ニ貯ヘ

タルモノハ一ヶ月位シカ保タズ。

(3) 10% NaOH

(器具) 罎(尿「コップ」)數個。五〇〇—一〇〇〇珉有柱目盛圓筒。比色計。

(實施法)

早朝空腹時被檢者ニ約三〇〇珉ノ水ヲ飲マシメ放尿セシム。此尿ハ捨ツ。直チニ色素液一珉ヲ靜脈内、皮下或ハ筋肉内(主トシテ臀筋肉内)ニ注射ス。注射後五分毎ニ豫メ一〇% NaOH 數滴ヲ入レ置キタル罎中ニ放尿セシム。尿ガ NaOH ニテ初メテ紅染スル(即チ色素ガ排泄サル、)時間ヲ觀察ス。注射一時間後ニ前ト同ジ罎中ニ放尿セシム。爾後一時間毎ニ別々ノ罎ニ放尿セシメ、通例第二時間乃至第四時間ヲ以テ終リトス。罎内容ヲ各別ニ目盛圓筒ニ移シ水デ良ク洗ヒ一〇% NaOH 一〇珉ヲ加ヘ、少シ宛水ヲ加ヘテ混和シ、規準液ノ紅色ト略々等シクナレル時容積ヲ讀ミ(V 珉)次デ比色ス。若シ濁濁シ居レバ遠心器ニカケルカ濾過ス。血尿ノ場合ニハ NaOH ノ代リニ石灰乳ヲ用ヒ混和後暫時放置シ、要スレバ濾過シ、或ハ遠心器ニカケテ後比色ス。

(計算法)

各時間ノ色素排泄量(注射量ニ對スル%)ハ  $\frac{P}{P_0} \times \frac{V}{V_0}$

排泄時間(注射後)	正	常	異	常
第一時間目	五—一〇分	一〇分以上		
第二時間目	四〇—六〇%	四〇%以下		
合計	一五—二五%			
	五五—八五%			五五%以下

靜脈内注射ニテハ排泄時間ガ三—五分ニ短縮シ排泄量ハ稍々多クナル。

(注意) 尿路ニ排泄障礙アル場合或ハ左右ノ腎臓ノ機能ヲ知ラント欲スル場合ハ「カテーテル」ヲ使用ス。

〔ニ〕「インヂゴ」硫酸「カルミン」試験法

六%ノ食鹽水ニ〇・四%ノ割合ニ此ノ色素ヲ溶シ其ノ二〇珉(「インヂゴカルミン」〇・〇八)ヲ臀筋内ニ注射ス。次ニ尿道「カテーテル」ヲ用ヒテ尿ヲ集メ、之ヲ檢スルニ、健康ナル人ニ於テハ三—五分間ニシテ色素ノ排泄始マリ、三〇—四五分ニテ最高ニ達シ十二時間ニシテ終ル。之等ノ尿ヲ三〇分毎ニ集メテ比色計ヲ用ヒ定量ス。

〔ホ〕ストラウス氏「ウラニン」又ハ「フルオレスチン」反應

一瓦ノ「ウラニン」即チ「フルオレスチン」、ナトリウム「ヲ一杯ノ珈琲ト共ニ與フル時ハ健康者ニアツテハ一〇分ニシテ色素ノ排泄ヲ始メ四〇時間持續ス。排泄遲延ハ絲毬體ノ障礙ヲ示ス。病ノ進行セルモノニアラザレバ排泄シ始ムル時間ハ餘リ變化セズ。

〔ヘ〕ブング及ビレシケ氏「フェロチアン」試験法

純「フェロチアンナトリウム」ノ二〇%溶液二珉ヲ注射シ排泄サル、尿ニ鹽化鐵ト鹽酸トヲ加ヘテ青色反應ヲ起サシム。健康者ニアツテハ八時間ニシテ排泄止ムモ細尿管ニ障礙アルモノハ其ノ排泄遲延ス。

〔ト〕「フロリヂン」試験法

メーリング氏ニ依レバ「フロリヂン」ヲ注射スル際ニハ腎臓ノ排出閾ヲ減退セシメ一部ハ中毒作用ニ依テ

Phlorrhigin-probe  
Mehring

Bunge u. Leschke  
Ferrocyanprobe

Strauss  
Uraninprobe  
Fluorescein  
Fluoresceinnatrium

血糖ノ増加ヲ來シ、糖尿ヲ起スモノナルモ、腎臓疾患ノ際ニハ此ノ關係異ルモノナリ。糖尿ナキ者ニ〇・五%ノ「フロリヂン」一坵ヲ皮下ニ注射スル時ハ健康者ニ於テハ三〇分ニシテ糖尿現ハレ二―四時間持續シ、全量〇・五―三・〇瓦ニ達ス。

〔チ〕次亞硫酸曹達ニ依ル検査法

〔原理〕次亞硫酸曹達水溶液ヲ靜脈内ニ注射スル時ハ其ノ六〇―七〇%ハ體內ニ於テ酸化セラレ硫酸曹達トナルモ殘餘ノ三〇―四〇%ハ其ノ儘次亞硫酸曹達トシテ尿中ニ排泄セラル、ヲ以テ、此ノ次亞硫酸曹達ヲ「ヨードメトリー」ニ依テ定量ス。

〔實施法〕

一〇%次亞硫酸曹達水溶液一〇坵ヲ靜脈内ニ注射シ、一時間毎ニ三回放尿セシメ各一時間ノ全尿量ヲ計リ、其後各時間ノ尿約二〇坵ヲ採リ、尿中ニ存在スル沃度化合物ヲ除去センガ爲メ、之ニ約〇・五瓦ノ動物炭ヲ混ジ二―三分放置後濾過シ濾液一〇・〇坵ヲ採リ指示薬トシテ少量ノ澱粉液ヲ加ヘn10沃度定規液ニテ滴定ス。尙對照トシテ注射前ノ尿ニ就テモ同様ニ處置ス。

〔計算法〕

對照尿ニ於ケルn10沃度定規液所要量ヲ各時間ノ尿ノn10沃度定規液所要量ヨリ減ズ。n10定規沃度液一・〇坵ハ一五・八瓦ノ次亞硫酸曹達ニ相當スルヲ以テ、消費セラレタルn10沃度定規液ノ量ニ一五・八ヲ乘ジ、尿一〇坵中ニ含有セラル、量ヲ知ル。

腎臓ノ健康ナル場合ニハ注射後三時間内ノ排泄量ハ二〇%以下ニ降ルコトナシ。

Coefficient uréo-sécrétoire (Ambard)

三、アンバール氏係數ヲ用フル腎臓機能検査

血中及ビ尿中ニ於ケル尿素ノ量ハ同一人ニ於テモ一日中ノ時間ニ依リ變動アリ。アンバール氏ハ此ノ關係ヨリ腎臓ノ機能ヲ推知スルコトヲ提唱セリ。即チ、例ヘバ三六分間ニ於テ排泄サル、尿中ノ尿素ト、同一時ニ於ケル血液中ノ尿素トヲ定量シ、計算ニ依テ尿ト血液中ノ尿素トノ關係ヲ現ハス。其ノ方法次ノ如シ。

(1)放尿ノ時刻ヲ記シ、此ノ尿ハ棄ツ。(2)三六分(二十四時間ノ四十分ノ一)後ニ放尿セシメ尿量(U)ト尿素量(C<sub>u</sub>)ヲ測ル。(3)初メヨリ四〇分ノ後血液ヲ採リ尿素ヲ定量ス(U<sub>u</sub>)。(4)若シ二十四時間内ノ血液及ビ尿中尿素濃度ガ三六分内ト同様ナリトセバ腎臓ノ排泄スル尿素量ハ二十時間ニ就キ

$$D (\text{Debit ureique}) = v \times C \times 40$$

$$K = \frac{U}{\sqrt{\frac{D}{C}}}$$

Kハ健康者ニ於テハ〇・〇六二―〇・〇八八(老人ニテハ〇・〇九七以上トナル)ニシテ〇・一―〇・一二以上ハ病的ナリ。

腎臓以外ニ尿素ノ排泄障碍ナキ場合ニ於テハ、此ノ係數ノ増加ハ常ニ腎臓ノ機能不全ヲ示スモノニシテ、急性糸毬體腎炎ガ慢性トナル如キ場合ニハ常ニ此ノ係數ノ増加ヲ見ル。從ツテ、若シ臨牀上ニ他ノ症狀現ハレザルモ、此ノ係數ノ増加アル時ハ注意シテ治療法ヲ講ゼザルベカラズ。又此ノ係數ニ變化ナクンバ假令蛋白竝ニ圓柱存在スルモ無害ナリト云フヲ得ベシ。血壓亢進ノ際ニモ亦診斷ノ助ケトナル。唯、



浮腫多キ場合及ビ心臓性鬱血アル際ハ此ノ係數ノ變化ハ何等ノ意味ヲ有セズ。

四、血液ノ尿素清浄量(マックイントツシ、メラ、ワン・スライク氏)ニ依ル腎臓機能検査

(實施法)

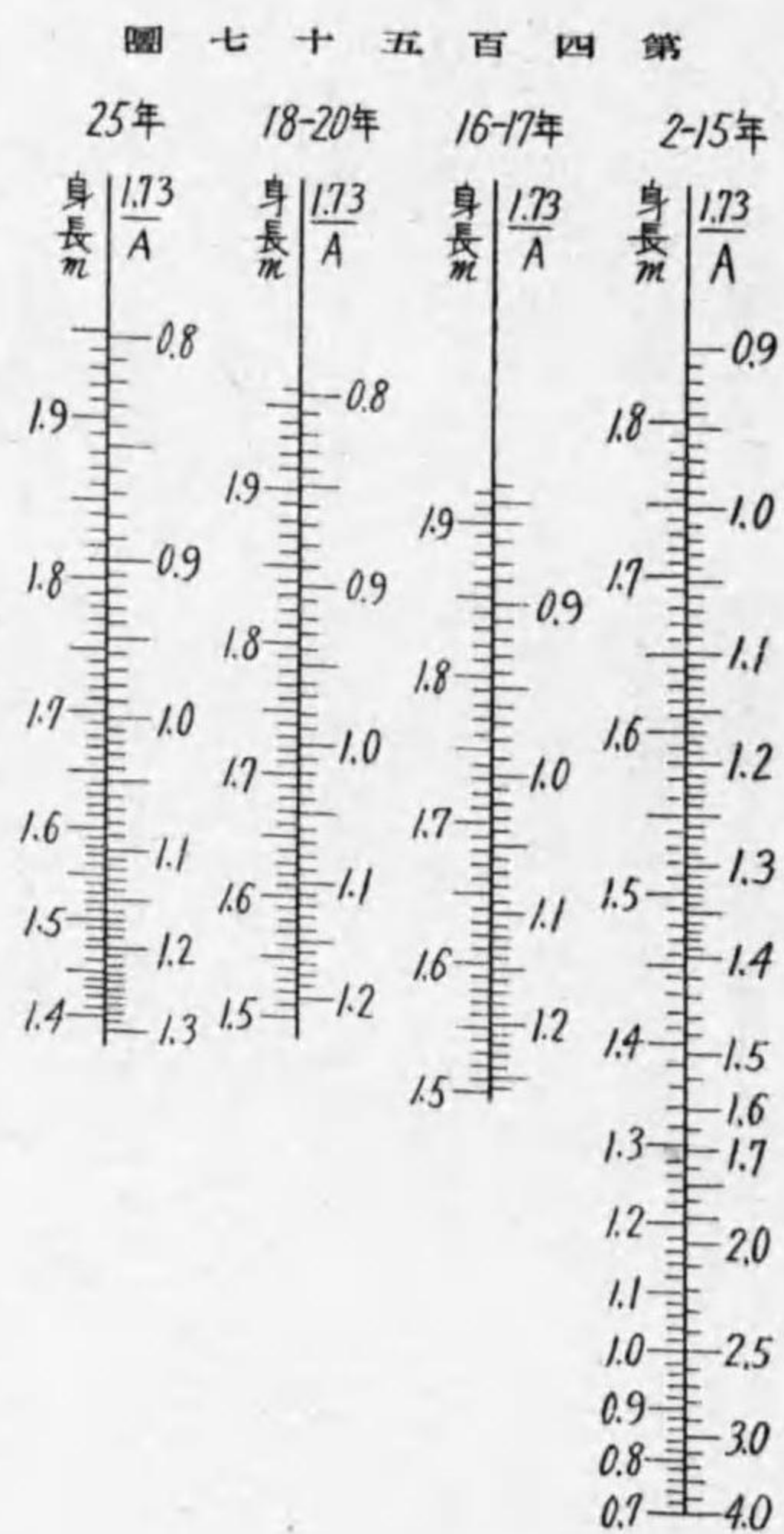
激シキ運動ヲ禁ジ普通ノ朝食ヲ攝ラシム。但シ珈琲、茶ノ類ハ與ヘズ。試験中ハ可及的安靜ナラシム。先ヅ一椀ノ水ヲ飲マセ直チニ放尿セシム。此ノ時ヨリ一時間及ビ二時間後ニ各別ニ採尿シ(U<sub>1</sub>, U<sub>2</sub>)尿量ヲ正確ニ計ル。一分間ノ排泄量ヲ計算シ兩者ノ平均ヲ出ス。之ヲVトス。第一時間目ノ終リノ數分前ニ血液約五坵ヲ採リ尿酸加里一〇坵ヲ混和シテ凝固ヲ防グ。此ノ血液ノ尿素濃度ヲ測定シ之ヲBトス。U<sub>1</sub>及ビU<sub>2</sub>ノ尿素濃度ヲ測リ兩者ノ平均ヲUトス。UトBノ濃度單位ハ同一デサヘアレバ何ヲ用フルモ差支ナシ。採尿時間ノ間隔ハ必シモ一時間ナルヲ要セザルモ餘リ短時間ノ觀測ニテハ正確ヲ期シ難シ。要ハ一分間ノ排泄尿量ヲ正確ニ知ルニアリ。血液ノ尿素量ハ短時間中ニハ餘リ變化セザルモノ故、採尿時間ノ中頃ニ採血セルモノヲ以テ同時間中ノ平均尿素量ト見做シテ差支ナシ。

(計算法)

Vニ對シ體表面積ニ基テ補正ヲ加フ。即チ  $V \times \frac{1.73}{A} = V_{補正}$  ヲ計算ス(1.73m<sup>2</sup>ハ成人ノ平均體表面積)。Aハ被檢者ノ體表面積(m<sup>2</sup>)ナルモ、之ヲ一々測定スルハ不可能ナル故、多數ノ實驗例ニ基テ作レル第四百五十七圖ヲ利用シ被檢者ノ年齢ト身長トヲ知り直チニ  $\frac{1.73}{A}$  ヲ求ム。

$$V_{補正} > 2 \text{ cm} \text{ ナラバ, Maximum Clearance} = C_m = \frac{UV}{B}$$

$$V_{補正} < 2 \text{ cm} \text{ ナラバ, Standard Clearance} = C_s = \frac{U\sqrt{V}}{B}$$



健康者ノ平均値ハ  $C_m = 75$ ,  
 $C_s = 54$  ニシテ、之ニ對スル  
百分率トシテ現ハスヲ便利ト  
ス。即チ

$$M = \% \text{ of average normal}$$

$$C_m = \frac{C_m}{75} \times 100 = 1.33 \times$$

$$\frac{UV}{B}$$

$$S = \% \text{ of average normal}$$

$$C_s = \frac{C_s}{54} \times 100 = 1.85 \times \frac{U\sqrt{V}}{B}$$

正常値  $M = 80 - 120\%$ ,  $S = 76 - 120\%$  之等ノ價ガ正常値以下ナル時ハ腎臓ヲ通過スル血液量ガ病的ニ減少シ居ルカ或ハ腎臓ガ尿素ヲ排泄スル能力ガ病的ニ衰弱シ居ルカ又ハ此ノ兩者ガ同時ニ伴ヒ居ルモノト考ヘラル。

附、(一) 尿中尿素ノ定量法(前述)

(二) 血液尿素ノ定量法

I ワン・スライク、カレン氏法

(原理) 「ウレアーゼ」ニテ分解。通氣、「アンモニア」捕集。「アルカリ」ニテ滴定ス。

(試薬)

- (1) Urease Squibb 末又ハ錠劑(三共發賣)。(2)「カプリルアルコール」。(3) 五十分ノ一定規鹽酸。
- (4) 五十分ノ一定規苛性曹達。(5) 標準藥(一%「アリザリンロート」水溶液)。(6) 無水炭酸加里末又ハ五〇%水溶液。

(器具) 通氣蒸溜装置(第三百九十七圖参照)。

(實施法)

蓆酸加里又ハ枸橼酸曹達ヲ加ヘテ凝固ヲ阻止セル血液ノ一—三坵ヲAニ採リ水約五坵ヲ加ヘ、「カプリルアルコール」五滴、「ウレアーゼ」末〇・一瓦又ハ錠劑一個ヲ加ヘ緩ク栓ヲナシ静ニ混和溶解セシム。四〇—五〇度ノ微温湯ニ漬ケルコト五—一〇分、次ニ冷水ニ漬ケテ冷ス。室温ニ一五—二〇分放置スルモ可。盲驗ハ概ネ不要ナルモ、要スレバ血液ノ代リニ水ヲ用ヒ、他ハ全ク被檢液ト同様ニ處理ス。受器Bニ五十分ノ一定規鹽酸一〇〇坵、標示藥數滴、「カプリルアルコール」二滴ヲ加ヘ、圖ノ如ク連結シ静カニ吸引スルコト約三〇秒。Aニ炭酸加里末四—五瓦又ハ五〇%液一〇坵ヲ加ヘ約一分間静カニ吸引シ次デ激シク吸引通氣スルコト「五—三〇分(二分間ニ約五立ノ空氣ヲ通ズ)」。Aノ泡立チ甚シキ時ハ「カプリルアルコール」數滴又ハ「エチルアルコール」數坵ヲ加ヘ、受器Bヲ外シ、五十分ノ一定規苛性曹達ニテ滴定ス。

(計算法)

- A …… 被檢液ノ五十分ノ一定規苛性曹達消費量坵
- K …… 盲驗ノ五十分ノ一定規苛性曹達消費量坵

$$28 \times (10 - A \times \text{FNaOH} \div \text{被檢試料ノ使用量 cm} = \text{試料 } 100 \text{ cm 中ノ尿素窒素 mg/dl})$$

$$\text{又ハ } 28 \times (K - A) \times \text{FNaOH} \div \text{被檢試料ノ使用量 cm}$$

II 上條式簡易尿素定量法(一〇〇七頁参照)

大體尿ニ於ケル場合ト同様ニシテ、先ヅ血液三—五坵ヲ採リ之ヨリ血清二坵以上ヲ析出セシメ之ニ一〇%三鹽化醋酸同量ヲ加ヘ放置後(又ハ遠心器ニ依テ)上清二坵ヲ採リ、定量管内ノ次臭素酸曹達液中ニ注グ。但シ血液中ノ尿素ハ正常ニテハ極メテ少量(〇・〇〇〇五以下)ナルヲ以テ明カニ目盛リ現ハル、ニ至ルコト少キ故、成可ク大量ノ血液ヲ用フルヲ可トス。本器ニハ〇・〇〇〇五毎ニ目盛リアリ、〇・〇〇〇五ナレバ一〇〇坵中五〇坵ヲ含ムコト、ナル。

五、尿道「カテーテル」ニ依ル検査法

尿道「カテーテル」ヲ用フル時ハ左右ノ腎臓ヨリ排出サル、尿ヲ別々ニ検査スルコトヲ得ベク、從ツテ各側ノ腎臓機能ヲ別々ニ知ルコトヲ得ルモノナリ。例ヘバ次表ノ如シ。

尿量 (坵)	健康者		左腎ノ結核	
	右	左	右	左
結水點降下	〇・五〇	〇・五〇	一・五〇	〇・九一
「フロリチン」注射後ノ糖尿(%)	一・四	一・四	二・〇	〇・〇五
窒素	〇・二二三	〇・二〇六	〇・六三	〇・三八五



觀上混合型ト見ユルモ其ノ機能ガ比較的侵サレ居ル方ノミガ變化ヲ受ケタルモノナリト云フ。  
 腎臟機能ハ決シテ單ナルモノニアラズシテ種々ノ機能ノ合同ニ過ギズ。而シテ腎臟疾患ニ於テハ總テノ機能ガ悉ク侵サル、事ナキヲ以テ、機能検査ニハ常ニ種々ノ方法ヲ行ナハザルベカラズ。又腎臟ノミナラズ、腎臟以外ノ障礙ニ依ツテモ影響ヲ受ケル事アリ。殊ニ水、食鹽、窒素ノ排泄ニ於テ然リ。  
 簡單ニ腎臟ノ調節作用ヲ調ブル爲メニ水試験或ハ乾燥試験ヲ行フモ、シライエル氏ノ試験食ヲ用ヒテ行フ時ハ一層完全ニ其ノ障礙ヲ知ル事ヲ得。即チ保護試験食ト刺戟試験食トヲ比較スルニ、重症ナル腎臟炎ニ於テハ總テノ食餌ガ刺戟トナリ、殆ンド其ノ間ニ差異ナク、何レノ場合ニモ比重ハ低ク且ツ一定シ、尿量ニモ大ナル變化ナシ。然ルニ輕症ナル腎臟炎ニアツテハ刺戟性食餌ニ依リ、著シク尿量ト比重ニ變化ヲ起スモ、保護食餌ニアツテハ左程ノ差ヲ認メズ、中等度ノ腎臟疾患ニ於テハ保護食餌ノ刺戟作用ハ或ハ現ハレ、或ハ現ハレザルモノナリ。尙食鹽、尿素等ヲ與フル場合モ腎臟ノ機能完全ナル時ハ尿量ノ増加或ハ尿成分ノ濃度ノ増加ヲ來シテ之ヲ平均セシムルモ、腎臟ニ障礙アル際ハ組織中ニ之等物質ノ蓄積ヲ起スモノナリ。

腎臟機能ヲ知ル上ニハ單ニ尿ノミナラズ、血液ノ検査モ亦重要ナルモノトス。蓋シ尿成分ノ排泄不十分ナル際ハ血液中ニ之等物質ガ滯留増加スレバナリ。

腎臟疾患ニ於ケル血液検査

殘餘窒素	增加	細尿管型	絲綫體型
結水點	下降	增加	セズ
比重及ビ蛋白	一稍減	減少	一正常又ハ僅ニ減少

腎臟疾患ノ隨伴現象トシテハ次ノ如キ種々ノモノアリ。

第一、浮腫 腎臟性浮腫ノ發生ハ血管ノ障礙ニ基クモノニシテ突然ニ起ル。而シテ此ノ障礙ハ如何ナル毒素ニ依ルモノナルカ未ダ明カナラザルモ、然モ常ニ細尿管ノ障礙ヲ伴フモノナリ。從ツテ變化シタル細尿管ヨリ排泄スル事ヲ得ザル尿成分ガ血液中ニ蓄積スルカ若クハ細尿管上皮細胞ノ變性ニ依ツテ生ゼル毒素ノ爲メニ血管ガ障礙サレテ起ルモノト考フベク、此ノ血管ノ障礙ガ著シキ程著明ニ水及ビ食鹽ノ蓄積ヲ來スモノナリ。而シテ此ノ際腎臟ハ假令水竝ニ食鹽ヲ排泄スル能力アルモ之等ガ腎臟ニ來ル以前ニ既ニ血管壁ヲ通過シテ組織ノ中ニ蓄積スルモノニシテ、此ノ場合ニ於ケル浮腫ノ發生ハ水竝ニ鹽類新陳代謝ノ障礙ニ基クモノト云フベシ。エッペンゲル氏ハ此ノ意味ニ於テ「チレオインヂン」ノ作用ヲ研究セリ。然レドモ多クノ場合ニ於テハ實際ニ水及ビ食鹽ノ排泄ガ腎臟ニ於テ障礙サレ、浮腫ノ原因トナルモノナリ。食鹽ガ組織中ニ停滯スル時ハ水ヲ呼ビ集メ浮腫ハ益々著シクナリ、其際尙組織ノ親和力モ亦之ニ關係スルモノニシテ、例ヘバ肺炎ノ際ニハ食鹽ノ停滯ヲ起スモ血液中ニハ却ツテ減少シ又浮腫液中ノ食鹽含量ハ血清中ノ食鹽量ヨリモ多キヲ常トス。

血管ノ變化ガ輕度ナル場合ニ於テハ腎臟ノ機能障礙モ亦輕ク、單ニ食鹽又ハ水ノ攝取ヲ少クスル事ニ依ツテ浮腫モ亦減少スルモノナルモ、血管ノ變化著シキ場合ニ於テハ腎臟ノミナラズ、皮下組織ノ作用モ亦變化シ、浮腫ハ益々著明トナルモノニシテ此ノ際ハ水及ビ食鹽ノ制限ヲ行フモ影響ヲ受ケザルモノナリ。

第二、血壓ノ亢進及ビ心臟ノ肥大 腎臟内ノ小血管ガ變化ヲ受ケル時ハ血壓竝ニ心臟ニ影響ヲ及ボス

腎臟機能検査ノ應用竝ニ腎臟疾患ノ症狀ニ關スル注意

モ、細尿管ノ變化ニアツテハ心臟ニ故障ヲ起ス事ナシ。血壓亢進ノ原因ハ血液中ニ停滯セル尿成分ノ刺激ニ依ツテ小血管ノ收縮ヲ起シ或ハ血管ノ彈力ニ變化ヲ起シ左心室ノ肥大ハ代償作用トシテ現ハル、モノナリ。

第三、尿毒症 尿毒症ノ原因ハ未ダ明ナラザルモ大體之ヲ二ツニ分ツ。

(一) 中毒性尿毒症

之ハ主トシテ尿成分ノ中毒ニ依ルモノナルモ尙其ノ他ニ病的ニ腎臟ヨリ分泌サレタルモノ或ハ新陳代謝障礙ニ依ツテ成生サレタル物質ノ之ニ關係スル事アリ。殊ニ殘餘窒素ハ大切ナル役目ヲナスモノナリ。此ノ尿毒症ニアツテハ食慾不振、嘔吐、倦怠、頭痛、眩暈、無頓著、昏睡竝ニ筋肉ノ痙攣、腱反射ノ亢進等ヲ起ス。

(二) 腦水腫性尿毒症(「エクランブシー」型)

之ハ腦水腫ノ結果起ルモノニシテ殘餘窒素ハ餘リ高カラズ、其ノ症狀ハ主トシテ腦壓亢進ニ依ル腦症狀ヲ示シ、嘔吐、頭痛、頸部強直、ケルニヒ氏症狀、癲癇様痙攣、一時性ノ黒内障、言語障礙、一時性ノ局所神經症狀、反射ノ亢進等アリ、ババンスキ―氏現象モ起ル。發作ノ際ニハ脈搏モ遅クナリ、チエー、ン、ストーク氏呼吸ヲ示ス。

類症鑑別模型(フォルハルト氏ニ據ル)

症 狀	病理解剖的變化	診 斷	鑑別ニ供セ	有 無
水 腫	上皮細胞變性	純變性(ネフローゼ)	血壓亢進	有 無
血 尿	炎症	局所性腎臟炎	血壓亢進	有 無
適度ノ血壓亢進 輕度ノ心臟肥大	腎臟血管ノ 瀰蔓性變化	慢性瀰蔓性絲體體腎炎 同右ノ末期即チ二次性萎縮腎	濃縮機能不全	有 無
濃縮機能不能 (腎臟ノ最高努力)	分泌細胞ノ 大部分障礙ナル	二次性「ネフローゼ」性萎縮腎 二次性腎炎性萎縮腎 混合型ノ末期(硬化ト腎炎)	心 臟 肥 大 血 壓 亢 進	有 無
強度ノ血壓亢進 強度ノ心臟肥大	腎臟血管ノ 瀰蔓性硬化	惡性ノ合併症(硬化ト腎炎) 二次性腎炎性萎縮腎ト二次性 血管硬化症ノ加ハレルモノ	濃縮機能不全 全ニ依ル腎	有 無
		良 性 血 壓 亢 進 症		有 無
		強度ノ異ルモ		強ク有

腎臟機能検査ノ應用竝ニ腎臟疾患ノ症狀ニ關スル注意

## 第四章 腎臟疾患ノ診斷

腎臟疾患ニハ下行性ト上行性トヲ區別ス。上行性腎臟疾患トハ尿ノ鬱積ニ依リ、又ハ病原體ガ尿路ヨリ侵入シテ起ル腎臟ノ障礙ニシテ、例ヘバ腎臟水腫、腎石ノ如キモノナリ。下行性腎臟疾患トハ病原體ガ血行ヨリ侵入スルカ或ハ腎臟血管ノ障礙ニ依テ起ル腎臟ノ疾患ニシテ、之ニ屬スルモノハ總テ毒素ノ作用ニヨル腎臟疾患、傳染病竝ニ感冒ニ次デ起ル腎臟疾患等之ナリ。腎臟疾患ニハ尙、炎症性ト變性、瀰蔓性ト局所性、急性ト慢性等種々ノ區別アリ。大體ニ於テ腎臟疾患ハ絲毬體ガ侵サル、カ細尿管ガ侵サル、カニ依テ其ノ症狀モ異ルモ、勿論此ノ兩者ガ同時ニ障礙サル、コトアリ。レーライン氏ニ依レバ、絲毬體ト細尿管トハ合シテ一體トナルモノニシテ、一方ニ變化アレバ必ズ他方ハ二次的ニ障礙ヲ受ケ、當然ノ結果トシテ其ノ混合型ガ現ハル、モノナリト云フ。

臨牀上一般ニ浮腫ヲ起スモノハ上皮細胞ノ變性ヲ示シ、血尿、血壓亢進、心臟ノ肥大ヲ起スモノハ絲毬體腎炎ナリ、而シテ「リポイド」ノ出現ハ主トシテ微毒性變性ヲ示スモ稀ニ絲毬體腎炎ノ末期ニ現ハル。局所性腎炎ニアツテハ絲毬體腎炎ノ症狀ヲ起シテモ決シテ血壓亢進竝ニ心臟ノ肥大ヲ起ス事ナシ。

## 第一項 「ネフローゼ」

「ネフローゼ」トハ細尿管ノ變性ヲ示ス腎臟疾患ニシテ絲毬體竝ニ間質細胞ハ變化ナク、唯上皮細胞ノミ

ガ滲濁腫脹シ、多量ノ蛋白ヲ排泄スルモノナリ。症。狀。

血壓亢進セズ、心臟肥大ナク、網膜ノ變化竝ニ尿毒症ヲ起ス事ナシ。尿量ハ一樣ナラズ、多クノ場合ニ於テ減退ス。蛋白ハ大抵多量ニ之ヲ含ミ治癒後モ長ク之ヲ排泄ス。尿ノ沈渣中ニハ種々ノ圓柱及脂肪性變性ヲ示ス上皮細胞アリ。赤血球ハ殆ド之ヲ見ル事ナク、白血球モ少シ。浮腫ノアル際ニハ水及ビ食鹽ノ停滯著シキモ其ノ他ノ濃縮機能ハ良好ニシテ比重高ク、窒素ノ排泄モ亦良シ。血液ハ濃厚ニシテ水血症ナク、窒素含量モ正常ナリ。浮腫竝ニ腹水ハ脂肪ヲ含ミ、假性乳糜狀ヲ呈スルモ蛋白含量ハ尿ニ比較シテ少シ。

種。類。

(イ) 傳染病ノ際ニ現ハル、蛋白尿

肺炎、「チフス」、發疹「チフス」、赤痢、「インフルエンザ」、扁桃腺炎、猩紅熱、「チフテリア」、腦膜炎等ノ際ニ一時的ニ蛋白ノ現ハル、事アリ。之ハ毒素ノ作用ニ依ツテ起ルモノニシテ蛋白ノ分量ハ大抵少ク(〇・五—一%以下)時ニ醋酸ニ沈澱スル蛋白體ノ現ハル、事アリ。尿沈渣中ニハ硝子様又ハ顆粒狀圓柱竝ニ白血球ヲ含ミ、時ニ赤血球ヲ見ル。何レモ輕症ニシテ多ク二—三週間ニシテ治癒スルモ、「チフス」、肺炎、腦膜炎、殊ニ「チフテリア」ニ於テハ重症ナル「ネフローゼ」ヲ起ス事アリ。尙「コレラ」ノ際ニ突然尿量ノ減少ト共ニ「ネフローゼ」ノ症狀ヲ現ハス事アルモ、コレガ恢復ハ通例急速ニ行ハル。

(ロ) 微毒性「ネフローゼ」

腎臟疾患ノ診斷

二期ノ微毒ニ於テハ全身ノ倦怠、頭痛等ト共ニ尿量減少シ蛋白尿ヲ現ハシ殊ニ多量ノ「リポイド」ヲ排泄スル事アリ。之レ細尿管ノ「リポイド」變性著明ナル爲メニシテ上皮細胞竝ニ圓柱ノ中ニモ多數ニ含まル。浮腫ハ著シカラズ、心臟及ビ血管ノ變化ナシ。本病ノ治療ニ依ツテ大抵治癒ス。

(ハ) 慢性特發性「ネフローゼ」

幼年又ハ中年ノ者ニ、何等ノ原因ナク全身ノ倦怠、貧血、浮腫ヲ以テ初マル。尿ハ濁濁シ多量ノ蛋白ヲ含ミ、比重高ク、尿量ノ減少ヲ來ス。圓柱ハ極メテ少シ。窒素ノ排泄ハ完全ニシテ心臟及ビ血管ノ變化モ見ラレズ。唯、食鹽ノ排泄悪ク、貯溜液ハ乳糜狀ヲナス。月餘ニ及ンデ初メテ浮腫ノ消失スル事アルモ、時ニ長キ經過ヲ取り遂ニ赤血球ノ排泄ヲ起シ、血壓亢進、網膜炎、尿毒症等ヲ來ス事アリ。

(ニ) 其ノ他ノ「ネフローゼ」

糖尿病、黄疸、血色素尿、肺結核、バセドウ氏病(「リポイド」變性著明)、化膿、中毒(「クロホルム」、「ヂェロナール」)、「サルグルサン」、妊娠ノ際ニモ腎臟細胞ノ變性ヲ起ス。

(ホ) 昇汞「ネフローゼ」

重症ノ際ニハ無尿、輕症ノ際ニハ初メ多尿、次第ニ乏尿トナリ、正常ニ復ス。浮腫ナク、尿ノ蛋白ハ著明ニシテ比重高シ。窒素ノ排泄ハ正常ナルモ食鹽ハ停滯ス。尿沈渣中ニハ圓柱多ク、血液ナシ。心臟及ビ血管ノ變化ハ現ハル、事ナシ。

(ヘ) 「アミロイド」腎

通例全身ノ「アミロイド」變性ノ際ニ見ルモ、尙、獨立シテ存在スルコトアリ。腎臟細胞ノ外、間質ニモ

「アミロイド」物質沈著ス。細尿管上皮細胞ハ屢々「リポイド」變性ヲ起ス。臨牀的ニハ尿ノ比重低ク多量ノ蛋白ヲ含ミ、尿量ニハ殆ンド變化ナシ。圓柱及ビ「リポイド」ハ屢々多量ニ發見サレ、浮腫モ起ル。心臟及ビ血管ノ症狀ハ之ヲ缺クモ終ニ絲毬體ガ侵サレテ所謂「アミロイド」性萎縮腎ヲ起スコトアリ。

### 第二項 絲毬體腎炎

之ハ絲毬體ノ炎症ニシテ、炎症性產物ノ分泌多ク、絲毬體ハ破壊サレテ終ニ二次的ニ白色萎縮腎ヲ起ス。

又細尿管ノ變性ハ二次的ニ起リ、或ハ其ノ混合型ノ現ハル、コトアリ。

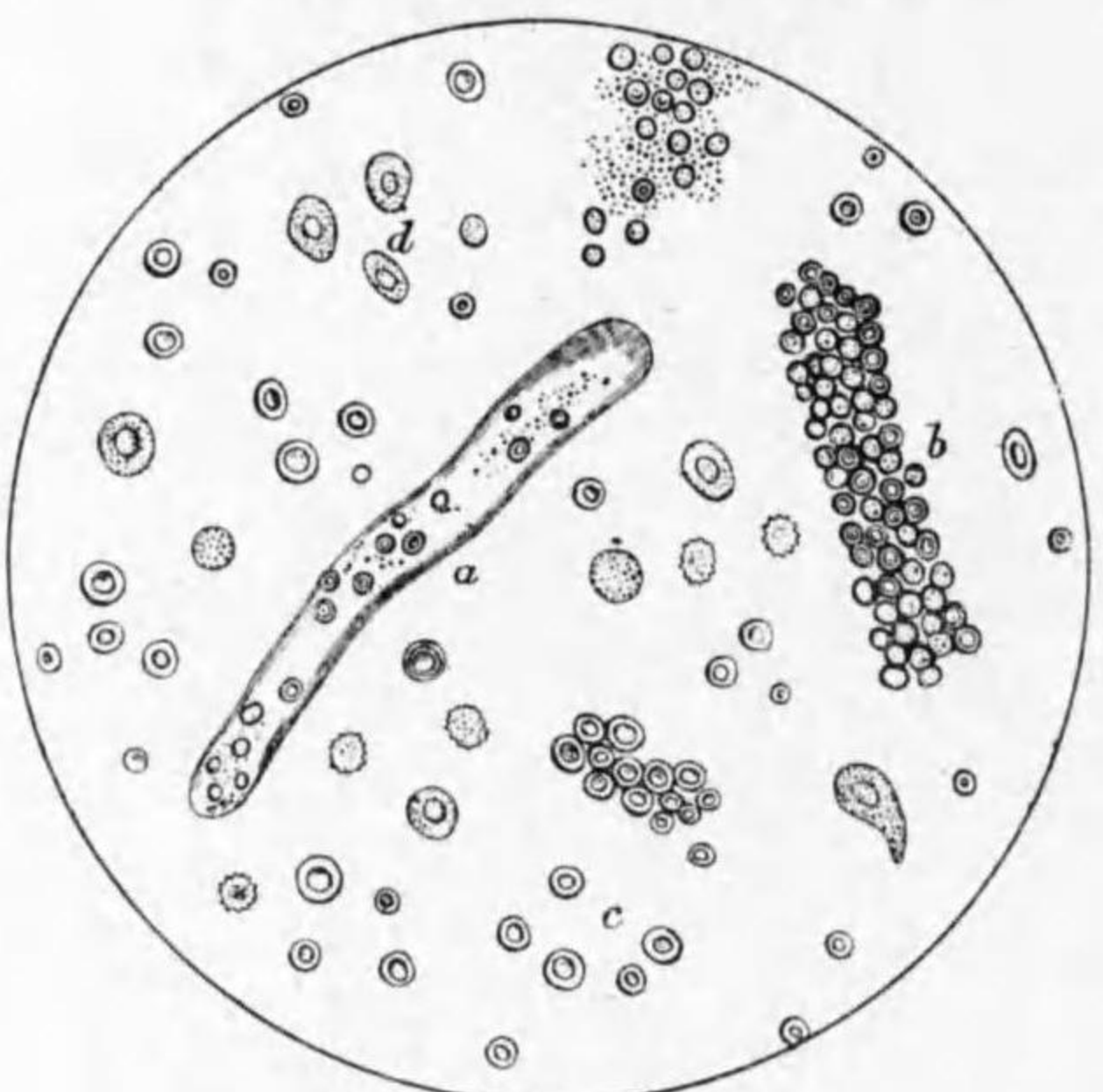
症。狀。

血壓亢進、心臟肥大、眼底變化、尿毒症アリ。浮腫ハ缺如スルコトアリ。窒素ノ排泄ハ障礙セラレ、尿中ニハ常ニ血液ヲ含ム(第四百五十八圖)。

(イ) 戰爭腎臟炎

健全ナル軍人ガ全身ノ倦怠トトモニ頭痛、腰痛、呼吸困難ヲ以テ迅速ニ浮腫ヲ來ス。多少發熱スル事アリ。血壓稍々高ク(二三〇—一

第四百五十八圖 急性絲毬體腎炎ニ於ケル尿沈渣



a 硝子樣圓柱ニ血球ノ沈著セルモノ  
b 血球圓柱 c 赤血球 d 腎臟上皮細胞

五〇耗(心臟モ稍々大キク脾臟竝ニ肝臟モ肥大スル事アリ。血液中ニハ「エオジン」嗜好細胞増加シ(一〇%ニモ達ス)、尿ノ比重高ク、尿量減少シ、蛋白、血液、圓柱、上皮細胞、白血球、「エオジン」嗜好細胞等含マレ、三週間モ經過スレバ「リポイド」ガ現ハル。濃縮機能ハ長キ間恢復セザルモ、稀釋能力ハ間モナク元ニ復ス。食鹽ノ排泄ハ初期、浮腫ノ存スル際ヲ除キテハ正常ナルモ、之ニ反シ窒素ノ蓄積ハ著明ニシテ、殘餘窒素ハ二〇〇珉ニモ及ブ事アリ。

尿毒症ハ四—六%ニ起リ、一時性ニ盲目トナル事アリ。豫後ハ良好ニシテ次第ニ恢復スルモ血尿ハ長ク持續ス。

腎臟炎ハ再發ヲ起ス事アリ、又ハ全然慢性トナル事アルモ、死亡率ハ一%ニ過ギズ。

(ロ) 猩紅熱腎臟炎

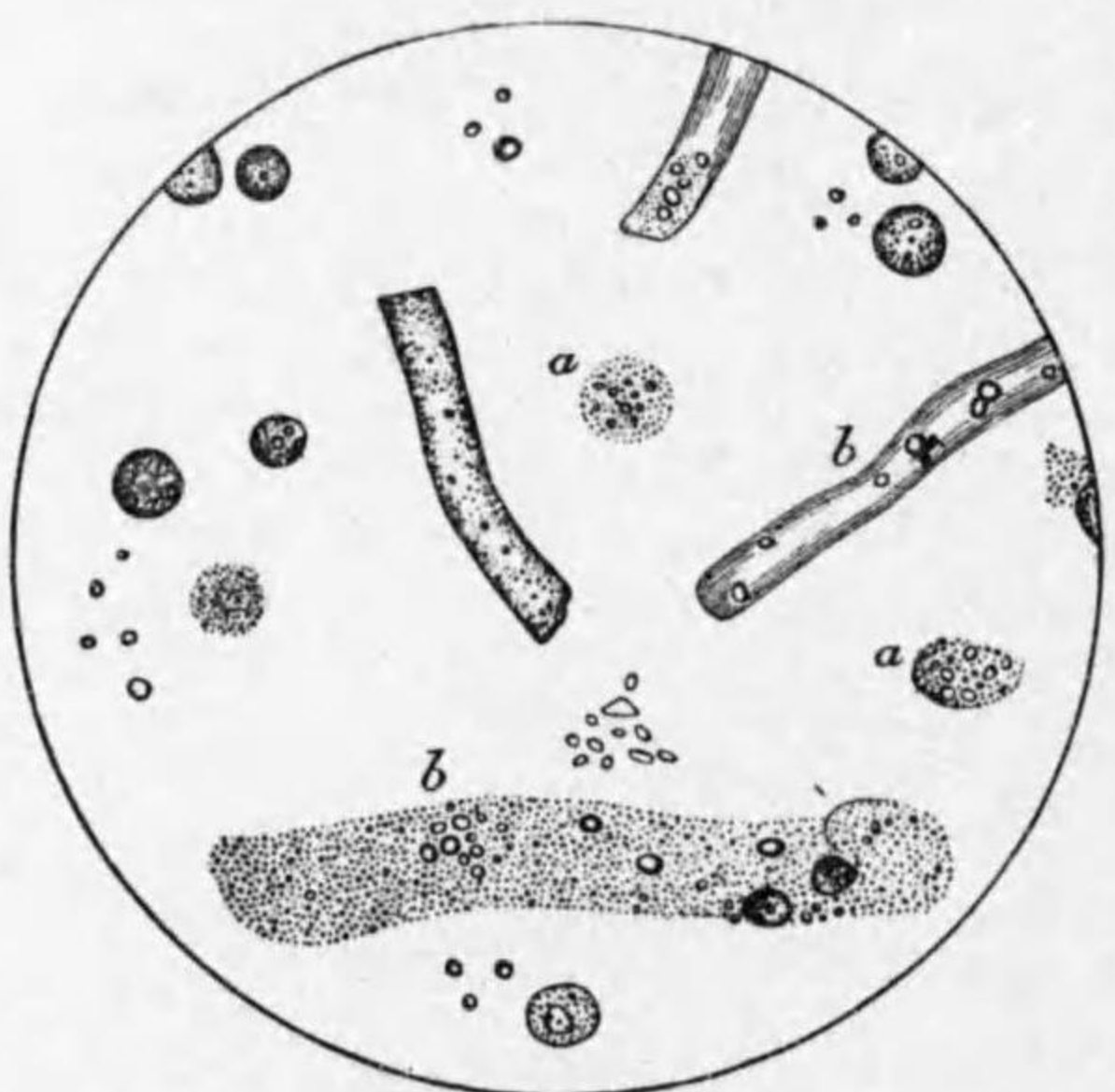
猩紅熱ノ三—四週間目ニ定型的ノ絲毬體腎炎ヲ起ス。尿量減少シ高キ比重ヲ有スル血尿ヲ示シ、蛋白、圓柱、白血球等ヲ見ル。屢々浮腫、血壓亢進、心臟肥大、尿毒症、網膜炎ヲ起シ、腎臟機能モ戰爭腎炎ト同様ニ侵サル。多ク數週間ニシテ治癒スルモ、尿中ニハ醋酸ニ依ツテ沈澱スル「ヒュンドロイチン」硫酸ガ長ク排泄サル、事アリ。又慢性トナリ、二次的萎縮腎ヲ起ス。

(ハ) 其ノ他ノ腎臟炎

扁桃腺炎、麻疹、發疹「チフス」、赤痢、回歸熱、「マラリヤ」、關節「レウマチス」、丹毒、肺炎、「バラチフス」、痘瘡、結核、連鎖狀球菌及ビ大腸菌感染等ノ際ニモ時ニ腎臟炎ヲ起ス事アリ。尙「ネフロチフス」ト云ヒ、「チフス」菌ニ依ツテ起ル絲毬體腎炎アリ。之ハ浮腫モ心臟竝ニ血管ノ障礙モ起ラズ。

Nephritis chronica simplex  
Nephritis chronica hypertonica

圖九十五百四第  
渣沈尿ルケ於ニ炎臟腎性慢



a. 脂肪變性ヲ起セル細胞  
b. 脂肪球ヲ含ム顆粒狀又ハ硝子様圓柱

(ニ) 慢性腎臟炎

ストラウス氏ハ單純性慢性腎臟炎トシテ、單ニ蛋白ノミガ多少ノ圓柱、血球等ト共ニ排泄サレ、血管及ビ心臟症狀竝ニ浮腫ハ殆ドナク、其ノ他、頭痛、倦怠等ノ症狀モ之ヲ缺ク一種ノ慢性腎臟炎ヲ記載セリ。戰爭腎臟炎ニハ屢々斯ノ如キ經過ヲ取ルモノアリ。

血壓亢進性慢性腎臟炎ハ普通ノ慢性絲毬體腎炎ヨリ續發スルモノニシテ、尿量多ク比重少ク、心臟血管ノ症狀、尿毒症、網膜炎等モ起リ、窒素ノ排泄惡シク、心臟衰弱、尿毒症ヲ以テ斃ルルモノ多シ。或ハ機能障礙著明ナラズ、二次性萎縮腎トシテ腎臟硬化ノ症狀ヲ呈スルモノアリ(第四百五十九圖)。

「ネフロローゼ」ニ見ル機能障礙トヲ同時ニ示スモノニシテ、長キ間浮腫ヲ現ハシ、遂ニ萎縮腎ニ移ル。

第三項 局所性腎臟炎

症〇 狀〇

腎臟疾患ノ診斷



浮腫ナク、機能障礙ナク、心臟ノ血管障礙及ビ尿毒症ノ危険ナシ。  
種類。

(イ) 間質性腎臟炎

之ハ敗血性疾患ニ於テ腎臟間質ノ一部ニ細胞浸潤ヲ示スモノニシテ、後ニハ細尿管モ、絲毬體モ侵サル。臨牀上ニ特色ナシ。

(ロ) 血栓性局所性腎炎

心臟瓣膜障礙ノ際ニ血栓ノ爲ニ起ル非化膿性ノモノニ於テハ一時的ニ蛋白尿、血尿、圓柱等ヲ示シ、特色ナキモ、敗血性心臟瓣膜炎ニ現ハル、轉移ノ際ニハ熱發及ビ腎臟疼痛ヲ起シ尿中ニ蛋白ヲ含ムノ外多量ノ白血球ノ存在スル事アリ。

(ハ) 局所性絲毬體腎炎モ起ル事アリ。

### 第四項 循環障礙

#### 鬱血腎

腎臟ニ鬱血ヲ起ス際ニハ次第ニ結締組織増加シ、細尿管ハ萎縮シ、絲毬體ハ破壞サル。臨牀的ニハ尿量ノ減少ト共ニ比重増加シ、尿酸鹽ノ沈澱ヲ生ズ。機能障礙ハ殆ドナク、僅ニ重症ノ際ニ水ト食鹽ノ排泄ガ侵サル、位ニ止マル。蛋白モ多少排泄セラレ、時ニ赤血球モ見ラル。全身症狀トシテ「チアノーゼ」、浮腫アリ、心臟疾患ガ原因トシテ存在ス。

### 第五項 腎臟硬化症

之ハ血管ノ硬化ニ依ル腎臟ノ變化ニシテ、腎臟ハ多ク顆粒狀ニ萎縮ス。腎臟血管ノ變化ハ全身血管硬化症ノ一症狀ニ過ギザル場合多シ。

腎臟硬化症ノ種類トシテハ良性型ト不良性型トヲ區別スルモ、何レモ血壓ノ亢進ト心臟ノ肥大ガ著明ナルモノナリ。

良性腎硬化症ハ著明ナル苦痛ナク、單ニ血壓ノ亢進ト心臟ノ肥大トガ存スルノミニシテ殆ンド其ノ他ノ症狀ヲ示スコトナシ。時ニ多少ノ圓柱又ハ蛋白尿ヲ見ルコトアリ。後ニ至レバ主トシテ循環器ノ症狀現ハレ、狭心症、夜尿症、多尿、胸内苦悶等ヲ訴フルモ、腎臟ノ障礙ハ之ニ反シテ全ク注意セラレ、コトナシ。腦溢血ヲ起ス危険アリ。

### 附、萎縮腎ノ鑑別

水腫	二次性或ハ炎症性萎縮腎		一次性或ハ血管性萎縮腎	
	輕症	重症	輕症	重症
蛋白性網膜炎	稀	末期ニハ起ル	稀	末期ニハ起ル
尿毒症	稀	末期ニハ起ル	無	末期ニハ屢々
多尿症	時々起ル	屢々	時々	時々

比重	稍々低シ	著シク低シ	殆ンド正常	殆ンド正常	殆ンド正常	低シ
濃縮力	殆ンド正常	著シク低減	殆ンド正常	殆ンド正常	著シク低減	低減
食鹽ノ排泄	殆ンド正常	著シク低減	殆ンド正常	殆ンド正常	時々低減	低減
殘餘窒素	殆ンド正常	末期ニハ少シク増加	殆ンド正常	殆ンド正常	末期ニハ著シク増加	

主要ナル腎臟疾患ノ便覽

尿量	「ネフロローゼ」 正常又ハ減少 減少又ハ正常	絲體體腎炎 減少又ハ正常	良性腎硬化症 正常	惡性腎硬化症 增加	「アミロイド」 正常又ハ增加 減少	腎血管 增加	尿管 增加	結核 正常
比重	正常又ハ増加 正常又ハ減少	正常又ハ減少 正常	正常	減少固定	正常又ハ減少 增加	增加	減少	正常
蛋白	極メテ多量 多量又ハ少量	多量又ハ少量 少量又ハ痕跡	僅	僅	極メテ多量 少量時ニ多量	僅	僅	僅
沈渣	多數ノ圓柱 上皮細胞アリ 脂肪又ハ「リ ポイド」變 性ヲ示ス	多數ノ圓柱及 白血球、白 血球、上皮細胞 コトアリ	僅ノ圓柱、少 「リポイド」 「ビロイ」	僅ノ圓柱及「 リポイド」	僅ノ圓柱	感染ノ際ハ化 膿球及ビ細菌 膿球、結核菌 アリ	腎結核ノ未 期ニハ圓柱、 血液、結核菌	腎結核ノ未 期ニハ圓柱、 血液、結核菌
反應	屢々「アルカ リ」性	酸性	酸性	酸性	酸性	酸性又ハ「ア ルカリ」性	酸性	酸性
機能障礙	食鹽排泄障礙 サレ窒素ノ排 泄良好	窒素ノ排泄障 碍ナル	無	障礙ハ著シク ハ良好、時ニ 排泄遲延ス	食鹽ハ障礙 食鹽ノ排泄 屢々減少	食鹽ノ排泄障 碍ハ著シク ハ良好、時ニ 排泄遲延ス	食鹽ノ排泄障 碍ハ著シク ハ良好、時ニ 排泄遲延ス	無
殘餘窒素	増加セズ	屢々増加ス	正	増加	正常	正常	増加	正
浮腫	大抵存在ス	多カラズ	無	無	存	稀	無	無
尿毒症 ノ危險	無	屢々アリ	無	大イニ有リ	無	有	無	無
心臟	肥大セズ	屢々肥大ス	肥大	著シク肥大	正	常	患アリ	時ニ肥大ス

血壓	正	常	屢々亢進亢	進著シク亢進	正	常	正常、僅ニ亢 進、又ハ低減	屢々亢進	—
經過	多クハ良性	多クハ良性、 時ニ慢性トナ リ萎縮腎ニ移 行ス	「アミロイド」 腦溢血ノ危險	死 二次性萎縮腎 ノ症狀ヲ呈ス	「アミロイド」 性萎縮腎ノ症 狀ヲ呈ス	何ニ依ル	—	—	—

第六項 上行性腎臟疾患

尿ノ停滯ニ依テ腎臟水腫ヲ起シ之ニ細菌ノ感染アル場合ニハ腎盂炎、腎臟膿瘍、腎盂腎臟炎等ヲ起シ、細尿管ハ其ノ上皮細胞ト共ニ著シク侵サル、モ、絲體體ハ殆ンド正常ナリ。

臨牀上大切ナル症狀ハ多尿ニ伴フ比重ノ減少(一〇〇三—一〇〇九)ニシテ萎縮腎(一〇〇八—一〇一二)ヨリモ低シ。ミュレル氏ニ依レバ此ノ多尿ハ腎盂ノ刺戟ニヨルモノニシテ、反射性ニ起リ恰モ腎炎ノ際ニ反射性ニ無尿トナルト同様ニ説明スルコトヲ得。尙、鹽類、酸及ビ鹽基ノ刺戟モ之ニ關係スルモノナラン。二次的ニハ血壓ノ亢進、心臟肥大竝ニ腎臟ノ機能障礙ヲ起スコトアリ。

(イ) 腎盂炎及ビ腎盂腎臟炎

之ハ其ノ原因及ビ重サニ依テ臨牀症狀モ著シク異リ、輕度ノ加答兒性腎盂炎ニアリテハ何等ノ症狀ヲ示ササルモ、化膿性ノ重症ナルモノニアツテハ屢々腎臟部ノ疼痛、壓痛ヲ訴へ、又膿球等ノ分泌物ニヨリ尿管ガ閉塞セラレテ疝痛ヲ起スコトアリ。溷濁セル尿中ニハ多量ノ粘液、膿球、上皮細胞、血液、多量ノ細菌、組織片ヲ含ミ、酸性ニシテ、腎盂腎臟炎ニアツテハ尙此ノ他圓柱ヲモ含ミ、蛋白モ多量ナリ。

急性ノ際ニハ戰慄ヲ以テ高熱ヲ發シ、其ノ他ノ一般症狀ヲ呈ス。

(ロ) 腎臟水腫及ビ腎臟膿水腫

腎臟水腫ノ輕症ナルモノハ何等ノ症狀ヲ示サズ。著明ナレバ腎腫ヲ觸レ、尿中ニハ多少ノ蛋白、白血球、上皮細胞ヲ含ム。間歇性腎臟水腫ト稱セラル、モノハ發作性ニ疝痛ヲ起シ、惡心、嘔吐、惡寒ト共ニ尿量ノ減少ヲ來シ、腫瘍ヲ觸レ、後ニ至レバ再ビ尿量ヲ増加ス。腎臟膿水腫ハ化膿性腎盂炎ノ夫レト同様ナリ。

### 第七項 其ノ他ノ腎臟疾患

(イ) 腎石

發作的或ハ持續的ニ腰部又ハ肋弓下ニ存在スル疼痛アリ。尿石ガ輸尿管ヲ通過スル際ニハ疼痛ハ更ニ下腹部ヨリ膀胱、辜丸ニ迄放射ス。發作ノ際ハ惡寒、戰慄、惡心、嘔吐、尿意頻數、脈搏増加、或ハ虛脱ヲ起シ尿中ニハ屢々血液又ハ尿砂ヲ含ム。稀ニ反射性無尿症ヲ來ス。又、尿石ノ去リタル後モ腎盂炎ノ症狀ヲ呈スルコトアリ、X光線ノ寫眞ヲ要ス。

(ロ) 腎臟腫瘍

腎臟部ノ鈍痛、發作性血尿、尿中ニ現ハル、腫瘍組織片、腫瘍ノ壓迫ニ依ル症狀ヲ示ス。腫瘍ハ主トシテ癌腫或ハ「ヒベルネフローム」ナリ。

(ハ) 腎臟周圍炎

腰部疼痛、發熱、全身倦怠、腎臟部ニ存在スル腫瘍竝ニ此ノ部分ニ於ケル浮腫、病側肺臟下部ノ移動減少及ビ肋膜炎等ヲ見、尿中ニハ稀ニ化膿病竈ノ破綻ニ依テ膿ヲ排泄スルコトアリ。

(ニ) 遊走腎

屢々右側ニアリ。婦人ニ見ラル、コト多シ。症狀全クナキコトアリ、又ハ腰部ノ不快感、神經性消化器症狀等アリ。時ニ捻轉ニ依テ疝痛、戰慄、嘔吐ヲ起スコトアリ。又急性腎臟水腫ノ症狀ヲ呈ス。

### 附、腎疾患以外ノ浮腫疾患

浮腫疾患ハ次ノ二ツノ原因ニ依テ起ル。即チ、一ハ心臟及ビ血管ノ機能不全ニ依ルモノニシテ、心力ノ減退、血壓降下ヲ示シ、浮腫ハ主トシテ身體ノ下部ニ現ハレ、安靜横臥又ハ強心劑ニヨリテ消失シ尿中蛋白ナシ。一ハ榮養障礙又ハ水ト鹽類ノ新陳代謝障礙ニ依ルモノニシテ、水試験ノミニ依テハ殆ド變化ヲ認ムルコトヲ得ザルモ、鹽類ノ排泄惡ク、大量ノ鹽類ト共ニ水試験ヲ行フ時ハ水ノ排泄モ障礙セラシ。脚氣ノ症狀ノ有無ヲ檢ス可シ。

### 輸尿管ノ検査法

輸尿管ハ腎盂ヨリ出デ約三〇浬ノ長サヲ有シ、腹膜ノ後部ヲ通過シテ膀胱ニ達シ間隙様開口ヲ以テ膀胱底ニ通ズ。輸尿管ト尿道トノ間ニハ特別ノ隆起ナク、膀胱頸部ニ於テ合シテ三角部ヲ形成ス。輸尿管ハ之ヲ直接觸知スルコト不可能ナルモ、病的ノ場合又ハ直腸、腔ヨリハ時ニ其ノ下部ヲ觸ル、コ

トアリ。而シテ輸尿管炎又ハ其ノ結核ノ際ニハ著明ナル壓痛ヲ示ス。  
 輸尿管ノ疾患ハ主トシテ膀胱又ハ腎臟ヨリ擴大シタルモノナリ。又外傷ノ結果輸尿管ノ瘻管ヲ生ジ、或  
 ハ輸尿管結石ヲ見ルコトアリ。輸尿管疾患ノ症狀ハ痙攣、血尿、排尿閉止等ニシテ、一方ノ腎臟疾患ト  
 殆ンド區別シ得ザル場合多シ。  
 輸尿管瘻管ヲ診断スルニハ「インヂゴ」硫酸「カルミン」又ハ「メチレンブラウ」ヲ與ヘ著色シタル尿ヲ排泄  
 セシムルニ依ル。

レントゲン検査及ビ輸尿管ノ「カテーテル」検査ハ何レモ輸尿管疾患ノ診断上大切ナルモノナリ。

## 膀胱疾患

### 第一章 膀胱ノ検査法

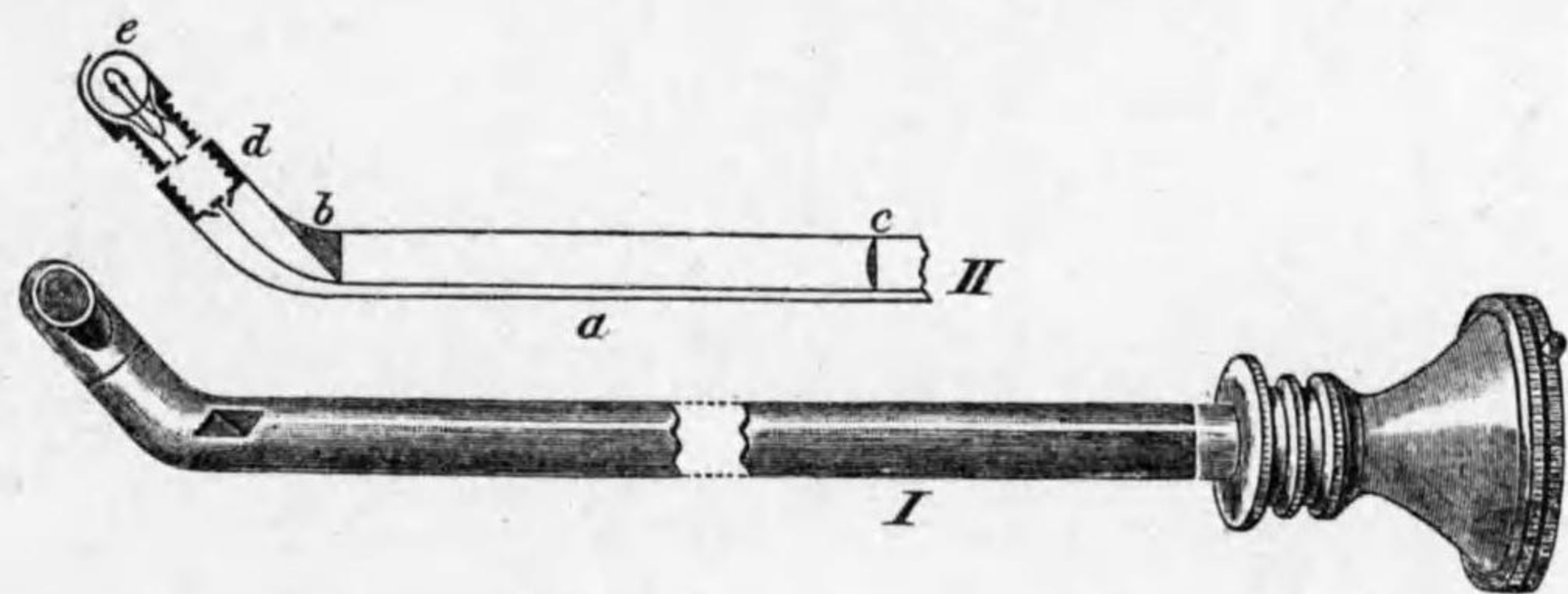
膀胱ハ小骨盤内ニアリ。空虚ノ際ニハ全ク恥骨縫際ノ後面ニ隠ル。膀胱筋肉ハ尿ノ排泄ガ尿道狹窄ノ爲  
 メ障碍セラレタル場合ニハ著シク肥厚シ、膀胱ノ内部ヨリ網狀ヲナシテ粘膜上ニ隆起スルヲ見ルコトア  
 リ。膀胱底部ニハ輪狀ノ括約筋ヲ有ス。而シテ膀胱ノ粘膜ハ腎盂及ビ輸尿管ノ粘膜ト同様ニ數層ノ扁  
 平上皮細胞ヨリ成ル。尿ヲ以テ充滿セラレタル膀胱ハ恥骨縫際ノ上ニ高ク腫瘍狀ニ現ハレ、妊娠子宮、  
 卵巢囊水腫ト同様ノ外觀ヲ有スルモ、尿ヲ排泄スルコトニ依テ容易ニ區別スルコトヲ得。  
 膀胱ノ疾患ヲ診断スルニハ尿ノ検査及ビ膀胱ノ觸診、打診ノ外、膀胱鏡ヲ用ヒテ直接ニ之ヲ視ルコトア  
 リ。

#### 第一項 膀胱鏡検査

膀胱鏡トハ膀胱ノ内部ヲ照シ反射鏡ニ依テ直接之ヲ視ル装置ヲ云フ。昔ヨリ用ヒラルミモノハニッツエ  
 氏ノ膀胱鏡ナリ(第四百六十圖)。

膀胱鏡ニハ漏斗部、筒狀部及ビ嚙部ノ三部ヲ區別ス。漏斗部ニハ電源ヲ連絡シ筒ノ中ヲ通過スル電線ニ

第 四 百 六 十 四 號  
ニ ツ ヲ 氏 膀胱鏡



a. 器械ノ幹部 b. 三稜硝子 c. 「レンズ」 d. 螺旋母 e. 電燈

依テ嘴部ニアル所謂「ラング」ニ點火セシムルコトヲ得。反射装置トシテハ筒部ノ内端ニアル集合「レンズ」ニ依テ先ヅ膀胱内面ノ倒像ヲ作り之ヲ筒ノ内部ニアル「レンズ」ニ依テ立像トナシ、更ニ漏斗部ニアル接眼「レンズ」ニ依テ擴大シテ之ヲ視ルモノニシテ、尙膀胱内面ノ周圍ヲ廣ク見ル爲メニ「プリズマ」ヲ筒部ト嘴部トノ間ニ置ク。筒部ノ長サハ二〇—二五厘米シテ嘴部ハ筒部ニ對シメルシエー氏彎曲ヲ示ス。膀胱鏡ニ映ズルハ嘴部ノ彎曲ニ向ヘル部分ニシテ、此ノ彎曲ノ方向ハ漏斗部ニ附著セル鈕ニ依テ之ヲ知ルコトヲ得。

膀胱鏡ニ映ズル場所ヲ正確ニ判斷スルコトハ困難ニシテ、此ノ缺點ヲ除ク爲メニフランクハ漏斗部ノ接眼「レンズ」ノ前ニ更ニ「レンズ」ヲ插入シ、見エル部分ノ方向ヲ實際ノ方向ト一致セシメタリ。斬新ナル膀胱鏡ハ多ク此ノ装置ヲ有ス。

膀胱鏡ニ映ズル視野ハ圓形ニシテ、其ノ大サハ各装置ニ依テ一定セルモ、膀胱鏡ヲ粘膜ニ近ヅケ又ハ之ヨリ離スコトニ依テ粘膜ノ大部分若クハ小部分ヲ映出スルモノニシテ、粘膜ニ近ヅクル時ハ粘膜ハ一小部分ノミ寫ルニ過ギザルモ遙ニ擴大シテ見ユ

ルモノナリ。膀胱鏡検査ヲ行フニハ先ヅ患者ヲ診察臺上ニ仰臥セシメ、骨盤部ヲ高クシテ尿道ガ恰モ檢者ノ目ノ高サニ來ル様ニス。檢者ハ患者ノ兩脚間ニ位置ヲ占メ、先ヅ消毒シタル「カテーテル」ヲ以テ排尿シ(一一八一頁參照)、然ル後男子ニアツテハ一五〇蚝、女子ニアツテハ二五〇—三〇〇蚝ノ三%硼酸水ヲ滿シ、「カテーテル」ヲ除ケル後ニ、膀胱鏡ヲ「グリセリン」ニテ滑ニナシ插入ス。膀胱鏡ハ成可ク二十四時間「フォルマリン」蒸氣消毒ヲ行フヲ可トス。次デ膀胱鏡ニ點火シタル後、之ヲ前後左右ニ移動セシメツ、膀胱ノ内部ヲ検査スルモノナリ。

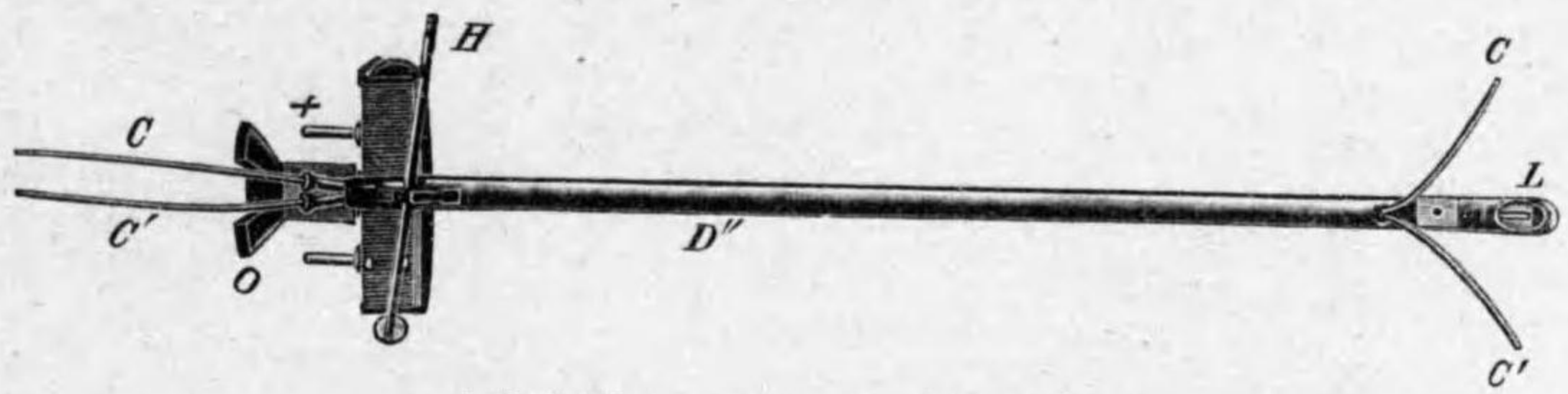
正常ノ膀胱粘膜ハ平滑ニシテ光輝アル黄色ヲ呈シ、微細ナル鮮紅色ノ血管ヲ透視シ得。検査ノ順序ハ最初ニ嘴部ヲ耻骨縫際ニ向ケ暗赤色ノ括約筋ノ周圍ヲ視タル後、一八〇度廻轉シテ輸尿管排泄口附近ヲ照ス。排泄口ノ形ハ種々雜多ニシテ、多クハ裂口狀ヲナシ、一部ニ隆起ヲ示スコトアリ。輸尿管ヨリハ一定ノ間隔ヲ以テ排尿ニ依ル波動ヲ見ルコトヲ得。輸尿管ノ發見困難ナル場合ニハ「インヂゴカルミン」ヲ筋肉内ニ注射スル時ハ暫クニシテ青色ノ渦卷ヲ輸尿管口ニ起ヌヲ以テ容易ニ之ヲ知ルコト得。

### 第二項 輸尿管ノ膀胱鏡検査

輸尿管ヨリ排泄セラル、血液又ハ膿球ヲ見ル時ハ之ニ依テ何レノ側ノ腎臟ガ障碍サレタルモノナルカヲ知リ得ベキモ、尙正確ニ之ヲ知ルニハ輸尿管ノ「カテーテル」送入ヲ行ハザルベカラズ。即チ一種ノ膀胱鏡ノ助ケニ依テ細キ「カテーテル」ヲ輸尿管内ニ插入シ之ヨリ排泄セラル、尿ヲ別々ニ集ムルモノナリ。

膀胱ノ検査法

圖一十六百四第  
鏡膀胱尿管輸氏ルベスカ



c, c'. 輸尿管「カテーテル」 L. 電燈 O. 接眼鏡

此ノ「カテーテル」插入ノ装置ハ全クニツヰエー氏ノ膀胱鏡ト同一ニシテ  
唯之ニ「カテーテル」ノ通過スル溝ヲ有スルヲ異ニスルノミ。「カテーテ  
ル」ハ輸尿管中ニ長時間入レ置キ、膀胱鏡ハ之ヲ取り去ルモ妨ゲナシ。通  
例カスベル氏輸尿管膀胱鏡ガ此ノ目的ニ使用セラル(第四百六十一圖)。  
膀胱鏡ハ單ニ診断ノ目的ノミナラズ、其ノ助ケヲ藉リテ膀胱内手術ヲモ  
行フコトヲ得ルモノナリ。

膀胱炎ノ際ハ粘膜ハ瀰蔓性ニ充血シ殊ニ諸所ニ著シキ發赤ヲ呈ス。又出  
血、「フィブリン」又ハ膿球ノ附着ヲ認め、慢性膀胱炎ニシテ尿ノ排泄不  
充分ナル時ハ網狀構造ヲ示シテ粘膜上ニ隆起スルヲ見ル。或ハ粘膜ノ一  
部囊狀ヲナシテ尿石ガ隠レ、或ハ時ニ著明ナル潰瘍ヲ呈スルモノアリ。  
膀胱ノ潰瘍ハ主トシテ結核性ニシテ、其ノ周圍ニハ屢々結核性結節ヲ認  
ムルコトアリ。

膀胱鏡検査ハ膀胱腫瘍ヲ早期ニ診断シ、出血ノ際ニハ之ガ腎臟ヨリ起レ  
ルモノナルカ膀胱ヨリノモノナルカヲ決定シ、又左右ノ輸尿管ノ異常及  
ビ差異ヲモ明カニス。

尙一方ノ腎臟ガ侵サレタル場合ニ他ノ側ノ腎臟ノ作用ガ完全ナリヤ否ヤ  
ヲ定ムルニモ同ジク膀胱鏡ノ助ヲ藉ルモノニシテ、之ニ依テ、病メル腎

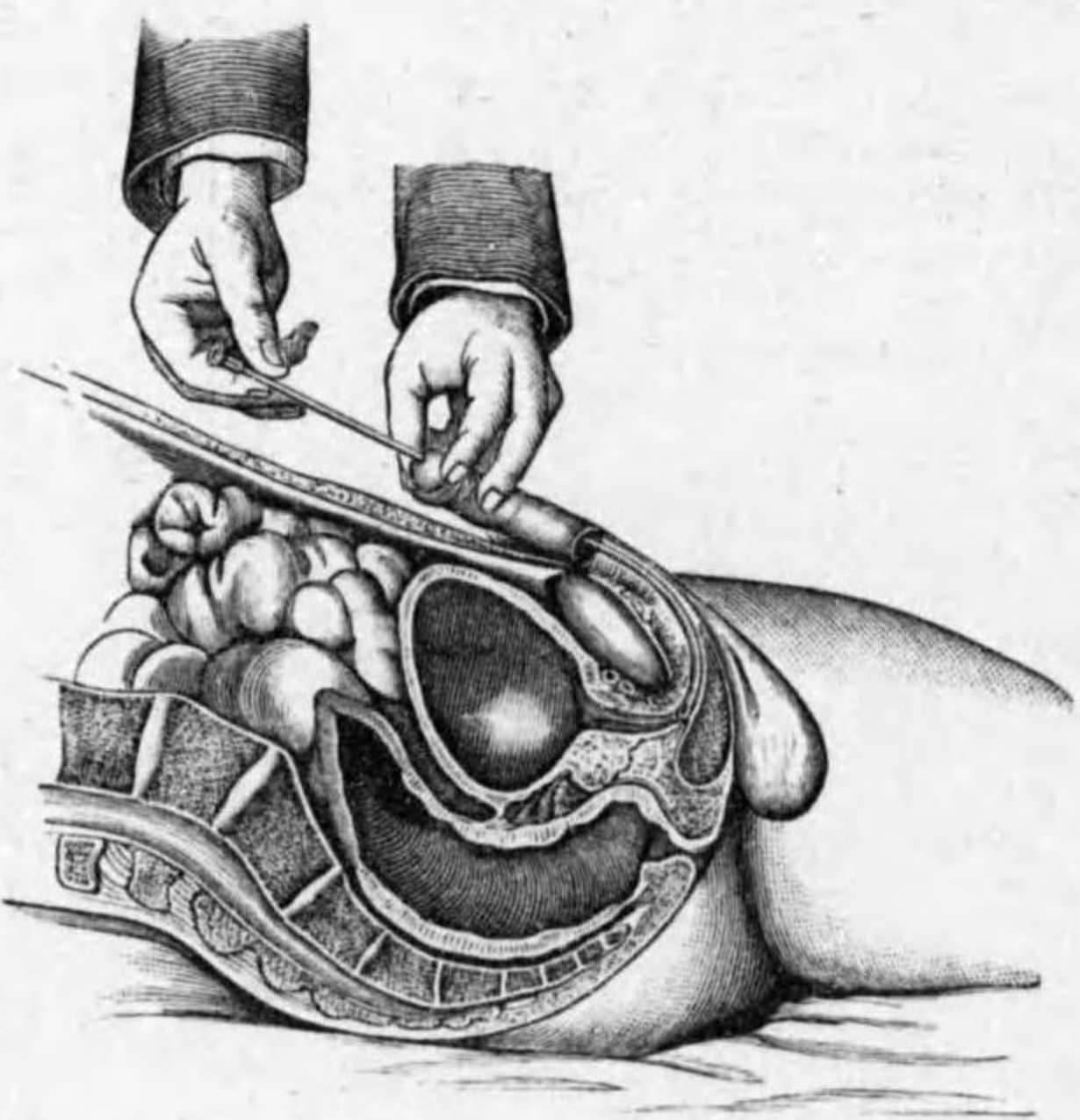
臟ヲ手術的ニ除去シ得ルヤ否ヤヲ判決シ得ルモノナリ。

### 第三項 「カテーテル」竝ニ消息子挿入法

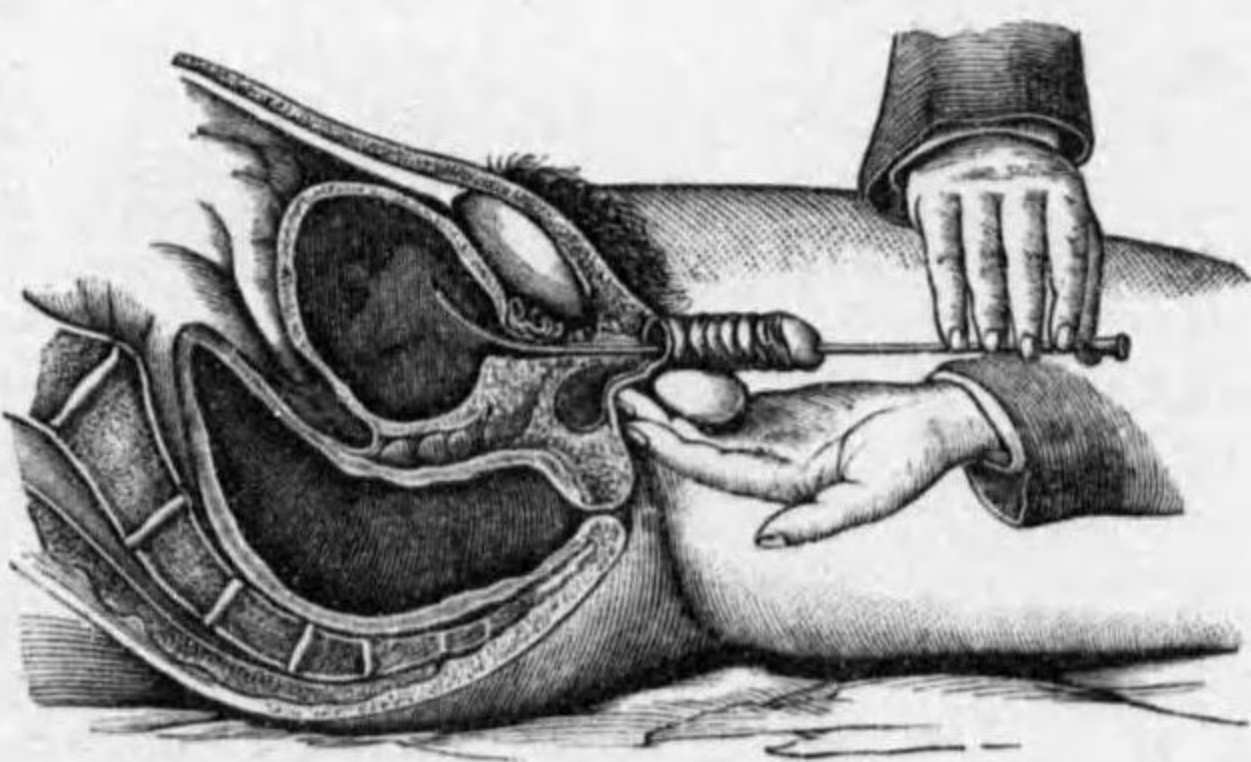
消息子ハ棒様ナルモ「カテーテル」ハ之ト異リ管狀ヲナシ、其ノ先端ニ窓ヲ有ス。消息子及ビ「カテーテ  
ル」ニハ柔軟ナルモノト硬固ナルモノトアリ。柔軟ナルモノニハネラトン氏「カテーテル」及ビ絹絲製「カ  
テーテル」(消息子)アリ。

ネラトン氏「カテーテル」ハ全ク彈力「ゴム」ヨリ成リ絹絲製「カテーテル」ハ先ヅ絹絲ニテ編ミタルモノヲ

圖二十六百四第  
法入送「ルテータカ」  
一ノ其



二ノ其



弾力「ゴム」竝ニ「ワニス」ニテ被覆セルモノナリ。硬固「カテーテル」(消息子)ハ主トシテ金屬ヨリ作ラレ「ニッケル」鍍金ヲナシタルモノナリ。一定ノ屈曲ヲナシ、先端ハ圓柱狀又ハ鉤狀ヲナス。「カテーテル」内腔ノ太サハシャリエール氏ノ度盛リニ從ツテ作ラル。

柔軟ナル「カテーテル」(消息子)ヲ挿入スルニハ先ヅ尿道口ヲ一%ノ昇永水ニテ洗滌シタル後、消毒セル「カテーテル」ニ無菌ノ油ヲ塗り、右手ニテ筆ノ如ク持チ、左手ニテ龜頭ヲ握リ、「カテーテル」ヲ旋回シツ、尿道ニ挿入スルモノニシテ、之ガ膀胱ニ達スレバ「カテーテル」ヨリハ尿ノ排出ヲ見ル。

金屬製ノ硬固「カテーテル」ヲ挿入スルニハ横臥セル患者ノ左側ニ於テ「カテーテル」ヲ腹壁ト平行ニシテ尿道ニ挿入シ、陰莖ヲ「カテーテル」ノ上ニ載セル如キ位置ニ引上ゲ(第四百六十二圖)、次ニ「カテーテル」ガ尿道球ニ達セル時龜頭ヲ持テテ手ヲ離シテ其ノ母指ト人差指トヲ以テ會陰部ニアル「カテーテル」ノ先端ヲ注意シツ、壓迫シ同時ニ「カテーテル」ヲ次第ニ腹壁ヨリ離シテ先ヅ腹壁ニ垂直ニシ、遂ニ之ヲ兩脚間ニ倒ス様ニス。然ル時ハ「カテーテル」ハ膀胱内ニ挿入サル、モノナリ。

柔軟「カテーテル」又ハ消息子ノ消毒ニハ二時間蒸氣消毒ヲ行フカ、二十四時間一%ノ昇永水ニ漬ケルヲ良シトス。「グリセリン」又ハ「オレーフ」油ノ消毒ハ煮沸シテ用フ。或ハ石炭酸「グリセリン」ヲ用フルコトアリ。

「カテーテル」ハ尿閉又ハ膀胱内ニ藥液ヲ注入スル際ニ必要ニシテ、消息子ハ尿道ノ閉塞、狹窄ノ際ニ之ヲ擴張シ又ハ之ヲ診斷スル目的ヲ以テ用ヒラル。又膀胱結石アリテ膀胱鏡ヲ用フル事ヲ得ザル場合ニハ金屬製消息子ヲ挿入シテ之ヲ診斷ス。

#### 第四項 膀胱ノレントゲン検査

膀胱ノ結石又ハ異物ノ際ニレントゲン検査ニ依ツテ之ヲ知ル事ヲ得。尿酸又ハ磷酸結石ハ陰影不明ナルモ磷酸結石ハ著明ニ現ハル。

## 第二章 膀胱疾患ノ症状及ビ診断

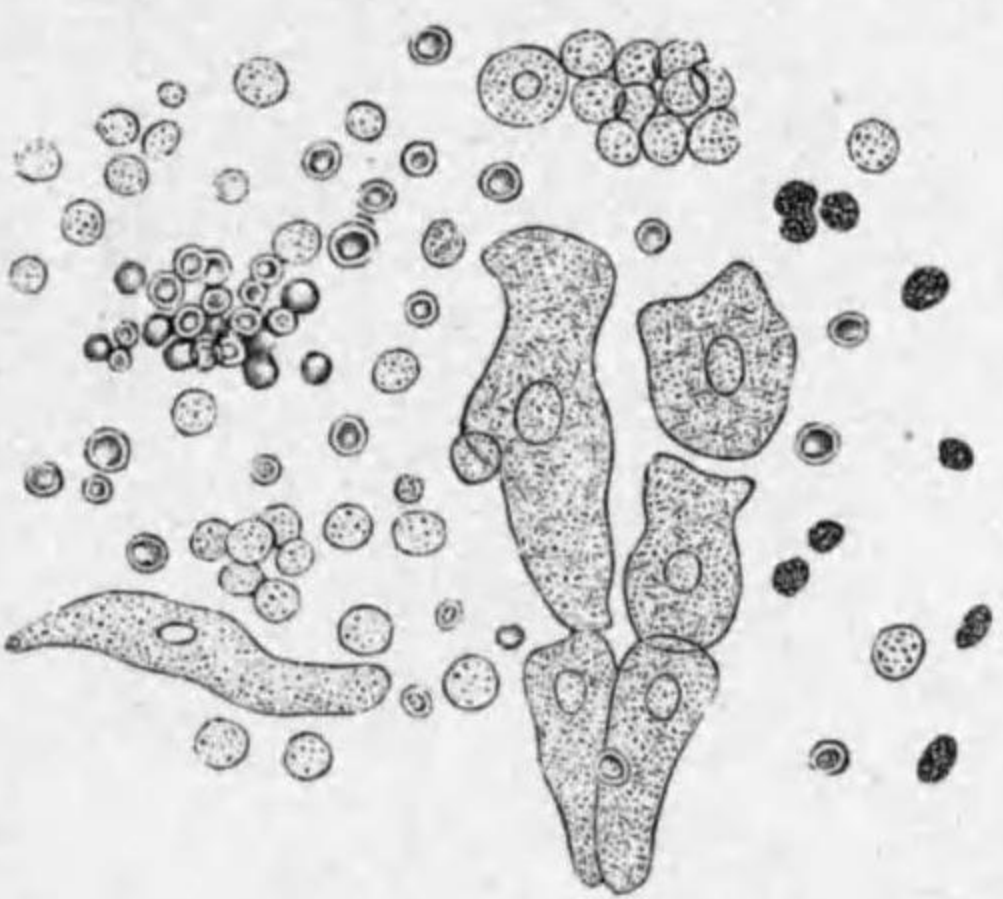
### 第一項 急性膀胱炎

悪寒戰慄ヲ以テ發熱シ、放尿時ノ疼痛、尿意頻數、膀胱部ノ壓痛等ヲ訴フ。尿ハ多ク酸性ヲ呈シ溷濁シ血液及ビ蛋白ヲ證明スルコトアリ。膀胱上皮細胞竝ニ細菌ハ多數ニ之ヲ含ム(第四百六十三圖)。經過ハ一樣ナラザルモ次第ニ治癒シ又ハ慢性トナル。

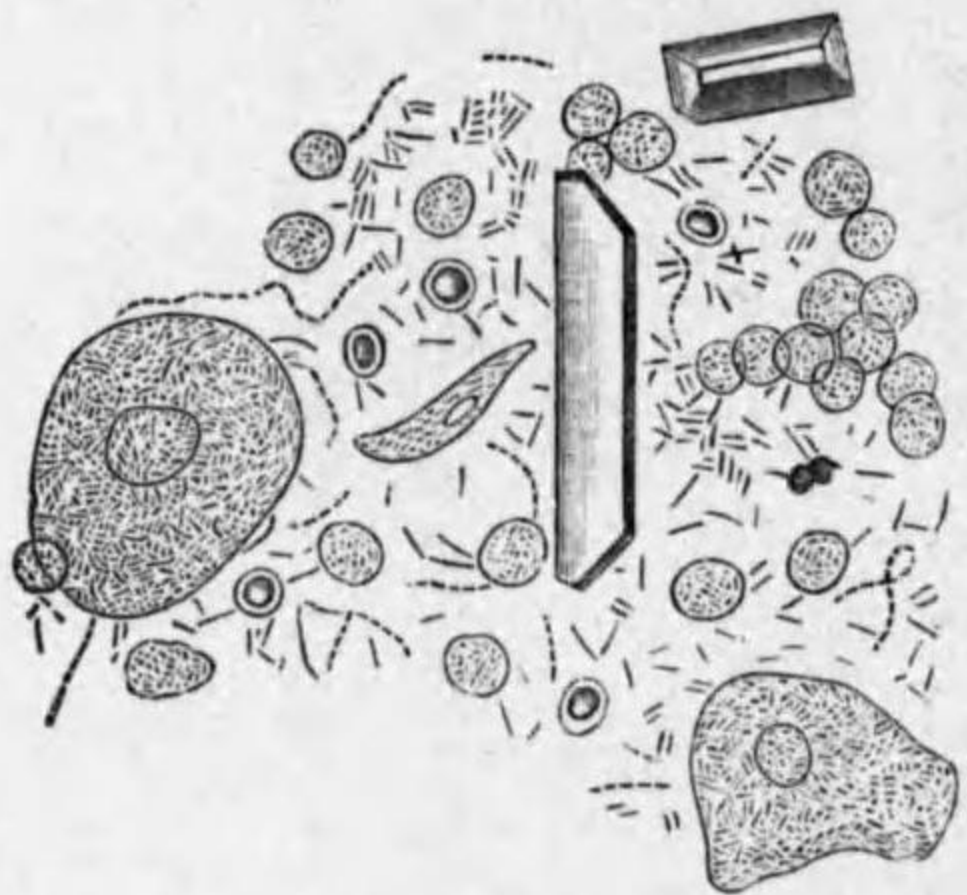
### 第二項 慢性膀胱炎

之ハ一般ニ漸次ニ起ルモノナルモ、又急性膀胱炎ヨリ移行スルモノアリ。熱ハ増悪シタル場合ニハ存在スルモ通例無熱ニシテ膀胱附近ノ壓痛、尿意頻數、放尿時疼痛、膀胱痙攣等ヲ主ナル症状トナス。尿ハ溷濁シ屢々細菌ノ作用ニ依テ「アルカリ」性酸酵ヲ起ス(連鎖狀球菌、葡萄狀球菌、「プロテウス」菌等ハ「アルカリ」性酸酵ヲ起スモ、大腸菌、結核菌、淋菌等ハ尿素ヲ分解スルコトナク、尿ハ酸性ナリ)。尿ハ多數ノ細菌、化膿球、膀胱上皮細胞、

圖三 十六百四第  
渣沈ノ兒答加膀胱性酸



圖四 十六百四第  
渣沈ルケ於ニ兒答加膀胱性リカルア



赤血球ヲ含ミ、「アルカリ」性ノ際ハ其他磷酸土類、磷酸「アンモニウム」マグネシア、尿酸「アンモニウム」ノ沈渣ヲ見、尿ノ溷濁モ著シ。時ニ瓦斯ノ發生ヲ起シテ氣尿又ハ硫化水素尿ヲ來スコトアリ(第四百六十四圖)。慢性膀胱炎ヨリ腎盂腎臟炎ヲ起ス時ハ高熱ヲ發ス。

### 第三項 細菌尿

尿ガ腎盂又ハ膀胱ニ貯溜シ、細菌、主トシテ大腸菌ノ感染ヲ受ケ然モ何等ノ炎症ヲ示サズ尿中膿球ナク細菌ノ爲ニ尿ノ溷濁ヲ起スモノヲ云フ。

### 第四項 膀胱結核

腎臟又ハ生殖器ノ結核ヨリ傳播シタルモノニシテ、潰瘍ハ主トシテ膀胱底ニ存在シ茲ニ激シキ疼痛、尿意頻數、血尿等、膀胱炎ノ一般症状ヲ呈スルモ、確實ナル診斷ハ膀胱鏡ニ依ラザルベカラズ。

### 第五項 膀胱結石

通例慢性膀胱炎ノ症状ヲ呈スルニ過ギズ。屢々運動ノ際ニ激シキ痛ミヲ發シテ周圍ニ放射シ且ツ出血ヲ起ス。又放尿時突然尿閉ヲ示シ疼痛ヲ發スルコトアリ。膀胱鏡検査又ハX線検査ニ依テ診斷ヲ定ム。



### 第六項 膀胱腫瘍

膀胱ニハ屢々良性ノ「パピローム」ト悪性ノ癌腫トヲ生ジ、血尿及ビ疼痛ヲ起スモ、膀胱鏡検査ニ依ルニアラザレバ確實ニ診断スルコトヲ得ズ。

### 第七項 神経性膀胱疾患

之ハ主トシテ排尿異状ニシテ、尿意ノ頻數又ハ減少ヲ訴フ。直接粘膜ノ感覺ノ神經的障礙ニ依ルカ或ハ「ヒステリー」ノ如ク中樞ニ於ケル神經疾患ニ依テ起ル。此ノ際ハ膀胱ノ器質性疾患ト充分鑑別セザルベカラズ。

#### 一、排尿頻數症

放尿數ハ勿論人ニ依テ異ルモノナルモ、排尿頻數症ト云ハル、場合ハ、尿意頻數又ハ尿道ノ灼熱感ト共ニ短時間ニ幾度モ少量宛ノ尿ヲ排泄スルモノニシテ、ソノ爲メニ睡眠妨ゲラル、モノナリ。此ノ障礙ハ勿論糖尿病、萎縮腎、膀胱疾患、脊髓疾患等ノ如ク二次的ニ起ルコトアリ。放尿ノ際ニ苦痛アルモノヲ「ヂスウリー」ト云フ。

#### 二、夜尿症

夜尿症ハ膀胱括約筋ノ薄弱ナルモノ、膀胱粘膜又ハ其ノ神經中樞ノ過敏ナルモノニ起ル。從來健康ナリシ大人ニ見ル少量ノ尿失禁ハ脊髓疾患又ハ詐病ヲ示シ、大量ノ尿ガ勢良ク排出サル、場合ハ腦或ハ脊髓

Dysurie

Pollakiurie

Oligurie  
Ischurie  
Ischuria paradoxa

ノ疾患ヲ示スモノナリ。小兒ニハ一種ノ神經症トシテ或ハ脊髓疾患トシテ又ハ寄生蟲、「オナニー」、包莖等ニ夜尿症ヲ示シ、之ガ成長シテモ尙持續スルモノアリ。

#### 三、排尿回數減少症

單ニ放尿ノ減少シタルモノハ「オリグリー」ト云ヒ、脊髓癆、脊髓炎等ニ依ル膀胱筋麻痺ノ際、又ハ攝護腺肥大、尿道狹窄等ノ際ニ見ラル。排尿ガ全ク意ノ如クナラザルモノヲ尿閉ト云ヒ、膀胱ガ充滿シ居ルニ拘ラズ僅ニ一滴宛排泄スル場合ヲ奇異尿閉ト云フ。

## 生殖器疾患

### 第一章 男子生殖器ノ検査法

男子生殖器ニ屬スルモノハ陰莖、陰囊、睾丸、副睾丸、輸精管之ナリ。前二者ハ外部ヨリ之ヲ認ムベク、後者ハ觸診ニ依テ之ヲ檢スルコトヲ得。

#### 第一項 陰莖

##### 一、尿道

尿道ハ平均一八乃至二〇糎ノ長サヲ有シ、解剖學的ニハ之ヲ攝護腺部、膜狀部及ビ海線部ニ分ツモ、臨牀的ニハ攝護腺竝ニ之ニ接スル膜狀部ヲ後部ト稱シ、海面體ニ圍マル、部分ヲ前部トシテ區別ス。攝護腺部ニハ射精管及ビ攝護腺ガ開口シ、海綿部ノ起始部ニハコーベル氏腺開ク。尿道粘膜ニハ其他無數ノ所謂リットレー氏腺ガ存在スルモノナリ。尿道ノ太サハ一定セズ、且ツ伸縮著シキモ、平常空虚ノ際ハ粘膜ガ密著シ居ルモノナリ。

〔イ〕尿道炎 尿道炎ハ外傷又ハ淋菌ノ感染ニ依テ起リ、通例尿道ノ前部ニ局限サル、モ、若シ後部ニ及ブ時ハ更ニ攝護腺、精囊及ビ副睾丸ヲモ侵ス。急性尿道炎ハ粘膜ノ著シキ變化ナクシテ治癒スルモ、時

Littreschen Drüsen

ニ慢性トナリ、尿道壁ノ肥厚ヲ起シ、尿道ノ狭窄乃至擴張ヲ招ク場合アリ。尙、尿道炎ハ淋菌ノ外、他ノ細菌ニ依テモ起ルコトアリ。

〔ロ〕尿道狭窄症 尿道ニ狭窄存スル際ハ排尿ニ異常ヲ起シ、時ニ全ク排出不能トナルコトアリ。然レドモ膀胱ノ結石、異物、攝護腺肥大、膀胱麻痺等ニ依テモ排尿障礙ヲ起スコトアルヲ以テ之ト區別セザルベカラズ。疼痛ハ狭窄ノ際ニハ其ノ場所ニ存在シ、膀胱結石ノ際ニハ尿道ノ先端ニアリ、攝護腺肥大ノ時ハ會陰部ニ之ヲ訴フルモノナリ、狭窄ヲ診斷スルニハ消息子ヲ用ヒ、又ハ尿道鏡ニ依リ直接之ヲ見ル必要アリ。稀ニ觸診ニ依テ診斷シ得ルコトアリ。

〔ハ〕リットレー氏腺ノ疾患 ハ急性竝ニ慢性ノ淋疾ニ見ル所ニシテ、同ジク尿道鏡ニ依テ證明スルコトヲ得。

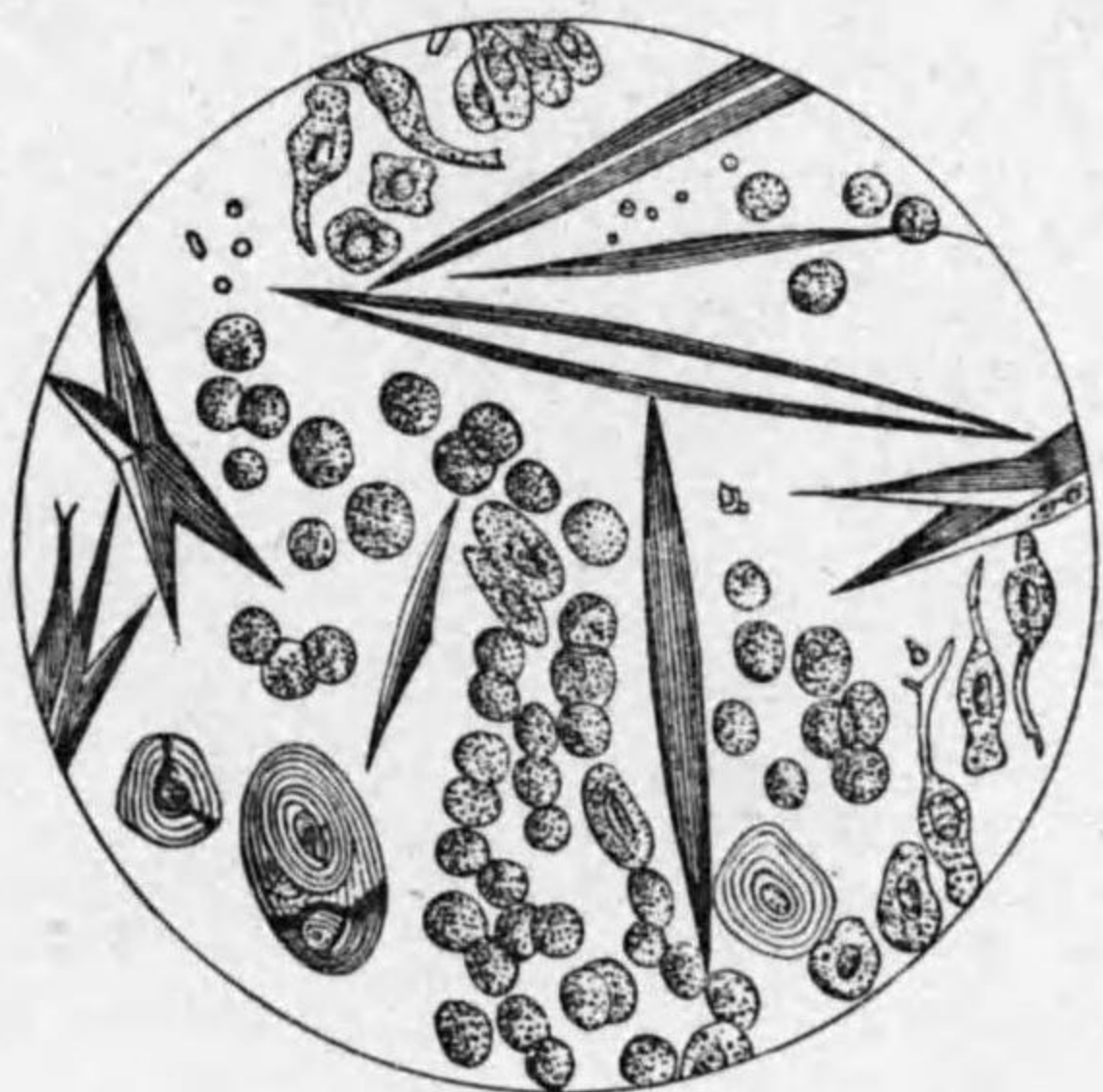
〔附〕尿道鏡 ハ一〇—一五糎ノ長サヲ有スル金屬製圓筒ニシテ、電氣裝置ヲ備フ。  
二、攝護腺

攝護腺ハ直腸ヨリ觸診スル時左右二ツノ部分ト之ヲ連絡スル狹部トヨリ成ル。大體耻骨縫際ト直腸トノ間ニ存在スルモノニシテ、大部分ハ腺狀部ヨリ成リ一部筋肉層ヲ含ンデ尿道ノ周圍ヲ圍ム。攝護腺ノ肥大ニ依テハ尿道ノ狭窄ヲ起シ、攝護腺ノ炎症ニ依テハ分泌物竝ニ血液、化膿球ヲ尿中ニ排出ス。

〔イ〕攝護腺ノ觸診 攝護腺肥大ノ際ニハ著シク肥大セル攝護腺ヲ觸レ、其ノ上縁ニ迄達スルコトヲ得ズ。攝護腺ノ惡性腫瘍ノ際ニハ表面平滑ナラズ、攝護腺炎ノ際ニハ壓痛ヲ訴フ。

〔ロ〕攝護腺分泌物ノ検査 此ノ目的ニハ膀胱ヲ豫メ洗滌シ、然ル後ニ攝護腺ヲ壓迫シテ其ノ分泌物ヲ採

圖五十六百四第  
物泌分腺護攝



リ、顯微鏡下ニ檢セザルベカラズ。此ノ分泌物中ニハ所謂「アミロイド」體ト稱シ沃度丁幾ニテ青染スル層狀ノ小體ト「レチチン」小體ト云ハル、赤血球大ノ圓形光輝アルモノト、攝護腺結晶竝ニ細胞等ヲ認ム(第四百六十五圖)。攝護腺結晶ハ分泌物ニ數滴ノ磷酸「アンモニア」液ヲ加フル時ニ現ハル。攝護腺分泌物ハ特有ノ精液臭ヲ放テ、病的ノ際ニハ化膿球、淋菌等ヲ證明シ得ルモノナリ。

三、コーペル氏腺

淋毒性炎症ノ際ニ會陰部ノ中央ニ大豆大ノ疼痛アル

小體トシテ觸ル、コトアリ。

四、精囊

精囊ハ「ゲラチン」様精囊液ノ分泌及ビ精液ノ貯藏處ニシテ、慢性炎症(結核)ノ際僅ニ直腸ヨリ之ヲ觸ルルコトヲ得ルノミ。淋毒性精囊炎ノ際ニハ精液ハ血液様トナル。

第二項 陰囊

睾丸ノ後ニ接シテ副睾丸アリ、其ノ尾部ヨリ輸精管ヲ出ス。副睾丸ノ頭部ハ睾丸ノ上端ニ接シ、尾部ハ下端ニ附著ス。睾丸ハ腹膜ノ一部ナル固有莖膜ト共ニ下垂シタルモノニシテ、輸精管、神經及ビ血管ト共ニ精系ヲ作ル。

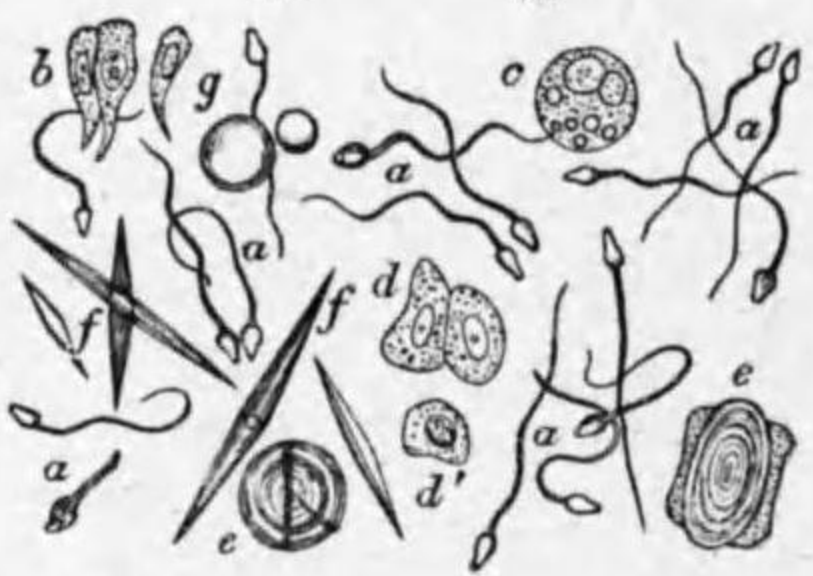
急性淋菌性副睾丸炎ノ際ニハ副睾丸ハ硬ク肥大シ疼痛アリ、結核ノ際ニハ表面平滑ナラズシテ小ナル突起ヲ觸ル、コトアリ。稀ニ副睾丸ニモ腫瘍又ハ微毒ヲ見ル。固有莖膜ニ漿液ノ滯溜スル時ハ陰囊水腫ヲ起シ、「ヘルニア」ト鑑別ヲ要ス。

第三項 陰囊内容ノ検査

一、精液(第四百六十六圖)

精液ハ單ニ睾丸ノ分泌物ノミナラズ、精囊及ビ攝護腺ノ分泌物ヲモ含ム。其ノ主ナル成分ハ睾丸ニ於テ作ラル、精絲ニシテ、其ノ長サハ約五「ミクロン」アリ、固有ナル頭部ト長キ尾部トヲ備ヘ盛ニ運動スルモ、冷却スルカ又ハ水ヲ加フル時ハ不動トナリ、酸ヲ加フル時ハ全ク死亡スルニ至ル。

圖六十六百四第  
液精



- a. 精絲
- b. 圓柱上皮細胞
- c. 「レチチン」顆粒ヲ含有スル小體
- d. 尿道ノ磚狀上皮
- d'. 睾丸細胞
- e. 澱粉様小體
- f. 精液結晶
- g. 透明球粒

精液ニハ尙、精絲ノ外、顆粒狀ノ辜丸細胞、「レチチン」體並ニ「アミロイド」小體アリ。又、上皮細胞、白血球、細胞ノ破壊産物ヲモ含ム。病的ニハ精液中ニ細菌、化膿球、血液等ヲ混ジ又分泌障碍ヲ起スコトアリ。

〔附〕ベットヘル氏「スペルマ」結晶

此ノ結晶ハ主トシテ攝護腺ノ分泌物ヨリ作ラル、モノナルヲ以テ攝護腺結晶ト呼バル。精液ヲ長ク放置スルカ又ハ乾燥スル際ニ生ジ、喘息結晶ニ類似スルモ、之ヨリ大キク且ツ菊花狀ニ密集スルコト多シ。精液ニ一%ノ磷酸「アンモニウム」ノ數滴ヲ加フル時ハ殊ニ多量ニ結晶スルモノナリ。

二、精液分泌障碍

〔イ〕精液漏 便通時又ハ排尿時ニ色情感覺ナシニ精液ヲ漏スモノニシテ、神經衰弱、腦脊髄疾患又ハ局所ノ疾患ニ於テ見ル。診斷ハ尿中精絲ガ多數含マル、コトヲ證明スルニアリ。

〔ロ〕精絲缺乏症 之ハ交接能力ニハ障碍ナキモ精液中ニ精絲ヲ含マザルモノニシテ、辜丸ノ分泌機能障碍(惡液質、慢性酒精中毒、レントゲン放射、辜丸腫瘍、微毒、先天性發育不全)ニ依ルカ又ハ輸尿管ノ閉塞(淋疾ニ依ル兩側ノ副辜丸炎或ハ精系炎)ニ依テ起ル。此ノ場合ノ精液ハ外觀上正常ノ精液ト異ル所ナク、副辜丸ニハ時ニ硬キ壓痛點ヲ示スコトアリ。診斷ハ精液ノ顯微鏡検査ニ依ルモノニシテ、其ノ中ニハ精絲ナク、唯攝護腺體、白血球、「アミロイド」小體、時ニベットヘル氏結晶ヲ證明ス。尙、一時性精絲缺乏症ナルモノアリ、交接過度ノ後ニ來ル。

又、精絲ガ全ク缺乏セルニハアラズシテ不充分ナル場合アリ、之ヲ精絲減少症ト云フ。斯ル際ニハ精絲

Böttchersche  
Spermakryalle

Spermatorrhoe  
Azoospermie

Oligospermie;  
Oligozoospermie

Azoospermatorrhoe  
u. Prostatorrhoe

Aspermatismus

Pollution

ノ運動モ活潑ナラズ(Ashenospemie; Ashenozoospermie)又ハ全ク運動セズ(Nekrospemie)且ツ精絲ノ形狀ニモ異常ヲ呈ス。

〔ハ〕精絲缺乏性精液漏及ヒ攝護腺漏 前者ハ精絲ナキ精液ノ精液漏ニシテ、後者ト殆ド同様ナルモノナリ。唯攝護腺漏ニ於テハ多數ノ白血球及ヒ圓柱細胞ヲ含ムヲ異ニスルノミ。

〔ニ〕精液缺乏症 射精ノ際尿道ヨリ全ク精液ヲ射出セザルモノニシテ、時ニ少量ノ精液ヲ出スコトアルモ之ハクーバー氏線又ハリットレー氏線ノ分泌物ナリ。其ノ原因ハ脊髓神經疾患ニ依ルコトアルモ多クハ尿道又ハ射精管ノ狭窄ニ依ルモノニシテ、尿道狭窄ニアリテハ精液ガ膀胱内ニ逆行シ後ニ至リテ尿ト共ニ排泄セラル、コトアリ。診斷ハ「カテーテル」挿入法其ノ他ニ依ル。尙、遺精ト稱シ睡眠中ニ精液ヲ漏スモノアリ。

## 第二章 女子生殖器ノ検査法

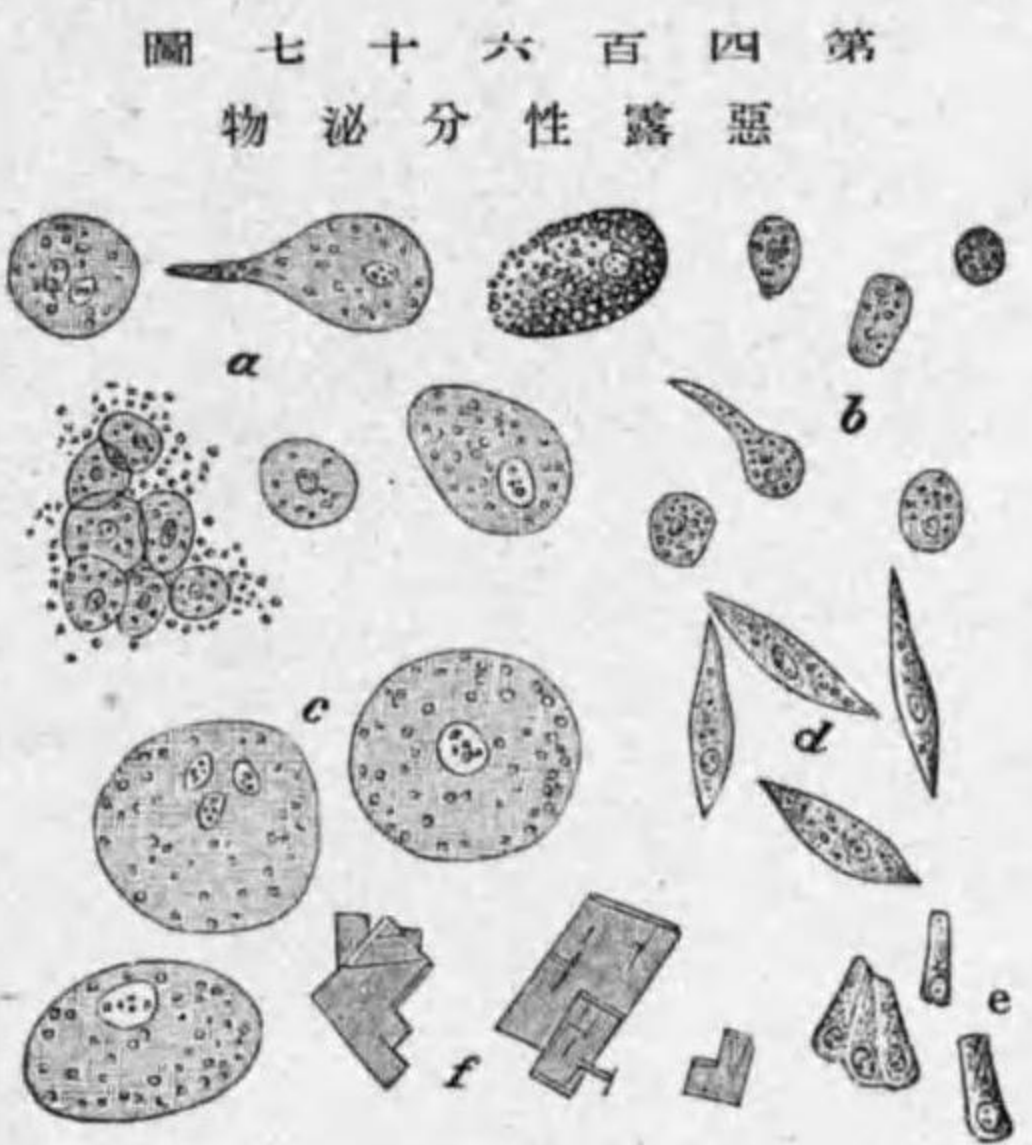
此ノ検査法ハ産婦人科ニ於テ主トシテ論ズル所ナルヲ以テ詳細ハ之ヲ省略シ、茲ニハ唯尿ニ關係アル點ニ就キ一言スルニ止メン。

女子生殖器ノ検査ニ當ツテハ視診、觸診ノ他、尿ニ混ズル分泌物ノ検査ヲ行フコト必要ナリ。

### 一、月經分泌物

月經分泌物ハ通常主トシテ子宮ヨリスル出血ヨリ成リ、唯僅ニ粘液ヲ混ズルモノニシテ、其ノ量ハ常態ニアリテハ一〇〇—二〇〇珉ニ過ギザルモ、間々其ノ量頗ル過多ナルコトアリ。之ヲ月經過多症ト稱ス。鏡檢上、數多ノ赤血球、其ノ他白血球、腔ノ扁平上皮及ビ子宮ノ圓柱上皮ヲ見ル。

二、惡露分泌物(第四百六十七圖)  
惡露分泌物ハ產褥ノ初期ニ來ルモノニシテ、



第四百六十七圖  
惡露分泌物  
a. 「テチテア」細胞  
b. 白血球  
c. 扁平細胞  
d. 子宮粘膜内幼結締組織細胞  
e. 子宮ノ圓柱細胞  
f. 「コレステリン」板

分娩後一—三日間ハ著明ナル血液狀ヲ呈スルモ、既ニ四—五日ヲ經ル時ハ漿液性トナリ、之ヨリ漸次膿性トナル。鏡檢上ニハ其ノ中ニ赤血球及ビ白血球、腔ノ扁平上皮、其他常ニ頽廢物、顆粒及ビ分裂菌ヲ見ル。而シテ後者ハ殊ニ產褥性疾患ノ際増加スルモノトス。

### 三、加答兒性分泌物

加答兒性分泌物ハ子宮或ハ腔粘膜ニ由來スルモノニシテ時ニ頗ル厭フベキ惡臭ヲ放ツコトアリ。鏡檢上此ノ分泌物中ニハ多數ノ白血球、腔若クハ子宮ノ上皮細胞ヲ見、又屢々腔「トリコモナス」ヲ認ムルコトアリ。又淋疾性疾患ニアリテハ淋疾球菌ヲ見ルベシ。

生理的ニ女子ニ於テハ月經竝ニ妊娠ナル機能アリ、此ノ際或ハ膀胱ニ充血ヲ起シ或ハ腎臟性蛋白尿ヲ示シ殊ニ妊娠中ニハ膀胱炎、腎盂炎等ヲ見ル。

妊娠中ニ於ケル特殊ノ疾患トシテ妊娠腎ナルモノアリ。又普通ノ腎臟疾患モ妊娠ニ依テ増悪ス。

尙、病的ニ子宮及ビ腔ノ位置異常ニ依テ尿路ニ壓迫加ハリ炎症ヲ起スコトアリ。

月經困難ニアツテハ全身ニ種々ノ神經障礙ヲ現ハシ又ハ貧血ヲ起ス。

月經異常ハ卵巢又ハ腦下垂體等他ノ内分泌臟器機能不全ニ關係シ、月經閉止期及ビ卵巢手術ノ際ニハ殊ニ著シキコトアリ。

子宮ノ位置異常ニ依リ腰痛、背痛等ヲ來シ、子宮附屬器炎症ヨリ腹膜炎ヲ起スコトアリ。

# 索引

## A

Accidentelle Albuminurie 1110  
 「アセトアルデヒッド」  
 (Acetaldehyd) 1060  
 「アセト」醋酸(Acetessigsäure)  
 1056  
 「アセト」醋酸ノ證明法 1056  
 「アセトン」(Aceton) 1057  
 「アセトン」ノ證明法 1058  
 「アセトン」ノ定量法 1059  
 「アセトン」尿(Acetonurie) 1054  
 「アセトン」體(Acetonkörper;  
 Corps acétoniques) 1054  
 「アチドーゼ」(酸血症)  
 (Acidosis) 966, 988, 1056  
 「アデニン」(Adenin) 1016, 1019  
 アドレル氏「ベンチヂン」試験法  
 (Adler) 1075  
 「エーテル」硫酸 980  
 「エーテル」硫酸ノ測定法 982,  
 984  
 「エチルアルコール」 1101  
 悪露性分泌物 1194  
 悪性貧血 974  
 「アルブミン」(Albumin) 1064  
 「アルブモーゼ」(Albumose) 1071  
 「アルブモーゼ」ノ證明法 1072  
 「アルブモーゼ」尿 1072  
 「アルブチン」 940  
 「アルデヘキソーゼ」(Aldehexose)  
 1022  
 「アルデヒッド」ノ證明法 1060  
 「アルカリ」土類 1122  
 「アルカリ」性膀胱加答兒ニ於ケ

ル尿沈渣 1185  
 「アルカリ」性酸酵尿 944  
 「アルカリ」性反應(尿ノ) 944  
 「アルカリ」性「セニエット」液1027  
 「アルカローゼ」(Alkalosis) 966  
 「アルカプトン」尿症  
 (Alkaptonurie) 939, 1053  
 「アルカプトン」酸(Alkaptonsäure)  
 1053  
 「アルコール」溶液(50%; 80%)  
 961  
 「アラントイン」 1015  
 アルクロフト、グリーン氏尿中砒  
 素證明法(Allcroft-Green) 1095  
 アルメン、ニールンデル氏尿糖證  
 明法(Almén-Nylander) 1027  
 「アロイン」粉末(Aloin) 1075  
 アンバール氏尿素排泄係數  
 (Coefficient uréosécrétoire,  
 Ambard) 1153  
 「アミン」化合物(Amine) 956  
 「アミノオキシプリン」 1016  
 「アミノプリン」 1016  
 「アミノ」酸(Aminosäuren) 1062  
 「アンモニア」(尿中) 944, 965  
 「アンモニア」ノ定量法 966  
 「アンモニアアルコール」 973  
 「アンモニア」水(2%; 25%)  
 972, 973  
 「アミロイド」反應 1114  
 「アミロイド」腎(Amyloidniere)  
 936, 1065, 1113, 1166  
 安息香酸 Benzoessäure 1052  
 「アンチフェブリン」 1098  
 「アンチピリン」 1098

「アクオフラヴィン」(Aquoflavin)  
 1089  
 「アラビノーゼ」(Arabinose) 1041  
 Arsenophosphorwoframsäure  
 試薬(As-P-Wo 試薬) 1017  
 亞硫酸 986  
 亞硫酸(尿中)ノ檢出法 986  
 アシムハイム、ゾンデック氏妊娠早  
 期診断(Aschheim-Zondek)  
 1102  
 「アスコルビン」酸(尿中)ノ證明  
 法 1105  
 亞硝酸 994  
 亞硝酸(尿中)ノ檢出法 994  
 亞硝酸「コバルトナトリウム」試  
 薬 964  
 壓搾酵母 1028  
 Asthenospermie 1193  
 Asthenozoospermie 1193  
 「アトファン」 1101  
 アウフレヒト氏蛋白計(Aufrecht)  
 1069  
 アウテンリット氏比色糖定量法  
 (Autenrith) 1037  
 アウテンリット氏比色計  
 (Autenrith Kolorimeter) 1037  
 アウテンリット氏比色計ニヨル  
 尿中「インヂカシ」定量法 1051  
 「アウトクラーフ」(高壓煮沸裝  
 置)(Autoklav) 1013  
 「アウクシン」(植物成長「ホルモ  
 ン」)(Auxine) 1103  
 「アゾベンツォール」 940  
 A 硫酸 980  
 α「グワヤコン」酸

### 三浦診断學第五輯正誤表

頁	行	誤	正
九五〇	一	Excikator	Excikator
九八二	一	磁性濾過堆場	磁性濾過堆場
一〇〇七	一	N <sub>2</sub> =60.052	N <sub>2</sub> =28.02
一〇一七	一	(一〇二五頁参照)	尿酸ノ證明法 特有ノ色
一〇三三	一	次五	「ド」反應ヲ呈ス(一一二五
一〇四一	一	一説	頁参照)
一〇五二	一	五	培養基ヲ用ヒ
一〇六二	一	五	Ufermann(Zeitschr.
一〇六四	一	五	klin. Mediz.
一〇六六	一	五	Nucleoproteid
一〇六八	一	五	Haltungsalbuminurie
一〇八五	一	五	Ferricyankal-Essigsäure
一九三	一	五	Hijmans van den
一九八	一	五	Bergh
一九九	一	五	試驗管U區劃ノ上2.5 ccノ
二〇一	一	五	所ニA區劃ヲ付ス
二〇二	一	五	Mittel. d. Vereinig.
二〇三	一	五	Deut. Anstalts-
二〇四	一	五	顆粒狀圓柱ト腎細胞
二〇五	一	五	脂肪性變性
二〇六	一	五	Probenahzeit von
二〇七	一	五	Phloridzinprobe
二〇八	一	五	Nizes Cystoskop
二〇九	一	五	Bakteriurie
二一〇	一	五	Bakteriurie

( $\alpha$ -Guajakonsäure) 1075  
 $\alpha$ 「ナフティールアミン」  
( $\alpha$ -Naphthylamin) 994

B

「バクテリアウム、ウレエ」Bact. Urae 1120  
微毒性「ネフローゼ」1165  
麦芽糖 948, 1044  
Bálint 氏血中「ナトリウム」定量法 960  
ベルツ氏(Bälz) 935  
バラル氏ノ尿比重補正表(Baral) 941  
バンク氏尿中「ビリルビン」証明法(Bang) 1088  
バンク・須藤氏血液殘餘窒素微量定量法 1138  
馬尿酸 1052  
馬尿酸結晶 1053  
バセドウ氏病 1023, 1041, 1166  
Bauman-Morax-Koeffizienz 980  
バイエル氏(Bayer) 1083  
ベックマン氏結水點測定装置(Beckmanns Apparat) 951  
ベル、ドアシー氏尿中磷定量法(Bell-Doisy) 990  
ベンス、ジョーンス氏蛋白質(Bence-Jones) 1070  
ベネディクト氏硫黄試薬(Benedict) 982  
ベネディクト氏「ピクリン」酸精製法 1010  
ベネディクト、フランケ氏直接比色法(尿酸ノ定量)(Benedict-Franke) 1017  
「ベンチヂン」Benzidin 1076  
ピアール氏「オルタン」反應(Bial) 1042  
「ビリルビン」(Bilirubin) 1085

「ビリルビン」(尿中)ノ証明法 1085  
「ピリウエルヂン」(Biliverdin) 1085  
微量窒素蒸溜装置 1140  
「ピウレット」反應(Biuretreaktion) 1072  
Blood Urea Clearance 1154  
ブルメンタール氏(Blumenthal) 981, 1052  
ボーンカンフ及リネウエ氏(H. Bohnenkampf u. W. Linneweh) 1095  
膀胱 1177  
膀胱ノ検査法 1077  
膀胱ノ「レントゲン」検査 1183  
膀胱ノ出血 1109  
膀胱炎 937, 944, 947, 1024, 1072, 11110, 1180  
膀胱結核 1185  
膀胱結石 1073, 1124, 1185  
膀胱鏡(Cystoskop) 1177  
膀胱鏡検査(Cystoskopie) 1177  
膀胱疾患ノ症状及ビ診断 1184  
膀胱腫瘍 1073, 1186  
没食子酸(Gallussäure) 1053  
ベットヘル氏「スベルマ」結晶(Böttchersche Sperma-krystalle) 1192  
ベットゲル氏糖証明法 1027  
「ブレンツカテヒン」(Brenzkatechin) 1047  
「プローム」1097  
「プローム」(尿中)ノ証明法 1097  
「プロモフォルム」940  
ブフェル氏(G. Buchner) 1046  
葡萄糖(Glukose) 1022  
葡萄糖ノ証明法 1024  
葡萄糖ノ定量法 1030  
ブング及レシケ氏「フェロチアン」

試験法(Bunge u. Leschke) (腎機能検査) 1151  
分光器ニヨル尿中血色素ノ証明法 1076  
分極光檢糖器ニヨル果糖ノ証明法 1040  
分極光装置ニヨル葡萄糖ノ証明法 1037  
分裂菌(B. ureae; Micrococcus ureae) 945  
分析用水銀燈 1104  
ビュルギー氏(Bürgi) 1096  
ブルグシュ、シッテンヘルム氏(Burgsch-Schittenhelm) 980  
病的細菌(尿中ニ現ヘル、) 1121  
B 硫黄 980  
「ベタオキシ」酪酸( $\beta$ -Oxybuttersäure) 948, 1055  
「ベタオキシ」酪酸ノ証明法 1056

C

「カルシウム」970  
「カルシウム」ノ証明法 971  
「カルシウム」ノ定量法 971  
カマーレル氏(Camerer) 996  
「カルバミン」酸(Carbaminsäure) 956, 1001  
「カスカラ」939  
カスベル氏輸尿管膀胱鏡 1180  
「ツェフランチン」(Cephalanthin) 940  
沈澱ニヨル尿中蛋白ノ定量法 1068  
「ヒニン」(「キニーネ」) 1002  
「ヒニン」(尿中)ノ証明法 1099  
窒素含有物(尿中ニ排出セラ、) 996  
膣及ビ子宮内分泌物ノ検査法 1194  
膣「トリコモナス」

(Trichomonas vaginalis) 1119  
「コロラール」1020  
「コロールカルシウム」970  
「クロロホルム」1020  
「クロロホルム」中毒 1166  
「クロロホルム」(尿中)ノ証明法 1099  
直接沈澱法(「カリウム」ノ定量) 963  
「コレラ」935, 939  
「コレステリン」1089  
「コレステリン」結石 1127  
「コンドロイチン」硫酸(Chondroitinschwefelsäure) 948, 1046  
腸癌 1052  
腸「チフス」976, 1092  
「クロモプロテイド」(Chromoproteid) 1064  
「クロモゲン」(Chromogen) 937  
「クリンファン」酸(Chrysophansäure) 1028, 1100  
中毒性尿毒症 1162  
中性硫黄 980  
中性硫黄ノ測定法 985  
中性磷酸「カルシウム」1122  
「コンゴロート」(Congorot) 998  
「コバイヴァバルサム」(Copaivabalsam) 1101  
「コプロポルフィリン」Coproporphyrin 1084  
コーペル氏腺(Cowpersche Drüsen) 1188, 1190  
「チスチン」(Cystin) 1063  
「チスチン」尿症(Cystinurie) 986, 1063

D

大腸菌感染 1168  
第一磷酸鹽 988  
第二磷酸鹽 988

大黃 939, 1028, 1100  
第三磷酸鹽 988  
男子生殖器ノ検査法 1188  
デッケル氏(Decker) 1064  
Denigés 氏尿中「ビリルビン」証明法 1086  
電位法 945  
デニス氏硫黄試薬(Denis) 985  
電気治療 1002  
澱粉 1044  
澱粉液(1%) 962  
「ドイテロアルブモーゼ」(Deuteroalbumose) 1072  
「デキストローゼ」(Dextrose) 948  
次亞硫酸 986  
次亞硫酸曹達ニヨル腎機能検査法 1152  
「ジアスターゼ」(Diastase) 1090  
「ジアスターゼ」(尿中)検出法 1091  
「デアツォ」反應 1092  
「デアツォペンツォスルフォン」酸 1093  
「ヂメチール、パラアミノ、ペンツアルデヒッド」(Dimethylparaaminobenzaldehyd) 1082  
「デオキシプリン」1016  
「ヂフテリー」1092, 1118  
「ヂストマ」1073  
「ヂチソン」(Dithizon) 1096  
Dixanthylurea 1005  
導液管(Vorstoss) 999  
銅加里(硫酸銅加里) 998  
ドンネ氏膿球試験法(Eiterprobe nach Donné) 947, 1109  
動脈硬化症 937  
Durand 氏尿中「ジアスターゼ」証明法 1091  
「ヂスウリー」(Dysurie) 1186  
d-乳酸(肉乳酸) 1061

E

「エヒノコックス」1118  
エールリッヒ氏「アルデヒッド」反應(Ehrlichs Aldehydreaction) 1082  
エールリッヒ氏「デアツォ」反應(Ehrlichs Diazoreaction) 1092  
エールリッヒ(プレッヂェル)氏尿中「ビリルビン」証明法 1087  
アインホルン氏糖定量法(Einhorn) 1031  
エルリンゲル氏(A. Ellinger) 1052  
圓柱標體(Zylinderoide) 1116  
鹽化「カリウム」959  
鹽化「ナトリウム」959  
鹽酸(局方) 961  
鹽素 976  
鹽素(尿中)ノ証明法 977  
鹽素(尿中)ノ定量法 977  
圓底「コルベン」998  
「エビクアニン」1019  
エッピンゲル氏(Eppinger) 937  
エルレンマイエル「コルベン」(Erlenmeyer-Kolben) 999  
エスバハ氏試薬 1068  
エスバハ氏蛋白計(Esbachs Albuminimeter) 1069  
「オイストロンギールス、ギーガス」(Eustrongylus gigas) 1120

F

フェーリング氏液(Fehling) 1032  
フェーリング氏糖証明法 1026  
フェーリング氏糖定量法 1032  
フェントソ、シッソン氏「フォルムアルデヒッド」証明法(Fenton u. Sisson) 1060  
「フェロピリン」(Ferropyrin) 1098

「フィブリン」(纖維素)(Fibrin) 1071  
 「フィブリノーゲン」(Fibrinogen) 1071  
 「フィブリン」尿(Fibrinurie) 1071  
 フィッケンチェル氏(Fikentscher) 1084  
 フィッケンチェル及フランケ氏 (Fikentscher u. Franke) 1085  
 「フィラリア」(Filaria sanguinis hominis) 1073, 1118  
 「フィラリア」病(Filariasis) 1061  
 フォーリン氏(Folin) 945  
 フォーリン氏尿中「クレアチン」定量法(加壓加熱法) 1012  
 フォーリン氏尿中「クレアチニン」定量法 1010  
 フォーリン、ベル氏尿中「アンモニア」定量法 968  
 フォーリン、ドアシー氏「ピクリン」酸精製法(Folin-Doisy) 1011  
 フォーリン、ウー氏血中「クレアチニン」定量法(Folin-Wu) 1143  
 フォーリン、ウー氏血中殘餘窒素測定法 1136  
 「フォリクリン」(Folliculin) 1102  
 「フォルムアルデヒド」(Formaldehyd) 1060  
 「フランガラ」 939  
 腐敗性肋膜炎 1049  
 不純物(尿中ニ現ハルヽ) 1121  
 弗化水素(Fluorwasserstoff) 979  
 複合蛋白質 1064  
 副峯丸炎 1192  
 腹膜炎 1049  
 浮腫 1161  
 浮腫疾患(腎疾患以外ノ) 1175

G

外因性尿酸 1017

外傷 1073  
 「ガラクトーゼ」(Galaktose) 1022, 1041, 1043  
 癌 949, 1052, 1083, 1174  
 含水炭素(Kohlenhydrate) 1021  
 含水炭素鑑別表 1045  
 ガロード氏(A. E. Garrod) 1079  
 芽生菌 1120  
 瓦斯(尿中ノ) 995  
 瓦斯分析法 958  
 月經分泌物 1194  
 ゲルハルト氏反應(Gerhardt-sche Eisenchloridreaktion) (「アセト」醋酸ノ證明) 1056  
 下痢 935, 1082  
 ジードス氏(Giedosz) 1103  
 ギムサ氏「ヒニン」證明法(Giemsa) 1100  
 蟻酸(Ameisensäure) 1060  
 「グロビン」(Globin) 1074  
 「グロブリン」(Globulin) 1064  
 「グリコプロテイド」(Glukoproteid) 1064  
 「グルテリン」(Glutelin) 1064  
 「グリセロ」磷酸 988, 1090  
 「グリセロ」磷酸「カルシウム」970  
 「グリココル」(Glycocoll) 1062, 1085  
 「グリコーゲン」(Glycogen) 1021, 1044  
 「グリコゲン」反應(Glycogen-reaktion) 1110  
 Glykochol, Taurocholsäure 1087  
 「グリクロン」酸(Glykuronsäure) 948, 1020  
 グメリン氏反應(Gmelin) 1086  
 グメリン氏反應ノローゼンバツハ氏變法(Rosenbach) 1086  
 ゴンネルマン氏(M. Gonnermann) 993

Gooch 氏坩堝 983  
 五炭糖(Pentosen) 1041  
 Griesssche Azoreaktion(硝酸ノ檢出) 994  
 グランベール氏(Grimbert) 1081  
 グンツァイドレン及ムンク氏 (R. Gscheidlen u. J. Munk) 986  
 「グワヤック」反應 1110  
 「グワヤック」青(Guajacblau) 1075  
 「グワヤコール」 940, 1020  
 「グワニン」 1016  
 ギューニング氏沃度「フェルム」試験法(Guning)「アセトン」ノ證明) 1058  
 グートツァイト氏反應(Gutzeit) (砒素ノ證明) 1094  
 偶在成分(尿中ノ) 956, 1094

H

「ヘマトホルフィリン」(Haematoporphyrin) 1084  
 肺炎 938, 1017, 1072, 1081, 1168  
 肺壞疽 1049, 1072  
 肺結核 1080, 1166  
 敗血症 1081  
 ヘーン氏液 1026  
 ヘーン氏尿糖證明法 (Haine; Hayne) 1026  
 肺膿瘍 1072  
 排尿減數(Oligakurie) 937  
 排尿頻數(Pollakiurie) 937, 1186  
 排尿回數減少症(Olygurie) 1187  
 排尿困難症(Dysurie) 937  
 配糖體 1020  
 發汗 935, 1080  
 白血病 944, 1017  
 白血球(尿中ノ) 1109, 1112  
 白血球圓柱(Cylindres purulents;

Leukozytenzylinder) 1115  
 白血球(尿中)ノ磷酸土類トノ鑑別法 1110  
 醱酵ニヨル尿糖ノ定量法 1030  
 醱酵尿(「アルカリ」性) 944  
 醱酵試験(尿糖ノ證明) 1028  
 白色萎縮腎 1167  
 白帶下 1111  
 ハンマーステン氏尿成分一覽表 (Hammarsten) 954  
 「ヘモグロビン」尿(血色素尿) 1081  
 半球匙 999  
 反應(尿ノ) 943  
 ハンス、フィッセル氏(Hans-Fischer) 1084  
 反射性無尿症 1174  
 ハートナー氏「ロダニ」水素檢出法(Hartner) 987  
 ヘーセル氏係數(Häser) 943  
 發疹「チフス」 1080, 1168  
 ヘディンゲル及シライエル氏試驗食(Probemahlzeit von Hedinger u. Schlayer) 1132  
 「ヘーフェ」細胞(Hefezellen) 1120  
 ハイルマイヤー氏(Heilmeyer) 941  
 ヘルレル氏反應(Heller)(尿中血色素ノ證明) 1074  
 ヘルレル氏尿中蛋白證明法 1067  
 「ヘマトイチン」 1122  
 偏光檢糖器 1037  
 扁平上皮細胞 1111  
 變性腎臟疾患 1113  
 扁桃腺炎 1168  
 「ヘルニア」 1191  
 ヘルテル氏(C. A. Herter) 1052  
 「ヘテロアルブモーズ」(Heteroalbumose) 1072  
 「ヘテロクサンチン」

(Heteroxanthin) 1019  
 ヘヴェシー及ホーフェル氏 (v. Hevesy u. Hofer) 952  
 皮膚病 980  
 肥腫病 1023  
 比重(尿ノ) 941  
 比重計 942  
 比重(尿ノ)測定法 942  
 砒化水素中毒 938  
 貧血 938, 980  
 ヒンズベルグ、キーセ氏砒素證明法(Hinsberg u. Kiese) 1095  
 比色法 958  
 比色計ヲ用フル場合ノ注意 975  
 砒素(尿中ノ) 1094  
 砒素ノ證明法 1094  
 砒素中毒 936  
 「ヒスチジン」(Histidin) 1062  
 「ヒストン」Histon 1064  
 ホブマン氏(W. Hoffmann) 1102  
 保護膠質(Schutzkolloid) 948  
 保護試驗食 (Schutzprobemahlzeit) 1135  
 「ホモゲンチジン」酸 (Homogencidinsäure) 1053  
 抱合性「グリクロン」酸 948, 1020  
 芳香性「オキシ」酸(aromatische Oxysäuren) 1053  
 ホフキンズ、フレッチャー氏乳酸證明法(F. G. Hopkins W. M. Fletcher) 1062  
 「ホルモン」 1102  
 發作性血色素尿(寒冷血色素尿)(Haemoglobinuria e frigore) 1074  
 抱水「クローラル」 1099  
 フッベルト氏尿中「ビリルビン」證明法(Huppert) 1086  
 「ハイドロキノ」 1020, 1098  
 「ハイドロキノ」液 974

表面張力(尿ノ) 949  
 「ヒベルアツトロー」 (Hyperazoturie) 1002  
 「ヒベルネフローム」 (Hypernephrom) 1174  
 「ヒベルステヌリー」 (Hypersthenurie) 950, 1134  
 「ハイボ」 962  
 「ヒポアツトロー」 (Hypoazoturie) 1002  
 「ヒポステヌリー」 (Hyposthenarie) 950, 1134  
 「ヒポキサンチン」 (Hypoxanthin) 1016, 1019  
 「ヒステリー」 936, 938, 1041

I

一時性糖尿 1023  
 一松氏蛋白計 1070  
 胃液分泌過剰 990  
 胃癌 944, 1052, 1083  
 異常病的成分(尿ノ) 956  
 一過性蛋白尿 1065  
 「イレウス」 1049  
 「イルン」(Ilun) 1146  
 「インヂゴ」(Indigo) 939  
 「インヂゴカルミン」試験法(腎機能檢査) 1158  
 「インヂゴロート」(「インヂルビン」)(Indigorot; Indirubin) 1051, 1083  
 「インヂゴ」青(「インヂゴチン」)(Indigoblau; Indigotin) 1049  
 「インヂゴ」硫酸「カルミン」試験法 1151  
 「インヂカン」(尿中ノ)(Indikan) 939, 1048  
 「インヂカン」(尿中ノ)證明法 1050  
 「インヂカン」(血中)ノ證明法



1141  
「インヂカン」(尿中)ノ定量法 1051  
「インヂカン」(血中)ノ定量法 1141  
「インヂカン」尿(Indikanurie) 939  
「インドール」(Indol) 1020, 1048  
「インドール、アミノプロピオン」酸 1048  
「インドール」醋酸 1052  
「インドキシール」(Indoxyl) 1048  
「インドキシール」硫酸「カリウム」 1048  
「インフルエンザ」 1081  
陰莖 1188  
陰囊 1191  
陰囊内容ノ検査 1191  
「イノザット」 1044  
硫黄(尿中ノ) 980  
萎黄病 1083  
胃酸過多症 990  
遺精(Pollution) 1193  
胃性磷酸鹽尿(gastrogene Phosphaturie) 990  
萎縮腎 936, 938, 1050, 1065, 1113  
萎縮腎ノ鑑別 1171  
「イスチチン」 939  
一糖類(Monosaccharide) 1021

J

ヤグシュ氏(v. Jaksch) 1057  
ヤグシュ氏尿中「メラニン」證明法 1088  
ヤッフエ氏(M. Jaffé) 1081  
ヤッフエ氏尿中「インヂカン」證明法 1050  
若年性磷酸鹽尿症(juvenile Phosphaturie) 990  
若年性蛋白尿 1066  
ヤンセン氏「チオクローム」法

(Jansensche Thiochromethode) (尿中「ビタミン」ノ證明) 1104  
腎石 1073, 1124, 1174  
腎盂炎 936, 938, 1072, 1173  
腎盂ヨリノ出血 1109  
腎盂腎臓炎 1173, 1185  
腎臓 1128  
腎臓ノ濁音 1130  
腎臓ノ打診 1130  
腎臓ノ機能 1131  
腎臓ノ「レントゲン」検査 1130  
腎臓ノ視診 1128  
腎臓ノ觸診 1129  
腎臓ヨリノ出血 1109  
腎臓微毒 1065  
腎臓炎 941, 970, 1050, 1073, 1083, 1096, 1113, 1115  
人造沸石(Parmutite) 968  
腎臓上皮細胞 1112  
腎臓結核 1065, 1073  
腎臓血栓 1073, 1074  
腎臓機能不全 941  
腎臓機能検査 1131  
腎臓機能検査法  
沃度加里ノ排泄ニヨル 1148  
血液ノ尿素清浄量ニヨル 1154  
尿道「カテーテル」ニヨル 1157  
尿素ノ排泄ニヨル 1135  
乳糖ノ排泄ニヨル 1148  
試験食ニヨル 1134  
身體異物若ハ色素ニヨル 1148  
身體固有物質ノ排泄ニヨル 1131  
食鹽ニヨル 1131  
腎臓機能検査ノ應用 1158  
腎臓機能障碍 966  
腎臓硬化症 1171  
腎臓膿水腫 1174  
腎臓膿瘍 1061

腎臓性蛋白尿 1113  
腎臓性糖尿 1023  
腎臓疾患 989, 1002, 1065, 1113  
腎臓疾患ノ便覽 1172  
腎臓疾患ノ診断 1164  
腎臓疾患ノ症状 1158  
腎臓疾患ノ類症鑑別模型 (Volhard 氏ニ據ル) 1163  
腎臓疾患ノ隨伴現象 1161  
腎臓疾患ニ於ケル血液検査 1160  
腎臓周圍炎 1174  
腎臓腫瘍 1074, 1130, 1174  
腎臓水腫 941, 1130, 1174  
磁製濾過坩堝(Porzellan-Filtertigel) 982  
持續性蛋白尿 1065  
持續性糖尿 1023  
沃度(尿中ノ) 1097  
沃度ノ證明法 1097  
ジュレス氏血中「インヂカン」證明法(Jolles) 1141  
常壓加熱法(「クレアチン」ノ定量) 1013  
上皮圓柱(Cylindres épithélieux) 1115  
上皮細胞(尿中ノ)(Epithelien) 946, 1111  
蒸氣浴 1002  
上行性腎臓疾患 1164, 1173  
蒸餾管(Distillierhor) 999  
女子生殖器ノ検査法 1194  
循環障碍 1170  
重「クロム」酸規準液(「クレアチニン」ノ定量) 1012  
住血吸蟲(Schistosomum haematobium) 1118  
重量分析 958  
重水(尿ニ於ケル) 951

K

加壓加熱法(「クレアチン」ノ定量) 1012  
「カフェイン」 1002  
化學的検査(尿ノ) 958  
化學的組成(尿ノ) 953  
灰分(尿ノ) 952  
灰分排泄ノ多キ病 952  
灰分排泄ノ少キ病 952  
灰化法 963  
壞血病 1081  
同歸熱 1168  
潰瘍性胃腸癌腫 1049  
脚氣衝心 1117  
下行性腎臓疾患 1164  
核酸 948, 988, 1046  
核酸鹽基 1016  
核酸蛋白 1046  
「カリウム」(尿中) 959  
「カリウム」ノ證明法 960  
「カリウム」ノ定量法 963  
「カリクライン」(Kallikrein) 1103  
過満飽食加里(「 $\frac{n}{100}$ 」) 964  
「カンフル」 1020  
上條氏尿中尿素簡易定量法 1007  
上條氏血液尿素簡易定量法 1157  
肝「チストマ」症 1085  
還元物質(尿ノ) 1046  
還元試験ニヨル果糖定量法 1041  
桿菌(尿中ノ) 1120  
肝硬變 1023, 1081  
化膿 1166  
化膿性「アルブモセ」尿 (pyogene Albumosurie) 1072  
化膿性膀胱炎 1072  
化膿性疾患 938  
關節「レウマチス」 1168  
間質性腎臓炎 1170  
緩衝液 1003

乾燥吸濕器(Exsiccator) 951  
乾燥食試験 1133  
肝鬱血 1081  
肝臓微毒 1085  
肝臓癌 1061, 1085  
肝臓機能試験 1040  
肝臓疾患 1009, 1040, 1078  
Kapillarmanometer(Czapek 氏) 949  
「カプリルアルコール」 (Kaprylalkohl) 967  
「カラメル」(Karamel) 1028  
カルラー及クブリー氏(Karrer u. Kubuli) 1104  
顆粒狀圓柱(Cylindres granuleux) 1114  
苛性加里液(10%) 961  
苛性曹達(「 $\frac{n}{50}$ 」) 966  
假性(附隨性)蛋白尿 1065  
滑石粉(Talcum) 998  
價數(Valenzahl) 950  
加答兒性分泌物(女子生殖器ノ) 1195  
「カテーテル」 1181  
「カテーテル」挿入(Katheterismus) 1179, 1181  
果糖(Fructose) 948, 1022, 1040  
果糖ノ證明法ニ定量法 1040  
果糖尿(Laevulosurie) 1040  
痙攣性多尿(Urina spastica) 936  
硅酸 993  
結核 949, 970, 1109, 1168  
血管硬化症 1023  
血行 943  
血球圓柱(Cylindres hématiques; Blutkörperchenzylinder) 1115  
顯微鏡的検査(尿ノ) 1107  
絹絲性「カテーテル」(消息子) 1181  
結氷點測定(尿ノ) 950  
結石 1109

血栓性局所性腎炎 1170  
血色素(Haemoglobin) 938, 1073  
血色素(尿中)ノ證明法 1074  
血色素尿(Haemoglobinurie) 1166, 1073  
「ケトンヘキソセ」 (Ketonhexose) 1022  
「ケトン」尿(Ketonurie) 1054  
「ケトン」症(Ketosis) 1056  
「ケトン」體 966  
血壓亢進 1161  
血壓亢進性慢性腎臓炎(Nephritis chronica hypertonica) 1169  
血液(尿中ノ) 939, 946, 1073  
血尿(Hämaturie) 949, 1071, 1073, 1108  
血尿酸尿 1061  
血友病 1109  
揮發性脂酸 1052, 1060  
揮發性脂酸ノ證明法 1060  
奇異尿閉(Ischuria paradoxa) 1187  
筋肉ノ萎縮性疾患 1009  
氣尿(Pneumaturie) 947, 1024  
金屬毒検査(尿ノ) 958  
起立性蛋白尿(ortstatische Albuminurie) 1066  
寄生蟲(尿中ノ) 1118  
キエルダール氏尿酸測定法 (Kjeldahl) 997  
キエルダール氏蒸餾装置 999  
クリモフ氏尿中血色素證明法 (Klimoff) 1075  
琥珀酸 1015  
固形分及ビ水分(尿ノ) 951  
Komparastor 945  
潤濁(尿ノ) 946  
昏睡圓柱 1116  
甲状腺製劑 1023  
硬固「カテーテル」(消息子) 1182

高熱 1055, 1060  
 鏡酸 944  
 膠質性(尿ノ)(Kolloid) 948  
 鏡質成分 952  
 酵素(「エンチーム」)(Fermente; Enzyme) 1090  
 コラニー、ルスニヤック氏尿中鹽素定量法(Korany-Rusznayák) 977  
 コシラ氏(W. Koschara) 1089  
 糊性(尿ノ) 1021  
 骨折 1061  
 クラメル氏(H. Kramer) 938  
 クラマー、ティスダール氏「カリウム」定量法(Kramer-Tisdall) 963  
 「クレアチン」 1009  
 「クレアチン」(尿中)ノ定量法 1012  
 「クレアチニン」 1009  
 「クレアチニン」(尿中)ノ定量法 1010  
 「クレアチニン」(血中)ノ検査法 1143  
 「クレアチニン」規準液 1011  
 「クレアチニン」稀釋規準液 1144  
 「クレゾール」 1020  
 クローンベルグ氏反應(Kronberger) 1080  
 クルーゲル及ザロモン氏(M. Krüger u. G. Salomon) 1019  
 枸橼酸血漿(Citratplasma) 1143  
 キュルツ氏圓柱(Külzsche Zylinder) 1116  
 隈川、須藤氏糖定量裝置 1035  
 クルテナッケル及フリッチュ氏(Kurtenacker u. Fritsch) 986  
 尙雙病 989  
 局所性腎臟炎 1169

局所性絲體體腎炎 1170  
 狹心症 1171  
 球菌(尿中ノ) 1120  
 吸光係數(Extinktions-koeffizienz) 941  
 急性膀胱炎 1184  
 急性傳染病 989, 1065  
 急性肺炎 976  
 急性腎臟炎 936, 1113  
 急性腎臟水腫 1175  
 急性熱性疾患 1002  
 急性黄色肝萎縮 1002, 1023, 1062, 1085  
 急性淋毒性副率丸炎 1191  
 急性絲體體腎炎 935, 1113  
 急性絲體體腎炎ニ於ケル尿沈渣 1167

L

ランプリング氏(Lambling) 996  
 ラング氏「ロダシ」水素檢出法(Lang) 987  
 ラベソン氏(H. Laveson) 1022  
 レガール氏尿中「アセトン」證明法(Legal) 1058  
 Lépins Koeffizienz 989  
 「レチチン」 988  
 「ロイチン」 1002, 1062  
 リーベン氏沃度「フェルム」試驗法(「アセトン」ノ證明) 1058  
 「リパーゼ」(Lipase) 1090  
 「リポイド」(類脂肪體) 1112  
 リットレー氏腺ノ疾患(Littrésche Drüsen) 1189  
 ロックマン氏(G. Lockemann) 1094  
 ローンスタイン氏(T. H. Lohnstein) 1022  
 ローンスタイン氏檢糖器(Präzisions-saccharometer von

Lohnstein) 1032  
 ローナー及ミハエリス氏血中殘餘窒素測定法 1136  
 ルーテル氏(v. Luther) 1021  
 「リオクローム」(Lyochrome) 1089  
 「リゾール」(Lysol) 1048  
 「エル、メチルクサンチン」(l-Methylxanthin) 1019  
 l-乳酸 1061

M

マックイントッシュ、メラ、ワン・スライク氏(McIntosh-Möller van Slyke) 1154  
 マクレオド及ハスキンス氏「カルバミン」酸測定法(J. J. R. Macleod & H. D. Haskins) 1001  
 「マグネシウム」(尿中ノ) 970  
 「マグネシウム」ノ證明法 971  
 「マグネシウム」ノ定量法 973  
 「マグネシウム」規準液 974  
 メラール及ブーマー氏(Maillard u. Bouma) 1083  
 「マリア」 1074, 1081, 1168  
 慢性膀胱炎 1184  
 慢性腎臟炎 935, 938, 942, 1111, 1169  
 慢性腎臟炎ニ於ケル尿沈渣 1169  
 慢性腎臟疾患 1060, 1114  
 慢性化膿性疾患 1080  
 慢性「ロイマチス」 989  
 慢性水腫性腎臟炎 1169  
 慢性特發性「ネフローゼ」 1166  
 マルシ氏砒素定量裝置(Marsh) 1095  
 マルチニ、ボンシニオーレ氏尿中「アスコルビン」酸證明法(Martini-Bonsignore) 1105

麻疹 1168  
 メーリング氏(Mehring) 1151  
 Méhus Koeffizienz 952  
 「メラニン」(Melanin) 939, 1088  
 「メラノゲン」(Melanogen) 1088  
 「メラノーム」腫(Melanom) 939  
 綿馬根(Aspidium filix mas) 940  
 「メントール」 1020  
 メッシンゲル、フッペルト氏尿中「アセトン」定量法(Messinger-Huppert) 1059  
 「メトヘモグロビン」(Methaemoglobin) 939, 1073  
 「メチレン」青 940  
 「メチルインドール」(Methylindol) 1051  
 「メチルメルカプタン」 987  
 「メチルオレンヂ」 998  
 Michaelis 氏瓦斯「クッテ」 945  
 「ミクロコックス、ウレエ」(Micrococcus urae) 1120  
 Miháلكovics 氏ノ尿中「チアスターゼ」證明法 1091  
 「ミクロブレナー」(Mikrobrenner) 1034  
 Mislowitzer 氏 Potentiometer 945  
 水試験 1133  
 メルネル氏(K. A. H. Moerner) 1046  
 盲腸周圍炎 1049  
 モーレ氏糖證明法 1028  
 「モリブデン」酸試薬(Molybdän-säure) 974  
 モナコー氏尿中沃度證明法(Monakow) 1148  
 「モルヒン」 1020  
 「ムチン」(粘液素)(Mucin) 1021, 1071  
 「ムコイド」(Mucoid) 1021

無機物質ヨリ成ル尿管柱 1116  
 無機硫酸 980  
 無機硫酸ノ測定法 981, 983  
 無機成分(尿ノ) 959  
 無機性尿沈渣 1121  
 無機性磷(尿中)ノ定量法 990  
 ムンク氏尿中「ピリルビン」證明法 1086  
 無尿症(Anurie) 935  
 「ムレキシッド」反應(Murexidreaktion) 1125  
 無水砒酸 1017

N

内因性尿酸 1017  
 中山氏尿「ピリルビン」證明法(ハンマーステンノ變法) 1086  
 鉛(尿中ノ) 1095  
 鉛ノ證明法 1095  
 鉛中毒 1084  
 「ナフタリン」 940, 1099  
 「ナフトール」 1020  
 「ナトリウム」 959  
 「ナトリウム」(尿中)ノ證明法 960  
 「ナトリウム」ノ定量法 960  
 「ナトリウム、クロール」比(Natrium-Chlor-Quotient) 977  
 ナウニン氏ノ尿中糖分推定標準(Naunyn) 1024  
 Nekrospermie 1193  
 ネラトン氏「カテーテル」(Nélaton) 1181  
 ネンツキー及ジーベル氏(M. Nencki u. N. Sieber) 1083  
 粘液物質(Mucinsubstanz) 946  
 粘液圓柱 1116  
 「ネフローゼ」 935, 936, 1065, 1113  
 「ネフロチフス」 1168  
 熱發 970, 986, 989

ネスラー氏試薬(Nessler) 969, 1136  
 熱性病 938, 980, 1009, 1017, 1023, 1081, 1113  
 熱溶蛋白質(Albumine thermosolythique) 1071  
 ノイバウエル氏尿中「クレアチニン」検査法 1146  
 「ノイローゼ」 1023  
 ノェワイレル氏(Neuweiler) 1105  
 二次性萎縮腎 1113  
 肉尿酸(Fleischmilchsäure) 1061  
 肉糖(Inosit) 956  
 妊娠 970, 1061, 1166  
 二糖類(Disaccharide) 1043  
 「ニトロプルシッドナトリウム」(Nitroprussidnatrium) 1058  
 「ニトロジール」硫酸(Nitrosylschwefelsäure) 997  
 ニッツェ氏膀胱鏡(Nitzes Cystoskop) 1178  
 腦壓迫 1023  
 腦溢血 1065, 1171  
 腦ノ外傷 1023  
 膿球(尿中ノ) 946, 1109  
 腦膜炎 989  
 腦疾患 1023  
 腦震盪 1065  
 濃硝酸 978  
 濃縮試驗 1133  
 腦水腫性(「エクランブシー」型)尿毒症 1162  
 膿瘍 1049  
 Normostenurie 1134  
 「ヌクレイン」酸 948  
 「ヌクレオプロテイド」(Nucleoproteid) 1064  
 ニーランド氏尿糖證明法 1027  
 尿 933  
 尿ノ異常色 938

尿ノ一般物理的化學的性狀 935  
 尿ノ粘稠度 948  
 尿ノ組成 953  
 尿ノ組成(本邦人ノ) 955  
 尿「チルコモナス」  
 (Cercomonas urinalius) 1119  
 尿著色 939  
 尿蓄積 941  
 尿沈渣 1107  
 尿沈渣ノ持續標本 1107  
 尿沈渣ノ検査法 1107  
 尿沈渣ノ區別 1123  
 尿沈渣ノ染色 1107  
 尿沈渣中ノ顆粒狀破壞物質 1117  
 尿窒素 996  
 尿窒素ノ測定法 997  
 尿中結晶ノ溶不溶(酸又ハ「アルカリ」ニヨル) 1124  
 尿毒症 1162  
 尿道 1188  
 尿道ノ出血 1109  
 尿道炎 1073, 1118, 1188  
 尿道鏡 1189  
 尿道狹窄症 1189  
 尿道絲(尿管絲/Urethralfaden; Harnfilamente) 1117  
 尿管柱(圓壺)(Harnzylinder; Cylindres urinaires) 1113  
 尿管柱生成ノ病理 1117  
 尿管閉(Ischurie) 1187  
 尿管崩症 936, 937, 938, 941, 942  
 尿管検査ノ意義 933  
 尿管ノ上皮細胞 1112  
 尿管量 935  
 尿管減少(Olygurie) 935  
 尿管砂(Hernsand) 1124  
 尿管酸 1016, 1121  
 尿管酸(尿中)ノ證明法 1017  
 尿管酸ノ定量法 1017  
 尿管酸「アンモニウム」 1123

尿管酸鹽圓柱 1116  
 尿管酸標準液 1018  
 尿管酸曹達 1121  
 尿管石 1124  
 尿管石ノ検査 1124  
 尿管石ノ性質 1124  
 尿管色素 937, 1078  
 尿管色 937  
 尿管色ノ測定 940  
 尿管素 1001  
 尿管素(尿中)ノ定量法 1003  
 尿管素(血中)ノ定量法 1155  
 尿管糜尿 Chylurie) 938, 1061, 1118  
 尿管酸(Acid. lacticum) 1061  
 尿管酸石灰 970  
 尿管糖(Lakto-e) 948, 1043  
 尿管糖ノ検査法 1043  
 尿管糖ノ定量法 1044

**O**

オーベルマイエル氏尿中「インヂカン」證明法 1050  
 オーベルマイエル氏試薬(Obermayer) 1050  
 Olygurie mit Hypostenurie 936  
 Olygurie mit Normostenurie 936  
 黄疽 938, 949, 1113, 1116  
 嘔吐 935, 1055  
 嘔吐(妊婦ノ) 966  
 横臥性蛋白尿(clino-tatische Albuminurie) 1066  
 黄色肝萎縮 989, 1061  
 オット氏(F. Ott) 988  
 「オルチン」 1020  
 「オキシプリン」 1016  
 「オキシプロテイン」 949  
 「オキシプロテイン」酸ノ定量法 985

P

「パピローム」 1186  
 「パラチフス」 1080, 1092, 1168  
 「パラキササンチン」(Paraxanthin) 1019  
 「パームチット」(Parmutite)(尿中「アンモニア」比色定量用) 968  
 Pavy, 隈川、須藤氏尿管定量法 1033  
 ペビー、隈川、百瀬ノ改良法(糖ノ定量) 1037  
 「ペントーゼ」類(Pentosen) 956  
 「ペントーゼ」(五炭糖)ノ證明法 1042  
 「ペントーゼ」ノ定量法 1042  
 「ペントーゼ」尿(Pentosurie) 1041  
 ペンゾルト氏(Penzoldt) 957  
 「ペプシン」(Pepsin) 1090  
 「ペプトン」 949, 1071  
 「ペプトン」尿(Peptonurie) 1072  
 「ペルヒドロール」 993  
 ペッテンコーフル氏尿中「ピルビン」證明法(Pettenkofer) 1088  
 「フェナセチン」 1098  
 「フェナセチル」酸(Phenacetursäure) 1053  
 「フェノール」(石炭酸)(Phenol) 940, 1047  
 「フェノール」(尿中)ノ證明法 1048  
 「フェノールフタレイン」 940, 1101  
 「フェノールフタレイン」試験法(尿中血色素ノ證明) 1076  
 「フェノールズルホンフタレイン」検査法(腎臓機能検査) 1149  
 「フェニールアラビノザツオン」 1030

「フェニールガラクトザツオン」 1030  
 「フェニールグリコザツオン」 1029, 1030  
 「フェニールヒドラチン」(Phenylhydrazin) 1041  
 「フェニールヒドラチン」結晶 1030  
 「フェニールヒドラチン」試験法(尿管糖ノ證明) 1029  
 「フェニールラクトザツオン」 1030, 1044  
 「フェニールマルトザツオン」 1030  
 「フェニールキシロザツオン」 1030  
 「フロリチン」(Phloridzin) 1023  
 「フロリチン」試験法 Phloridzin-probe(腎臓機能検査) 1151  
 「フロリチン」糖尿(Phloridzinglykosurie) 1023  
 「フェスフオプロテイド」(Phosphoprotein) 1064  
 「ピクリン」酸飽和水溶液 1010  
 Pöhls Koeffizient in der Blutalkalies-cenz 989  
 ボンス氏(Ch. Pons) 1046  
 「ポルフィリン」(Porphyrin) 1084  
 「ポルフィリン」尿(Porphyrinurie) 938  
 「ポルフィリン」尿症(先天性)(Porphyrinuria congenita) 1084  
 ボスネル氏(C. Posner) 948  
 「プロラミン」(Prolamin) 1064  
 「プロラン」(Prolan) 1102  
 「プロントジール」 939  
 「プロタミン」(Protamin) 1064  
 「プロテイン」酸(Proteinsäure) 956  
 「プロトアルブモーゼ」(Protoalbumose) 1072  
 「プソイドグロブリン」 1046

「プルゲン」(Purgen) 1101  
 「プリン」 1016  
 「プリン」鹽基 1016  
 「プリン」體(Purum uricum) 1016  
 「ピオチアネウス」菌(B. Pyocyanus) 939  
 「ピラミドン」 1098  
 「ピロガロール」 940

Q

ケンセル氏尿管沈渣染色法(Quensel) 1107

R

酪酸(Buttersäure) 1060  
 ラウール、バイユ氏(Ravul-Bayeux) 1090  
 Refraktometer 1148  
 連鎖状球菌感染 1168  
 「レゾルチン」 940, 1020  
 「ロイマチス」 980, 1080  
 「ロダン」水素 986  
 「ロダン」水素 尿中ノ検出法 987  
 「ロダン」鹽( $\frac{n}{10}$ ) 978  
 磷中毒 1002, 1060, 1062  
 磷「モリブデン」酸試薬 1138  
 磷酸 988  
 磷酸(尿中)ノ證明法 990  
 磷酸ノ定量法 990  
 磷酸「アルカリ」 943  
 磷酸「アルカリ」土類 1122  
 磷酸「アンモン」(5%) 973  
 磷酸「アンモニウム」マクネシア 1123  
 磷酸鹽 944  
 磷酸「カリウム」 959  
 磷酸標準液 991  
 磷酸「マグネシウム」 1122  
 磷酸尿症(Phosphaturie) 989  
 淋絲(Tripperfaden) 1118  
 ロバーツ氏尿管定量法(Roberts) 1031

Robins Koeffizient 1002  
 六炭糖(Hexosen) 1021  
 適性亞硫酸曹達 974  
 ローゼンバハ氏(Rosenbach) 1083  
 ローゼンバハ氏尿中「ピリルビン」證明法 1086  
 Rosenbachsche Reaktion 1051  
 ロージン氏(Rosin) 1083  
 ロージン氏沃度丁幾法(「ピリルビン」ノ證明) 1087  
 ルエル氏(Rouelle) 1001  
 ローンツリー、ジェラティール氏「フェノールズルホンフタレイン」試験法(Rowntree-Geraghty) 1149  
 蠟燭圓柱(Wachszylinder) 1114  
 ルブネル氏尿管檢出法(Rubner) 1043  
 ルソー氏「メチルグリューン」反應(Russo) 1080  
 兩性反應(amphoter) 943  
 硫化水素 987  
 硫化水素(尿中)ノ検出法 988  
 硫化水素尿 1185  
 硫酸 980  
 硫酸(尿中)ノ測定法 981  
 硫酸「アンモン」標準液 968  
 硫酸「カルシウム」 1123  
 硫酸銅加里 998  
 硫酸磷酸混合液 1136

**S**

「サッカロメーター」(Saccharometer) 1038  
 細菌(尿中)ノ 1118  
 細菌尿(Bakteriurie) 1185  
 細菌性濁濁(尿ノ) 947  
 細菌性磷酸尿(bacterielle)

Phosphaturie) 989  
 ザイエ氏(Saillet) 1081  
 細尿管型腎臓疾患ト血管型(絲襪  
 體型)腎臓疾患トノ鑑別 1159  
 醋酸 1060  
 醋酸黄色血滴鹽試驗(Ferricyan-  
 kali-Essigsäureprobe)(尿蛋白  
 ノ證明) 1068  
 ザルコウスキー氏(Salkowski)  
 959, 1052  
 ザルコウスキー氏尿「ピリルピ  
 ン」證明法 1086  
 Salkowski-Mac Lean 氏修酸定  
 量法 1015  
 「ザロール」 940  
 「サルプルサン」中毒 1166  
 「サリチール」酸 938, 1098  
 酸度(尿ノ) 945  
 酸化「ヘモグロビン」 1073  
 酸性膀胱加答兒ノ尿沈渣 1184  
 酸性反應(尿ノ) 943  
 酸性尿 988  
 酸性尿ノ無機性沈渣 1121  
 三臭素「フェノール」 1048  
 酸素缺乏症 1061  
 「サントニン」 939, 1100  
 「ザルチーナ」 1120  
 左旋性「リボセ」(l-Ribose) 1042  
 シレージンゲル氏尿「ウロピリ  
 ン」證明法(Schlesinger) 1082  
 シレージンゲル氏試薬 1082  
 シュミット氏(A. Schmidt) 995  
 シュミット、ヘンシュ氏半影檢糖裝  
 置(Halbschattenapparat mit  
 Keilkompensation von  
 Schmidt u. Haensch) 1037  
 シェンドルフ氏(Schoendorff)  
 1022  
 シュレウス及カリエ氏  
 (Schreus u. Carrié) 1084

シムム氏尿中血色素證明法  
 (Schumm) 1075  
 Sedimentum lateritium(煉瓦色  
 沈渣) 1080  
 精液 1191  
 精液分泌障碍 1192  
 精液減少症(Olygospermie) 1192  
 精液缺乏症(Aspermatismus)  
 1193  
 精液漏(Spermatorrhoe) 1192  
 「セニエツ」鹽(Seignettsalz)  
 1027  
 正常成分(尿ノ) 953  
 精系炎 1192  
 精囊 1190  
 生理的蛋白尿 1113  
 精絲(Spermatozon) 1118  
 精絲減少症(Oligozoospermie)  
 1192  
 精絲缺乏性精液漏  
 (Azoospermatorrhoe) 1193  
 精絲缺乏症(Azoospermie) 1192  
 生殖器細胞(尿中ノ) 1112  
 脊柱前彎性蛋白尿 1066  
 赤痢 1168  
 石炭酸「フェノール」1020, 1047,  
 1099  
 脊髓癆 937  
 石灰尿(Kalkariurie) 990  
 赤血球(尿中ノ) 1108, 1109, 1112  
 セリワノフ氏反應(Seliwanoff)  
 1040  
 旋光度(尿ノ) 948  
 旋毛蟲病(Trichinosis) 1061  
 「センナ」 939, 1028, 1100  
 戰爭腎臓炎 1111, 1167  
 攝護腺 1189  
 攝護腺ノ觸診 1189  
 攝護腺分泌物 1190  
 攝護腺上皮細胞 1111

攝護腺漏(Prostatorrhoe) 1193  
 煮沸法ニヨル尿中蛋白ノ證明  
 1066  
 脂肪 947, 1060  
 脂肪(尿中)ノ證明法 1061  
 脂肪肝 1023  
 脂肪顆粒細胞 1112  
 脂肪血 1061  
 脂肪球圓柱  
 (Fettröpfchenzylinder) 1115  
 脂肪尿(Lipurie) 1060, 1071  
 刺戟性試驗食  
 (Reitzprobemahlzeit) 1134  
 指示薬(1%「アリザリン」  
 水溶液) 967  
 絲狀菌 1120  
 色素(病的尿中ニ現ハル、) 1085  
 色素瘤 939, 1088  
 色素原(Chromogen) 1078  
 子宮附屬器疾患 1049  
 絲襪體腎炎 1167  
 新陳代謝 943  
 新陳代謝産物 941  
 新陳代謝障碍 1023  
 新陳代謝終産物 996  
 神經性膀胱疾患 1186  
 神經疾患 989  
 神經衰弱 9・9, 1041  
 眞酸度 945  
 眞性(腎性)蛋白尿 1065  
 心臟肥大 1161  
 心臟疾患 1065, 1074  
 心臟性蛋白尿 1065  
 植物成長「ホルモン」 1103  
 食道癌 944  
 食鹽 941  
 食餌性「アルブモーセ」尿  
 (alimentäre Albumosurie) 1072  
 食餌性果糖尿 1040  
 食餌性乳糖尿 1043

食餌性磷酸尿症(alimentäre  
 Phosphaturie) 990  
 食餌性糖尿 1022  
 消化障碍 938, 1080  
 昇汞中毒 936  
 昇汞「ネフローゼ」 1166  
 猩紅熱 976, 1074, 1081, 1092  
 猩紅熱性腎臓炎 1168  
 硝酸 994  
 硝酸ノ檢出法 994  
 硝酸鹽 994  
 硝酸銀( $\frac{n}{10}$ ) 978  
 焦性「アンチモン」酸加里液  
 (Kalium-pyro-antimoniat) 961  
 硝子狀顆粒(hyaline Tropfen)  
 1114  
 硝子様圓柱(Hyalinezylinder)  
 1113  
 消息子挿入法 1181  
 蔗糖 1021, 1044  
 出血性腎臓炎 1074  
 出血性素質 1073, 1081, 1109  
 臭氣(尿ノ) 947  
 脲尿酸(Oxalursäure) 956, 1015  
 脲酸 1014  
 脲酸( $\frac{n}{100}$ ) 9・4  
 脲酸「アンモン」飽和液 972  
 脲酸「カルシウム」 1122  
 脲酸鹽中毒 936  
 脲酸結石 1126  
 脲酸尿症(Oxalurie) 989  
 脲酸曹達( $\frac{n}{100}$ ) 964  
 腫瘍 1109  
 シモン及ヘンレ氏(F. Simon  
 u. Henle) 1113  
 「スカトール」(Skatol) 1047, 1051  
 「スカトールロート」(Skatolrot)  
 1084  
 「スクレロプロテイン」  
 (Skleroprotein) 1064

總硫黃 980  
 總硫黃ノ測定法 984  
 總硫發 980  
 總硫發ノ測定法 984  
 組織碎片(尿中ノ) 1118  
 「スペクトロコロリメーター」  
 (Spektrokolorimeter) 1084  
 Spektrophotometrie 941  
 「スメルマ」結晶 1192  
 スピーゲル氏(Spiegel) 986  
 Stalagmometer(F. Traube 氏)  
 949  
 Stalagmone(Bechhold 氏) 949  
 ステップ氏(W. Stepp) 1060  
 スターリング氏(Stirling) 1066  
 ストック氏尿中水銀證明法  
 (A. Stock) 1097  
 Stolte 氏(乾式)灰化法 963  
 ストラウス氏「ウラニン」又ハ「フ  
 ルオレスチン」反應(Strauss  
 Uraninprobe; Fluorescein) 1151  
 ストリュンペル氏(v. Strümpell)  
 986  
 「スツーフエンフォトメーター」  
 (Stufenphotometer) 1084  
 「スツーフエンフォトメトリー」  
 (Stufenphotometrie) 958  
 「スツーフエンフォトメトリー」ニ  
 ヨル尿中「インヂカン」定量法  
 (Heilmeyer, Zachert 氏等)  
 1051  
 末吉氏試薬(蛋白ノ定量) 1070  
 水銀 1096  
 水銀(尿中)ノ證明法 1096  
 水銀中毒 970  
 水素「イオン」濃度試験紙 945  
 水素「イオン」測定法 945  
 膀胱疾患 1060  
 「スルファニール」酸 1093  
 「スルファチール」 939

T

「スルフォサリチール」酸法(尿蛋  
 白證明) 1067  
 類敗物圓柱(Detrituszylinder)  
 1117  
 體位性蛋白尿  
 (Haltungsalbuminurie) 1056  
 丹毒 976, 1074, 1168  
 單純性慢性腎臓炎(Nephritis  
 chronica simplex) 1169  
 單純蛋白質 1064  
 胆汁(尿中ノ) 1085  
 「タンニン」酸 940  
 蛋白 946  
 蛋白(尿中)ノ證明法 1068  
 蛋白(尿中)ノ定量法 1068  
 蛋白計 1069  
 蛋白計ニヨル尿蛋白定量法 1068  
 蛋白尿 Albuminurie 1064  
 蛋白尿(傳染病ノ際ニ現ハル、)  
 1165  
 蛋白質 948, 1064  
 炭酸 943  
 炭酸「カルシウム」 1122  
 炭酸鹽 944  
 炭酸瓦斯 995  
 炭酸加里液(50%) 967  
 炭酸石灰 970  
 膽石 1085  
 多尿(Polyurie) 936  
 多糖類(Polysaccharide) 1021,  
 1044  
 「タウリン」(Taurin) 1087  
 「タウロコール」(Taurochol) 1085  
 タイヒマン氏「ヘミン」試験法  
 (Teichmann)(尿中血色素ノ  
 證明) 1076  
 定型色素曲線  
 (typische Farbkurve) 941  
 定規鹽酸(10%) 961

定規鹽酸( $\frac{n}{50}$ ) 966  
 定量検査(尿ノ) 958  
 定性検査(尿ノ) 958  
 滴狀圓柱(Tropencylinder) 1114  
 滴定酸度 945  
 癩癩 1023, 1061  
 點滴定量法(糖ノ) 1032  
 Tensiometer(Du Noüy) 949  
 「テルベンチン」 947, 1020  
 「テタヌス」 1009  
 「テトロナル」 939  
 鐵 975  
 鐵明礬液 978  
 「タリン」(Thallin) 940  
 「チモール」(Thimol) 940, 1020  
 「チオ」硫酸曹達( $\frac{n}{10}$ ) 962  
 「チオ」硫酸曹達( $\frac{n}{100}$ ) 1138  
 トルメーレン氏「メラニン」證明法(Thormählen) 1083  
 「チレオトロープ」(Thyreotrop) 1103  
 テーゲルステット氏(Tiegers-  
tedt) 989  
 チルマンズ氏「ヂクロールフェノ  
ール、インドフェノール」法  
(Tillmanns)「アスコルビン」  
酸ノ證明) 1105  
 トルレン氏「オルチン」反應  
(Tollen, Orzin)(五炭糖ノ證  
明) 1042  
 トルレン氏「フロログルチン」反  
應(Phloroglucin) 1012  
 糖(尿中)ノ證明法 1024  
 糖(尿中)ノ定量法 1030  
 糖尿(Glykosurie) 1022  
 糖尿ノ一般症狀 1024  
 糖尿病 936, 938, 944, 971, 976,  
989, 1002, 1009, 1040, 1057,  
1060, 1061, 1083, 11113, 1166  
 糖尿病昏睡 1116

痘瘡 1168  
 糖蛋白體 1021  
 「トリオナル」 939  
 「トリオキシプリン」 1016  
 トロンメル氏尿糖證明法  
(Trommer) 1025  
 「トリプシン」(Trypsin) 1090  
 土屋氏蛋白計 1069, 1070  
 痛風 989, 1081  
 通風棚(Abzug) 999  
 通氣蒸餾装置 967  
 通氣滴定法(「アンモニア」ノ定  
量) 966  
 「チフス」 939, 1074, 1080, 1081,  
1083  
 「チロジン」(Tyrosin) 1002, 1062

U

ウドランスキー氏(v. Udransky)  
1021  
 上田氏血中「インヂカン」定量法  
1143  
 ウッフエルマン氏尿中乳酸證明法  
(Uffermann) 1062  
 受器(Vorlage) 999  
 鬱血腎 1073, 1113, 1170  
 鬱血尿 938  
 鬱血性蛋白尿 1065  
 uaechte Hydrothionurie 987  
 Universalindikator 945  
 雲霧(Nubecula) 946  
 「ウレアーゼエキス」ノ製法 1004  
 「ウレアーゼ」法(Urease)(尿素  
ノ定量) 1003  
 Urease-Squibb 1003  
 ウレー氏(Urey) 952  
 「ウロビリ」(Urobilin) 937,  
1078, 1081, 1085  
 「ウロビリ」(尿中)ノ證明法  
1081

「ウロビリ」尿(Urobilinurie)  
1081  
 「ウロビリノーゲン」  
(Urobilinogen) 937, 1081  
 「ウロビリノーゲン」ノ證明法  
1082  
 「ウロクローム」(Urochrom) 937,  
1079, 1098  
 「ウロクロモゲン」  
(Urochromogen) 937, 1098  
 「ウロクローム」及ビ「ウロクロ  
モゲン」反應 1079  
 「ウロエリト」(Uroerythrin)  
937, 1080  
 「ウロフラヴィン」(Uroflavin)  
1089  
 「ウロロイチン」酸  
(Uroleucinsäure) 1053  
 「ウロポルフィリン」  
(Uroporphyrin) 1084  
 「ウロロセイン」(Urorosein) 937,  
1051, 1083  
 「ウロロセノーゲン」  
(Uroroseinogen) 1083  
 「ウロトロピン」(Urotropin) 1101  
 「ウヅェウルジ」 1099

V

ヴン、ジーン氏尿中血色素證明  
法(van Deen) 1075  
 ヴン、テン、ベルグ氏反應  
(Hijmans van den Bergh) 1085  
 Van Slyke-Cullen 氏血中尿素定  
量法 1155  
 「ヴェロナル」 1101  
 「ヴェロナル」中毒 1166  
 「ヴィタミン」 1104  
 「ヴィタミン」B<sub>1</sub> 1104  
 「ヴィタミン」C 1105  
 ヴォーゲル氏(Vogel) 1078

W

ワグネル氏醱酵檢糖装置  
(Wagners Gärungs-Saccharo-  
manometer) 1032  
 ウェーベル氏尿中血色素證明法  
(Weber) 1075  
 ワイル氏病 1085  
 ワイス氏反應(Weiss) 1079  
 ワイス及スミーチンセフスキー  
氏(Weiss u. Smiecinzewski)  
1083  
 ウェルナー氏(Emil Werner)  
1002  
 ウィーネル氏反應 1080  
 「ビスムート」試験法(Wismut-  
probe)(葡萄糖ノ證明) 1027  
 Wohlgemuth 氏尿中「ヂアスタ  
ーゼ」證明法 1091  
 「ウォルフラム」酸曹達(10%) 1143  
 ウォルム、ミュラー氏尿糖證明法

X

「キサント」(Xanthin) 1016,  
1019  
 「キサント」鹽基 1016  
 Xanthone 1005  
 Xanthidrol 1005  
 Xanthidrol 重量法(尿中尿素ノ  
定量) 1005

Y

藥劑及ビ毒物(尿中ニ於ケル)  
1094  
 夜尿症(Nykturie) 937, 1186  
 容量分析 958  
 輸血性血色素尿 1074  
 輸尿管 1175  
 輸尿管ノ膀胱鏡検査 1179

(Worm-Müller) 1027  
 ウォルテル氏(O. Wolter) 976  
 ウルステル氏(G. Wurster) 995

輸尿管ノ検査法 1175  
 輸尿管ノ疾患 1176  
 輸尿管瘻管 1076  
 有毒尿 1090  
 有機成分(尿ノ) 954, 996  
 有機性尿沈渣 1108  
 有機性磷ノ定量法 992  
 遊走腎 1130, 1175

Z

殘餘窒素(血中ノ)測定法 1136  
 チェレル氏反應(Zeller)「メラニ  
ン」ノ證明) 1088  
 「ツェルローゼ」(Zellose) 1044  
 粟粒結核 1080, 1092  
 ツェルケンデルフェル氏  
(Zörkendörfer) 986  
 ツッケルハンドル氏  
(Zuckerhandl) 976  
 ツックマイヤー氏(F. Zuckmayer)  
993

昭和十六年一月十日印刷  
昭和十六年一月十五日發行

不許  
複製

三浦診斷學第五輯

停

正價金四圓參拾錢

監修者 三浦謹之助

東京市神田區駿河臺二丁目一番地

發行者 今井甚太郎

東京市本郷區本富士町二番地

印刷者 柴山則常

東京市本郷區駒込林町百七十二番地

印刷所 林會社 杏林舍

電話小石川  
〇〇七七三  
七七五  
五五番

發行所

東京市本郷區本富士町二番地  
(振替貯金口座東京二七九八一番)

電話小石川  
〇〇五八番  
五一九番

克誠堂書店



醫學博士 三浦謹之助監修

# 三浦神經病學

全二冊

總三判型本綴美裝  
紙數千五百五十頁  
插圖二百五十五個  
三色版石版著色木版多數插入  
正價金拾六圓九拾錢  
郵稅(内地金參拾八錢  
領土金八拾八錢)

## 卷一

## 卷二

三三判型五百二十頁 插圖百三十七圖  
本綴美裝函入 三色版七葉著色圖多數插入

三三判型六百三十五頁 插圖百十三圖  
本綴美裝函入 著色圖多數插入

正價金八圓參拾錢

郵稅(内地金貳拾貳錢  
領土金六拾貳錢)

正價金八圓六拾錢

郵稅(内地金貳拾貳錢  
領土金六拾貳錢)

誘導篇……………三浦謹之助  
 溢血、血栓、血塞等に因する腦脊髄  
 疾患、線狀體、赤核、黒質等の疾  
 患……………加藤豊治郎  
 神經系統の腫瘍……………勝沼 精藏  
 傳染性(微生物に因する)腦脊髄疾患……………西野忠次郎  
 微毒「スピロヘータ」に因する腦脊髄疾患……………武谷 廣  
 各種脊髄疾患竝に首下り病……………鹽谷不二雄  
 先天性遺傳性神經疾患……………勝沼 精藏

### 卷一 內容

### 卷二 內容

發作性神經疾患、機能的神経疾患……………島蘭順次郎  
 血管運動神經及榮養神經の機能障礙、  
 末梢神經疾患(腦神經の部)……………植松七九郎  
 末梢神經疾患(脊髄神經の部)……………福島 東作  
 中毒に因する神経疾患○災害ニ神經  
 系疾患……………井村英治郎  
 内分泌異常に因する神経疾患……………村地 長孝  
 神經系統の腫瘍……………勝沼 精藏  
 微毒「スピロヘータ」に因する腦脊髄疾患……………武谷 廣





52  
55

終